

小橋工業(株)のホームページ(以下、弊社サイト)においては、カタログ・取扱説明書・パーツリスト等の電子データの閲覧、ダウンロードのサービス(以下、本サービス)をご提供しております。

本サービスをご利用の際には、以下の注意事項をご確認ください。

# 電子データの取扱いについて

## 電子データの内容について

■本サービスにおいては、弊社製品のカタログ、取扱説明書、パーツリスト等、製品に関する全ての印刷物を網羅するものではありません。

■カタログ、取扱説明書、パーツリストの内容は、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。その為、弊社サイト内に掲載される電子データの内容は、販売店等で配布、掲示されるカタログ、製品購入時に同梱する取扱説明書、印刷物として存在しているパーツリストの内容とは異なる場合がございます。

表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、小売単価、各営業所の名称、所在地などの情報が現在と異なる場合があります。

また、製品安全上の取り扱い、環境対応につきましては、製品販売時の法令、規制に適合するものであり、製品販売後の法令、規制の変更内容を反映していない場合があります。予めご了承ください。

## 著作権について

本サービス内の電子データにつきましては、弊社（小橋工業株式会社）が著作権その他知的財産権を保有します。無断で他のウェブサイトや印刷媒体に転載することや複製、翻訳等はできません。

但し、お手持ちの製品ご使用の為、1部に限り印刷することができます。

## 保証について

弊社の製品保証、安全性の保証は製品付属の書面に基づく保証に限られており、弊社サイト内の電子データに基づく保証は提供いたしません。

## お問合せについて

ご使用の製品の取り扱い及び、使用上の安全等に関するお問合せは、ご購入店にご相談頂きますよう、お願いいたします。

## 免責事項

弊社サイトのご利用に起因するソフトウェア、ハードウェア上の事故その他の損害等につきましても、一切の責任を負いません。

弊社サイトのご利用に際して生じたお客さまと第三者との間のトラブルにつきましては、一切責任を負いません。

弊社サイトのサービスは予告なく中止、または内容や条件を変更する場合がございます。

以上

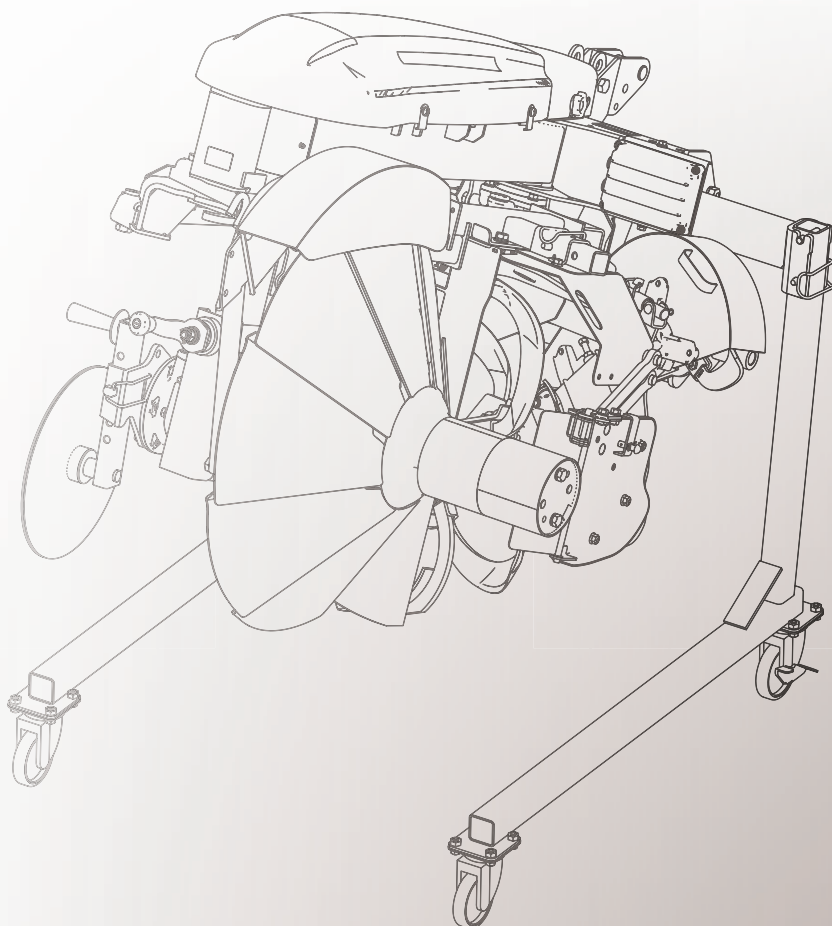
小橋工業株式会社

# コバシあぜ塗り機 RM-3 シリーズ 取扱説明書 お役立ちガイド

このたびは作業機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 特に、「安全について」(→p.4) は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みにになった後も、必ず作業機の近くに保管し、いつでも読むことができるようにしてください。



## DYNER

# KOBASHI

## 目次

### 必ず読む▼

はじめに ▶p.2

詳細目次 ▶p.3

安全について ▶p.4

### 使いかた▼

各部の名称 ▶p.15

開梱・組付けについて ▶p.16

ジョイントの取付け準備 ▶p.17

トラクタへの装着 (IS標準オートヒッチSヒッチ) ▶p.18

トラクタへの装着 (トラクタ純正オートヒッチ) ▶p.28

トラクタへの電源接続と配線 ▶p.32

カルコンについて ▶p.40

圃場の準備 ▶p.48

移動・圃場への出入り ▶p.49

畦塗り作業について ▶p.50

保守・点検 ▶p.61

消耗品一覧 ▶p.81

オプション一覧 ▶p.83

格納・運搬・保管 ▶p.89

### 必要に応じて▼

主要諸元 ▶p.91

トラクタ別装着表 ▶p.107

フロントウエイト装着表 ▶p.130

異常診断一覧表 ▶p.141

カルコンのトラブルシューティング ▶p.143

自己診断モード ▶p.147

廃棄について／用語解説 ▶p.154

# はじめに

作業機を操作する前にこの取扱説明書をよく読み、正しい取扱い方法を理解してください。この取扱説明書は、作業機の近くに保管して、操作手順に不安が生じたときにはいつでも読み返せるようにしてください。

## 使用目的・使用範囲

この作業機は水田の畦塗り用です。使用目的以外の作業や作業機・部品の改造などは、決してしないでください。故障した場合は、保証の対象になりません。

## 取扱上の注意

- 当社は、以下のことを守らないで生じた損害または傷害に対しては一切責任を負うことができませんので厳守してください。
  - ・取扱説明書記載の指示事項を守ってください。
  - ・作業機・部品の改造しないでください。
  - ・操作・保守作業は、通常必要とされる注意または用心をして作業してください。
- 危険性に関する警告は、作業機の本体に貼付けた警告表示ラベル、およびこの取扱説明書に記載してあります。
- この取扱説明書には、知り得る限りの危険性を記載しています。したがって、この取扱説明書に記載した警告や指示を守ることにより安全性は向上します。  
また、これら以外にも事故防止対策に関して、十分な配慮が必要です。
- この取扱説明書は、日本語を母国語とする人を対象に作成されています。日本語を母国語としない人がこの作業機を取扱う場合は、必ずお使いになる方に安全指導を行ってください。
- 推奨外の条件で使用しないでください。作業機が持つ本来の性能を発揮できないだけでなく、作業機が破損する恐れがあります。使用条件を守り、正しい使いかたをしてください。

## 貸出時および譲渡時の注意

- 作業機を譲渡または貸与する場合は、この取扱説明書を十分理解してから作業するように指導してください。また、この取扱説明書を作業機に添付してお渡しください。
- この作業機は国内での使用を前提としています。したがって、海外諸国の規格への適応は保証できません。また、海外諸国では使用言語が違いため、国外への持ち出し・転売はしないでください。

## 取扱説明書について

- この取扱説明書は、作業機の組立て、操作、および保守の方法を説明するものです。
- この取扱説明書の内容は作業機の改良のため、予告なく変更する場合があります。
- この作業機とこの取扱説明書の図とは異なることがあります。  
また、作業機内部の説明を容易にするため、図の一部を省略していることがあります。あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は著作権を有します。当社の事前の文書による同意なしに、この取扱説明書の全体もしくは部分的にも複写、翻訳しないでください。また、読み取り可能でない電子装置や機械にも転写しないでください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い求めの販売店にご注文ください。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- さらに詳しい情報を必要としたり、質問があるとき、または内容につき不明な点がありましたらお買い求めの販売店へお問い合わせください。

# 詳細目次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| はじめに                             | 2  |
| 詳細目次                             | 3  |
| 安全について                           | 4  |
| 警告表示について                         | 4  |
| 安全に作業するために                       | 4  |
| 道路走行時の注意                         | 11 |
| 警告表示ラベルの種類と位置                    | 12 |
| サービスと保証について                      | 14 |
| 各部の名称                            | 15 |
| 本体                               | 15 |
| 開梱・組付けについて                       | 16 |
| 注意事項                             | 16 |
| 開梱・組付け手順                         | 16 |
| 標準装備品                            | 16 |
| ジョイントの取付け準備                      | 17 |
| 注意事項                             | 17 |
| 切断方法                             | 17 |
| トラクタへの装着<br>(JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ) | 18 |
| 注意事項                             | 18 |
| 装着前の準備                           | 18 |
| セーフティカバーの取付け                     | 21 |
| トラクタへの装着                         | 21 |
| 装着後のトラクタとの調整                     | 24 |
| フロントウエイトの装着                      | 25 |
| トラクタからの取外し                       | 26 |
| フロントウエイトの取外し                     | 27 |
| トラクタへの装着<br>(トラクタ純正オートヒッチ)       | 28 |
| 適用型式                             | 28 |
| 注意事項                             | 28 |
| トラクタへの装着                         | 29 |
| 装着後のトラクタとの調整                     | 30 |
| フロントウエイトの装着                      | 30 |
| トラクタからの取外し                       | 30 |
| フロントウエイトの取外し                     | 31 |
| 保管・格納                            | 31 |
| トラクタへの電源接続と配線                    | 32 |
| 注意事項                             | 32 |
| 作業時確認                            | 33 |
| 事前準備                             | 33 |
| 配線のポイント                          | 33 |
| カルコンホルダの取付け                      | 39 |
| カルコンについて                         | 40 |
| 注意事項                             | 40 |
| カルコンとボタン説明                       | 41 |
| オートパワー OFF 機能                    | 44 |
| 防水キャップの取付け                       | 44 |
| カルコン充電式電池について                    | 44 |
| カルコンの充電                          | 45 |
| 電源の入れ方                           | 46 |
| ペアリング方法                          | 46 |

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 圃場の準備                     | 48  |
| 注意事項                      | 48  |
| 圃場の準備                     | 48  |
| 移動・圃場への出入り                | 49  |
| 注意事項                      | 49  |
| 移動・圃場への出入り                | 49  |
| 畦塗り作業について                 | 50  |
| 注意事項                      | 50  |
| 作業状態の切替え方法                | 50  |
| 前進作業                      | 52  |
| 後進作業                      | 53  |
| 各機能の調整                    | 54  |
| 上手な作業のしかた                 | 59  |
| 保守・点検                     | 61  |
| 注意事項                      | 61  |
| 保守・点検の準備                  | 61  |
| 保守・点検一覧表                  | 62  |
| 作業内容                      | 64  |
| 作業前点検                     | 71  |
| 作業後の手入れ                   | 72  |
| 部品交換方法                    | 73  |
| 消耗品一覧                     | 81  |
| オプション一覧                   | 83  |
| 格納・運搬・保管                  | 89  |
| 注意事項                      | 89  |
| 作業手順                      | 89  |
| 主要諸元                      | 91  |
| トラクタ別装着表                  | 107 |
| S ヒッチ (T-4S)              | 107 |
| S ヒッチ (T-4SDH)            | 111 |
| 直装 (-1S)                  | 114 |
| クボタ W3P、シングル A フレーム用      |     |
| トラクタ装着表                   | 118 |
| ヤンマークイック用トラクタ装着表          | 122 |
| 井関 D ヒッチ / PD ヒッチ用トラクタ装着表 | 124 |
| 三菱スーパーヒッチ /               |     |
| デュアルヒッチ用トラクタ装着表           | 126 |
| フロントウエイト装着表               | 130 |
| 異常診断一覧表                   | 141 |
| カルコンのトラブルシューティング          | 143 |
| 自己診断モード                   | 147 |
| センサ設定の確認方法                | 147 |
| センサの設定方法                  | 149 |
| 廃棄について                    | 154 |
| 注意事項                      | 154 |
| 用語解説                      | 154 |

# 安全について

ここに示した注意事項は、作業機を安全に正しく使用していただき、使用者や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

## 警告表示について

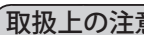
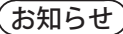
### 警告レベルの定義

誤った取扱いをすると、生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」、「警告」、「注意」に区分して記載しています。

|                                                                                               |                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
|  <b>危険</b>   | 誤った取扱いをしたときは、死亡、後遺症などの大きな被害の可能性が高いことを意味します。  |
|  <b>警告</b>   | 誤った取扱いをしたときは、死亡、後遺症などの大きな被害を負う恐れがあることを意味します。 |
|  <b>注意</b> | 誤った取扱いをしたときは、軽度の傷害が発生する可能性があることを意味します。       |

### その他の表示

上記以外の表示は、次のとおりです。

|                                                                                                   |                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|  <b>取扱上の注意</b> | 誤った取扱いをしたときは、作業機が故障する可能性があることを意味します。           |
|  <b>お知らせ</b>   | 作業機本来の能力が発揮できないこと、あるいは、特に知っておいていただきたいことを意味します。 |

### 絵表示

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。

|                                                                                     |                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
|  | 禁止（してはいけないこと）を示します。 |
|  | 強制（すること）を示します。      |
|  | 注意を示します。            |

## 安全に作業するために

### 全般

#### 危険



使用目的以外の作業や作業機・部品の改造をしないでください。  
\* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



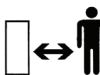
取扱説明書はいつでも読めるように、作業機と一緒に大切に保管してください。  
\* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



取扱説明書をよく読み、作業機・部品の使いかたを理解してから使用してください。  
トラクタの『取扱説明書』も併せてよく読んでください。  
\* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



操作、作業しているときは周りの人はもちろん、本人も作業機から離れ、かつ周囲との距離が十分ある状態で行ってください。  
\* 作業機に挟まれ、事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



#### 警告



適応トラクタ以外には装着しないでください。  
主要諸元表を熟読の上、適応馬力内のトラクタに装着してください。  
\* 特にトラクタ馬力が小さい場合、トラクタとの重量バランスが悪くなり、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



## ⚠ 警告



禁止

次のような状態では、運転しないでください。

- ・ 飲酒運転
- ・ いねむり運転
- ・ 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
- ・ 若年者
- ・ 妊娠中の方



作業機の操作に熟練し、必要な運転免許証を携帯し、心身ともに健康な状態で運転してください。

- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機を他人に貸出す場合は、取扱説明書も添付し正しい取扱いを指導してください。

- \* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

作業中の服装は、ヘルメット、丈夫な手袋、すべらない靴、キチンとした作業服を着用してください。

ボタンもキチンと留めてください。

- \* 回転部分に巻き込まれ、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



## ⚠ 注意



必ず実行

共同作業がある場合は、動作ごとに合図を徹底してください。

- \* 作業機が急に動き、事故・ケガにつながる恐れがあります。



## 作業前点検

## ⚠ 注意



必ず実行

各部のボルト、ナットなどの緩みや、ピンの脱落がないか確認してください。

- \* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。



## トラクタへの着脱

## ⚠ 警告



必ず実行

トラクタと作業機の着脱の際は、いつでも逃げられる安全な態勢で操作し、トラクタは必ずブレーキで止めてください。

- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機への着脱・調整は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。

特に夜間の作業機の着脱は、適切な照明を用いてください。

- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

取付け各部のトメピンが全て確実に装着されているか確認してください。

- \* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



## ⚠ 注意



必ず実行

二人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

- \* 作業機が急に動き、事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

ジョイントのノックピンが確実にPTO 軸溝、または作業機入力軸溝にはまったか確認してください。

- \* ジョイントが抜け、事故・ケガにつながる恐れがあります。



注意

トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に人が入らないように注意してください。

- \* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



## カバーの取付け

### ⚠ 危険



ジョイントなど、作業機のカバー類は必ず取付けてください。

必ず実行 \* 巻き込まれて、死亡事故・大ケガにつながる恐れがあります。



## トラクタへの装着

### ⚠ 危険



作業機とトラクタとの重量バランスを確認してください。

- 必ず実行
- ・トラクタの前輪に最低限 25% 以上のウエイトがかかるように、フロントウエイトを取付けてください。
  - ・作業機に泥が付着して重くなる場合があるので、泥を取除いてください。
  - ・アタッチメントなどを取付けて使用する場合も、バランスを確認しフロントウエイトを取付けてください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。  
作業機を装着すると、重量バランスが変わります。



### ⚠ 注意



作業機に他のアタッチメントを取付ける場合は、事前に必ずアタッチメントの『取扱説明書』をよく読んでください。

必ず実行

\* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。



## トラックへの積み・降ろし

### ⚠ 危険



禁止

途中でクラッチを切ったり、変速を中立にしないでください。

低速で積み・降ろししてください。  
\* 転倒などし事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの場所は、平坦で安全な場所で行ってください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

アユミ板は、滑り止めの付いている丈夫なものを使用してください。

確実に固定し、傾斜角度、平行度を確認してください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの際は、トラックが移動しないようしっかりとサイドブレーキをかけてください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

トラクタの左右のブレーキペダルを連結し、脱輪しないようにしてください。

\* ブレーキが片ぎし、転倒などし事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

作業機を装着しての積み・降ろしは、トラクタの重量バランスが変わります。泥の付着などあるので注意してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

積み・降ろしの際、折りたためる作業機は折りたたみ、トラックの荷台からはみ出さないように注意してください。

また、強度が十分あるロープで確実に固定してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



## 一般走行

### ⚠ 危険



禁止

高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回をしないでください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

周囲の人やものに注意して旋回してください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

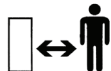


### ⚠ 警告



禁止

トラクタ・作業機には、運転者以外の人を乗せないでください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

走行するときは次のことを守ってください。

- ・ 左右のブレーキペダルを連結すること
- ・ 作業機の回転を止めること
- ・ 作業機の落下速度調節レバーを締めて、必ず油圧ロックをすること
- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

坂道での走行は次のことを守ってください。

- ・ クラッチを切ったり、変速を中立にしないこと
- ・ スピードを落とし、低速で走行すること
- ・ エンジンブレーキを使用し、急ブレーキをかけないこと
- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



### ⚠ 警告



注意

作業機は左右がトラクタの機体幅より広い場合、走行時は注意してください。

移動時は、作業機の折りたたみ、走行してください。

また、スタンドが付いている場合も必ず取外してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



### ⚠ 注意



注意

路肩に草が茂っている場所を走行するときは、路肩の強度に注意してください。

\* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



## 圃場への出入り

### ⚠ 警告



必ず実行

圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げて、うねや段差に対して直角に進んでください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

圃場の出口が傾斜している場合は、バックして上がるか、または丈夫なアユミ板を使用してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

うねや段差に対しては、作業機を低くして重心を下げ、直角に進んでください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



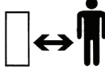
## 作業中

### ⚠ 危険

- !** いねむり運転、わき見運転をしないようにあらかじめ体調を整えてください。  
必ず実行
- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 

### ⚠ 警告

- 禁止** 作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 

- 禁止** 作業中は、周りに人を近寄らせないでください。  
特に子供には十分注意すること。補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図かわすこと。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 

- 禁止** 回転部分など、動くところには触れないでください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 

- !** 次の作業をする場合は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が絶たれていることを確認してから作業してください。  
必ず実行
- ・運転者が運転位置を離れて作業機を調整するとき
  - ・爪軸などへの草やワラのからみ付きを取除くとき
- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 

### ⚠ 注意

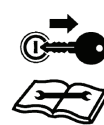
- !** 作業機のカバーは、土礫が飛散しないように調節してください。  
必ず実行 \* ケガにつながる恐れがあります。
- 

#### 取扱上の注意

- ・ぬかるみにはまっても作業機は絶対に外さないでください。
- 牽引点を低くし、他の車に引き上げてもらってください。
- 故障につながる恐れがあります。

## 作業中の点検

### ⚠ 警告

- !** 作業機の点検を行うときは以下のことを確認してから作業してください。  
必ず実行
- ・トラクタの駐車ブレーキをかける
  - ・エンジンを停止する
  - ・PTO 軸への動力の伝導が絶たれている
  - ・油圧ロックを行う
- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 

- !** 点検のために取外したカバー類は、必ず元通りに取付けてください。  
必ず実行
- \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 

### ⚠ 注意

- 禁止** ラジエーターやマフラには触れないでください。  
\* 火傷をする恐れがあります。
- 

- !** 点検整備に必要な工具類は、適切な管理を行い、正しい使用をしてください。  
必ず実行
- \* 整備不良で事故につながる恐れがあります。
- 

## トラクタ停車

### ⚠ 警告

**!** 傾斜に止める場合は、タイヤに必ず車止めをしてください。

必ず実行 \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



### ⚠ 注意

**!** 平らな場所に止め、作業機を降ろしてエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。

必ず実行 \* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



## カルコン

手持ちコントローラを「カルコン」と表記しています。このシステムは電波を使用したコバシ作業機専用の無線コントロールシステムです。この製品には、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認定を受けた無線設備を内蔵しています。



® 005-103118

カルコンには、技適マーク（認証ラベル）を貼付けていません。

この製品では無線通信として Bluetooth® 5.0 を使用しています（Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の登録商品です）。

免許や資格なしでどなたでもご使用いただけます。

- 送信機（カルコン）と受信機（制御ボックス）は 1 対 1 の通信を行います。
- 作業機に付属しているカルコン、制御ボックスは組合わせ（ペアリング済み）以外では操作することができません。
- カルコン / 制御ボックスのソフトウェア・アップデートを実施した場合、再度ペアリング操作が必要になります。

### ⚠ 危険

**!** トラクタの操作レバーを「中立」の位置にして、駐車ブレーキをかけてから設定してください。

必ず実行 \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

### ⚠ 警告

**⊘** カルコン、制御ボックスを分解、改造、異なった用途で使用しないでください。

禁止 \* 正常な作動、安全性を保障できなくなり、事故、ケガ、故障の原因になります。

### ⚠ 注意

**⊘** 制御ボックスは機種専用のため、異なる機種の制御ボックスを使用しないでください。

禁止 \* 故障や予期せぬ作動の原因となり、ケガをする恐れがあります。

**⊘** 可燃性ガスが発生する可能性のある場所では使用しないでください。

禁止 \* 火災の原因になる恐れがあります。

**⊘** 制御ボックス内の配線の継替えは行わないでください。

禁止 \* 予期せぬ作動を起こし、ケガをする恐れがあります。

**!** 心臓ペースメーカーなどの医療用電子機器を使用されている方は、医師や医療用機器メーカーに電波の影響を確認してからご使用ください。

必ず実行

電波仕様

周波数 : 2.4 GHz 帯域

通信方式 : 双方向通信方式

出力 : 最大 1 mW

- \* 心臓ペースメーカーなどの医療用電子機器に影響を与える恐れがあります。

**!** 必ず周囲の安全が確認できる位置で操作を行ってください。

必ず実行 電波の通信距離は使用条件、周囲の環境（屋外、屋内、障害物、天候、近くに強い電波を出す設備がある場合など）により大きく変わることがあります。

\* 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。

### 取扱上の注意

- このコントロールシステムは日本国内の電波法に基づき作製されています。日本国外では使用できません。
- 使用中に製品から煙が出たり、異臭がしたり、操作と異なる動作をした場合や、割れ、変形がある場合は直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。火災や故障の原因になります。
- カルコン、制御ボックスを金属などで覆ったり、塗装をしたりしないでください。電波が届きにくくなる場合があります。
- 制御ボックスは樹脂カバーで覆われています。カバーを外した状態での代かき作業、洗車作業をしないでください。故障の原因になります。

## 電動油圧シリンダの取扱い

### ⚠ 危険



絶対に分解したり、修理・改造・調整をしないでください。

禁止

- \* 油が吹き出したり、異常動作してケガする恐れがあります。
- \* 調整ネジを緩めるとシリンダが急に伸縮し、作業機が落下する恐れがあります。



火気・熱気の中に投じないでください。

禁止

- \* タンク内には可燃物である作動油が加圧されて入っているため、火災・爆発の恐れがあります。



## その他

### ⚠ 警告



作業機指定の PTO 回転速度を守ってください。

必ず実行

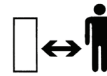
- \* 低速回転用の作業機を高速回転で使用すると、作業機が異常作動し事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



トラクタのエンジン始動時は、周りに人がいないか、作業機が下がっているか確認してください。

必ず実行

- \* 作業機が不意に下がり、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



### ⚠ 注意



畦塗り作業をしないときは、電源カプラ 3P (白) を必ず取外してください。

必ず実行

- \* バッテリ上がりおよび誤作動する恐れがあります。



## 道路走行時の注意

### 運転免許について

特定小型特殊自動車(全幅 1.7 m 以下、全高 2.0 m 以下、全長 4.7m 以下、且つ最高速度 15 km/h 以下のトラクタ)であっても、作業機を装着したときに何れかの寸法を超える場合は、大型特殊自動車の運転免許(『農耕用に限る』を含む)を取得する必要があります。

### 作業機について

トラクタに作業機を装着して道路走行する場合は、道路運送車両法の保安基準を満たしていなければなりません。

トラクタと作業機の組合せで保安基準を満たす処置を行うことで道路走行できるようになります。

詳細内容については一般社団法人日本農業機械工業会ホームページに掲載の『作業機付きトラクタの公道走行ガイドブック』を参照してください。

※ 一般社団法人

日本農業機械工業会ホームページアドレス

<http://www.jfmma.or.jp/>

より詳しい情報を必要とする場合や、ご質問がある場合は、当社にお問い合わせください。

特に反射ラベル等の法律で表示義務のあるものは道路走行する前に運行前点検を行い、汚損や破損していれば必ず表示内容が他の車両や歩行者から確認できるように処置してください。

## トラックでの運搬

### ⚠ 危険



必ず実行

作業機をトラックで運搬する際は折りたためる箇所は折りたたんでください。また、作業機が動かないように強度が十分あるロープで確実に固定してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの際、落下防止措置を行ってください。

\* トラックのあおりを不用意に開けると作業機が滑り落ち、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



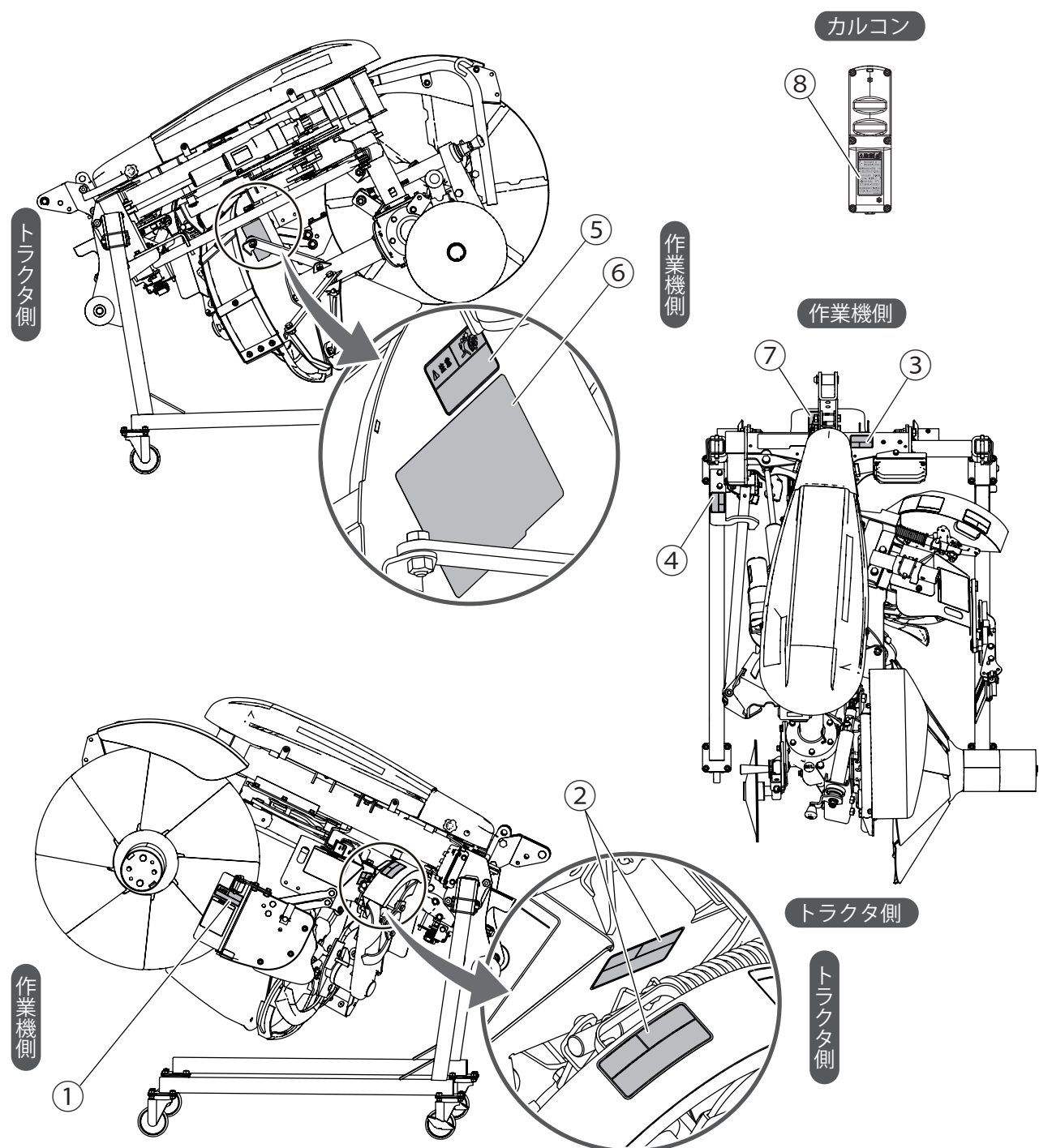
必ず読む

安全について

## 警告表示ラベルの種類と位置

この作業機には、警告表示ラベルを貼って注意喚起しています。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

- いつも汚れや泥を取り、警告表示ラベルがハッキリと見えるようにしてください。
- 警告表示ラベルが損傷したり破損したときは、新しいものと交換してください。
- 警告表示ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品に、取外した部品と同じ場所に警告表示ラベルを貼ってください。



## ① コードNo. 9993950

|                                                                                                         |                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                             |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●ドラムには素手や素肌が直接触れないようにしてください。</li> <li>●ケガをするおそれがあります。</li> </ul> |                                                                                   |
| 9993950                                                                                                 |                                                                                   |

## ② コードNo. 9993949

|                                                                                                                                        |                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 警告</b>                                                                                                                            |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●ロータリの回転部に接触すると、ケガをするおそれがありますので、回転部に近づかないでください。</li> <li>●調整、整備する場合は、必ずエンジンを止めてください。</li> </ul> |                                                                                     |
| 9993949                                                                                                                                |                                                                                     |

## ③ コードNo. 9994714

|                                                                                                                    |                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 警告</b>                                                                                                        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●カバーを外す場合は、必ずエンジンを止めてください。</li> <li>●カバーを外したままにするとケガをするおそれがあります。</li> </ul> |                                                                                   |
| 9994714                                                                                                            |                                                                                   |

## ④ コードNo. 9994716

|                                                                                                                              |                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                                                  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●スタンドの取付けは、作業機を「格納位置」にした状態で行ってください。</li> <li>●トラクタから外した際、作業機が転倒するおそれがあります。</li> </ul> |                                                                                   |
| 9994716                                                                                                                      |                                                                                   |

## ⑤ コードNo. 9990063

F 仕様（天場処理装置付き仕様）だけ

|                                                                                                                                                                                    |                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                                                                                                        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●カバー内の土落しは必ずエンジンを切って行ってください。</li> <li>●爪が回転中にゴムを叩くと跳ね返り及び巻き込まれてケガをするおそれがあります。</li> <li>●ゴムを叩く際に先の尖った物を使用しないでください。ゴムが破れるおそれがあります。</li> </ul> |                                                                                     |
| 9990063                                                                                                                                                                            |                                                                                     |

## ⑥ コードNo. 9993948

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 警告</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●転落事故を防ぐためには、発進や登坂時にトラクタの前輪が浮き上がらないように充分な前部ウエイトを取り付けてください。</li> <li>●ほ場への出入り及び移動(格納)する時は必ず作業機を中央に入れてから行ってください。</li> <li>●ほ場への出入りは、あぜや段差に対して直角に進んでください。</li> <li>●作業機にアタッチメントを装着する時には、特にバランスを注意するとともに、アタッチメントの取扱説明書をよく読んで、適切な処置や調整を行ってください。</li> </ul>                                           |                                                                                       |
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業機を着脱するときは、トラクタと作業機の間に立たないでください。</li> <li>●エンジン始動時や作業中は、周囲の安全を確認し、人がいないか、特に子供には注意し、近づけないようにしてください。</li> <li>●作業機の上に人を乗せないでください。</li> <li>●点検整備時には、必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、油圧降下防止用ストップバルブを締めてください。</li> <li>また、絶対に作業機の下にはいつて作業をしないでください。</li> <li>●ジョイントのノックピンが確実にノックされていることを確認してください。</li> </ul> |                                                                                       |
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●開閉操作は周囲に人がいないことと、十分なスペースがあることを確認して行ってください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                       |
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●開閉操作時は、手などがはさまれないよう注意してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                       |
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●スタンドの取付けは、作業機を「格納位置」にした状態で行ってください。</li> <li>●トラクタから外した際、作業機が転倒するおそれがあります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |                                                                                       |
| 9993948                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                       |

## ⑦ コードNo. 9992126

|                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 危険</b>                                                                                                |
|                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●セフティカバーは、常に装着して使用してください。</li> <li>●巻き込まれて、死傷するおそれがあります。</li> </ul> |
| 9992126                                                                                                    |

## ⑧ コードNo. 9994935

|                                                                                                                                                                                                          |                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>⚠ 注意</b>                                                                                                                                                                                              |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●使用前には必ず取扱説明書をお読みください。</li> <li>●操作は周囲の安全を十分確認して行ってください。</li> <li>●バッテリー上がり及び誤作動防止のため作業終了時は本機マスト付近にある電源カプラを外してください。</li> <li>●長期保管時は、満充電にした後、保管してください。</li> </ul> |                                                                                       |
| 9994935                                                                                                                                                                                                  |                                                                                       |

## サービスと保証について

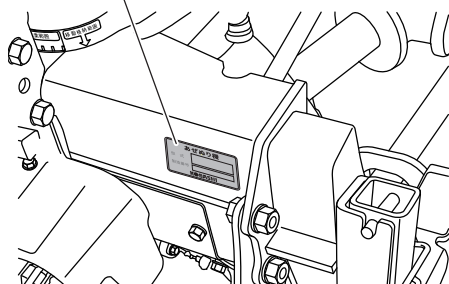
### 保証書

この作業機には保証書を添付しています。保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。保証内容は保証書をご覧ください。お読みになった後は大切に保管してください。

### アフターサービス

作業機の調子が悪いときに点検、処置してもなお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げいただいた販売店まで連絡してください。

- ・ お客様名
- ・ 作業機の型式と製造番号
- ・ ご使用状況（作業速度、回転速度はいくらで、どんな作業をしていたときに）
- ・ どのくらい使用されましたか（約〇〇アール・約〇〇時間使用後）
- ・ 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えてください。



### 補修用部品の供給年限について

この作業機の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後9年といたします。  
したがって、その後のご注文に対しては、在庫限りの供給とさせていただきます。

### 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。  
市販類似品をお使いになりますと、作業機の不調や作業機の寿命を短くする原因になります。  
また、部品の改造はしないでください。

### 型式について

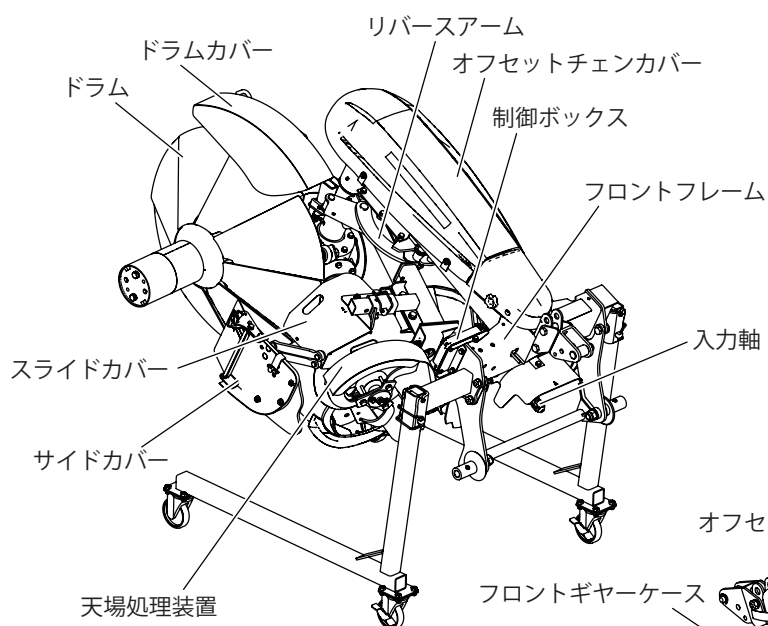
本書では、同じシリーズの型式の作業機について併記しています。  
お買い上げいただいた作業機の型式名を保証書で確認し、該当箇所をお読みください。

# 各部の名称

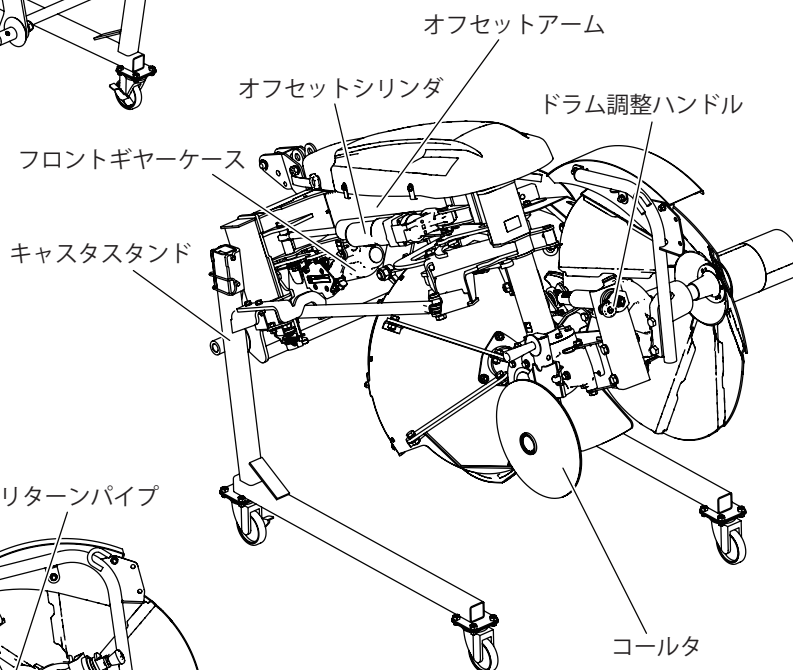
作業機本体の各部の名称を記載しています。

## 本体

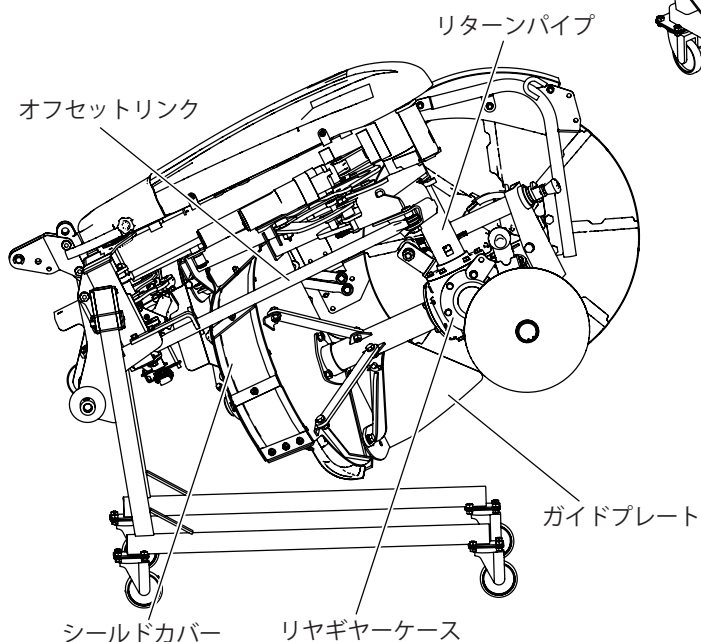
### ■ 前面（トラクタとの接続側）



### ■ 背面



### ■ 側面（略図）



使  
い  
か  
た

各  
部  
の  
名  
称

# 開梱・組付けについて

作業機は鉄枠梱包されていますので、『開梱・組付け要領書』に従って開梱・組付けを行ってください。

## 注意事項

### ⚠ 注意



作業は平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 \* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



開梱・組付けをするときは、丈夫な手袋を着用して行ってください。

必ず実行

鉄枠梱包には、スクリーンネジが使用されています。ネジの踏み抜きなどないように注意して開梱。組付けを行ってください。

\* ケガにつながる恐れがあります。



『開梱・組付け要領書』に従って開梱・組付けを行ってください。

必ず実行

\* 作業手順を誤ると、作業者がケガをしたり作業機が転倒する恐れがあります。

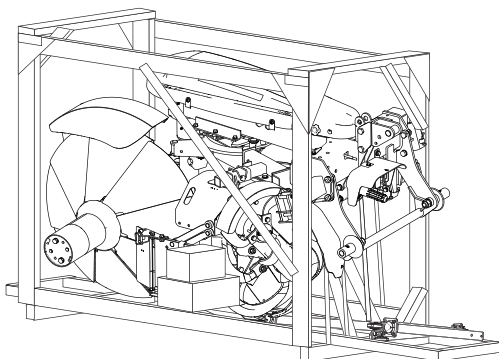


リフトやクレーンの操作は資格を持った人が行ってください。

必ず実行 \* 事故・ケガにつながる恐れがあります。

## 開梱・組付け手順

作業機は鉄枠梱包されています。鉄枠に貼付けられている『開梱・組付け要領書』を参照の上、開梱・組付けを行ってください。



## 標準装備品

作業機本体と以下の付属品が梱包されています。

| 部品名                                                | 数量 | 摘要                     |
|----------------------------------------------------|----|------------------------|
| オートヒッチアーム                                          | 1  | 4S、4SDH 仕様             |
| 4S キット                                             | 1  | 4S、4SDH 仕様             |
| ジョイント                                              | 1  | 4S、4SDH、1S 仕様          |
| キャストスタンド L                                         | 1  |                        |
| キャストスタンド R                                         | 1  |                        |
| ハーネス固定用束線バンド                                       | 10 |                        |
| コントローラ                                             | 1  |                        |
| カルコンホルダ                                            | 1  |                        |
| バッテリーハーネス ASSY                                     | 1  |                        |
| バッテリーハーネス M2                                       | 1  |                        |
| ハーネス USB                                           | 1  |                        |
| ジュウデンハーネス                                          | 1  |                        |
| コガタボルト M8 × 25<br>P1.25 全ネジ<br>ナイロンナット M8<br>P1.25 | 10 | 天場コーウンジク用<br>シャーボルト予備  |
| シャーボルト<br>M8 × 30 P1.25<br>ナイロンナット M8<br>P1.25     | 10 | フロントシテンジク用<br>シャーボルト予備 |
| EX ローラ                                             | 1  | 標準ローラ仕様                |
| EX ローラ AH                                          | 1  | 標準ローラ仕様                |
| ジュシローラ 160                                         | 1  | 樹脂ローラ仕様                |
| ボルト M12 × 140<br>P1.5                              | 4  | 標準ローラ仕様                |
| ボルト M12 × 250<br>P1.5                              | 2  | 樹脂ローラ仕様                |
| S ワッシャ M12                                         | 4  | 標準ローラ仕様                |
| S ワッシャ M12                                         | 2  | 樹脂ローラ仕様                |
| CN2P ブンキハーネス                                       | 1  |                        |
| 取扱説明書                                              | 1  | 本書                     |
| 品質保証書                                              | 1  |                        |
| 開梱・組付け要領書                                          | 1  |                        |
| トリアツカイカード                                          | 1  |                        |

(注)

- あぜ塗り機はトップマスト、ヒッチブラケットを交換することにより、JIS 標準オートヒッチ仕様、JIS 特殊オートヒッチ仕様 (A-I 形、A-II 形、B 形) にすることができます。
- 交換部品は別途購入してください。詳しくは販売店、農協にご相談ください。

# ジョイントの取付け準備

トラクタによっては、標準のジョイントが長い場合があります。  
以下の手順で、ジョイントの取付け準備を行ってください。

## 注意事項

### ⚠ 注意

**!** 高速カッタを使用する場合は、十分注意して作業してください。

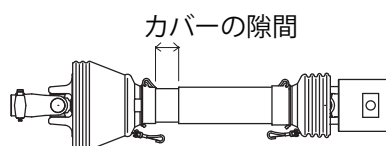
必ず実行 \* ケガにつながる恐れがあります。

**!** 高速カッタまたは金ノコを使用する場合は、手袋を着用してください。

必ず実行 \* ケガにつながる恐れがあります。

### 取扱上の注意

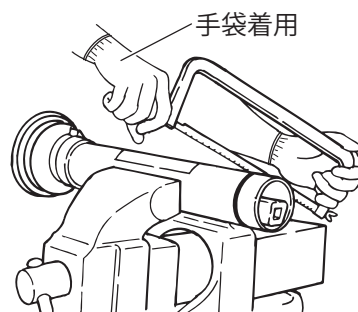
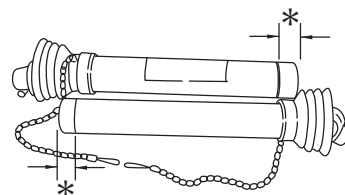
- ・ 長すぎるジョイントを装着すると、トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸を突き、破損させます。
- ・ 短すぎるジョイントを装着すると、ジョイントの噛み合わせが不足して、チューブが破損します。



| ヒッチ種類  | ジョイントの種類 | ジョイントの切断寸法 (mm) | カバーの隙間 (mm) |
|--------|----------|-----------------|-------------|
| T-4SDH | KHC79M   | -               | 34 ~ 208    |
|        | TC84M    | -               | 44 ~ 347    |
| T-4S   | TC74M    | -               | 44 ~ 247    |
|        | TC71M    | -               | 44 ~ 211    |
| -1S    | TC74     | -               | 44 ~ 261    |
|        | TC69     | -               | 44 ~ 211    |

## 切断方法

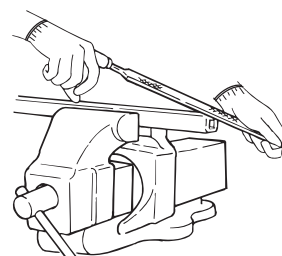
- 1** 長い分だけセーフティカバーを金ノコまたはカッタでオスとメス両方切断(\*)します。



- 2** 切りとったセーフティカバーと同じ長さで、チューブシャフトを金ノコまたはカッタで、オスとメス両方切断します。



- 3** 切り口をヤスリでなめらかにして、切り粉を取除きます。



- 4** グリスを塗布して、オス、メスを組合わせます。

使  
い  
か  
た

開  
梱  
・  
組  
付  
け  
に  
つ  
い  
て  
／  
ジ  
ョ  
イ  
ン  
ト  
の  
取  
付  
け  
準  
備

# トラクタへの装着 (JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ)

トラクタへの装着と取外しについて記載しています。

## 注意事項

### ⚠ 警告



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

スタンドを着脱する際は、トラクタのエンジンを停止し、作業機を持ち上げ、油圧ロックし、落下防止をしてから行ってください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

作業機を着脱するときは、トラクタと作業機の間に入らないように注意してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

### ⚠ 注意



禁止

スタンドは、圃場内での使用や圃場内への放置はしないでください。

\* 泥の浸入により回動しにくくなることがあります。泥が浸入して回動しにくくなった場合は、よく洗浄してグリスを塗布してください。



必ず実行

夜間の場合は適切な照明を用いてください。  
\* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機の着脱は、基本一人で作業を行ってください。

\* 作業機が急に動き、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

二人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

\* 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

スタンドで作業機を移動する際は、平坦な広い場所で、周囲に人がいないことを確認し、足元に注意して行ってください。

\* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

キャストおよびスタンドが損傷した場合は、ただちに修理・交換を行ってください。

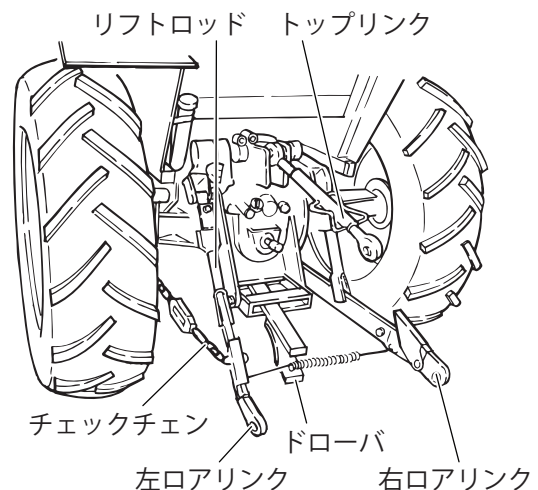
\* 事故・ケガにつながる恐れがあります。

## 装着前の準備

### トラクタの準備

本機の装着方法は、標準 3 点リンク式のヒッチです。ドローバがジョイントに干渉する場合は、ドローバの位置を変えるか、取外してください。

取付け位置は、「トラクタ別装着表」(→ p.107) を参照の上、トップリnk長さやリフトロッド位置を確認し、取付けてください。



## オートヒッチアームの取付け

### ⚠ 危険

**!** 必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。  
必ず実行 \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

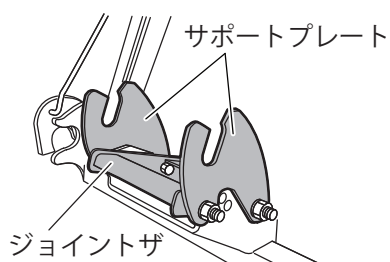
### ⚠ 注意

**!** オートヒッチアームは、JIS 規格に準拠したものを使用してください。  
必ず実行 類似規格のものは、使用しないでください。  
\* 故障につながる恐れがあります。

## 1 オートヒッチアームの状態を確認します。

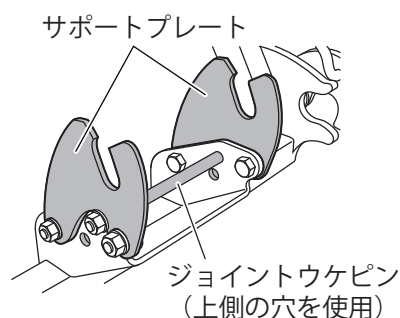
### (a) KHC ジョイントの場合

- KHC ジョイントは、RM753F (FJ) T-4SDH、RM753H (HJ) T-4SDH、RM853F (FJ) T-4SDH、RM853H (HJ) T-4SDH に標準装備されています。
- サポートプレートとジョイントザが確実に取付けてあることを確認します。
- オートヒッチアームにジョイントウケピンがないことを確認してください。

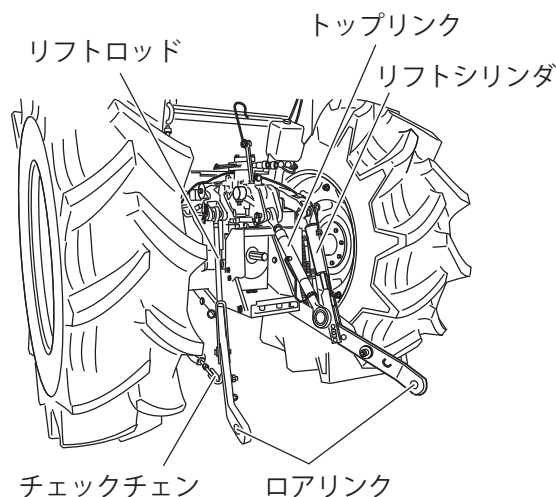


### (b) TC ジョイントの場合

- TC ジョイントは、RM753F (FJ) T-4S、RM753H (HJ) T-4S、RM853F (FJ) T-4S、RM853H (HJ) T-4S に標準装備されています。
- サポートプレートとジョイントウケピンが確実に取付けてあることを確認します。
- オートヒッチアームにジョイントザがないことを確認してください。



## 2 トラクタのポジションコントロールレバーを下げ、ロアリンクをいっぱいまで下げます。



- 3 点リンクの取付け位置は、「トラクタ別装着表」(→ p.107) を参照の上、トップリンク長やロアリンク、リフトロッドの穴位置を指定の位置に取付けてください。

### 取扱上の注意

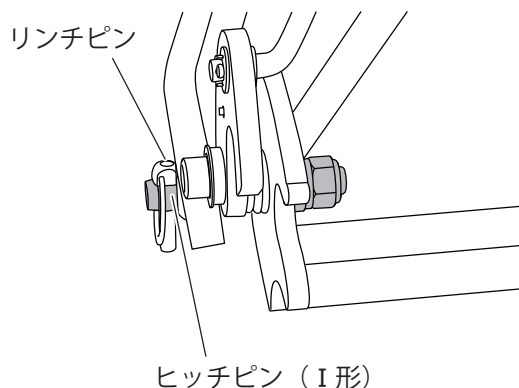
- トップリンクは目安の長さです。作業時に再度水平を確認し調整を行ってください。

使  
い  
か  
た

トラクタへの装着 (S 標準 S ヒッチ (0・I 形))

### 3 オートヒッチアームの左右ヒッチピンをトラクタのロアリンクに取付けます。

- ・取付け後は、リンチピンで抜け止めをしてください。

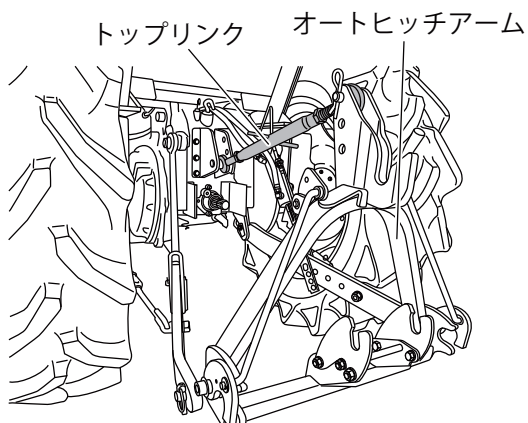


### 4 オートヒッチアームとトップリンクを取付けます。

#### ⚠ 注意

- !** 取付け後は、各ピン部の抜け止めがされているか確認してください。
- 必ず実行 \* 作業機が脱落し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

- ・取付け後は、リンチピン（またはRピン）で抜け止めをしてください。トップリンクとリンチピン（またはRピン）はトラクタ付属品を使用してください。



## ジョイントの取付け

トラクタへの装着前にジョイントを取付けます。

#### ⚠ 警告



必ず実行

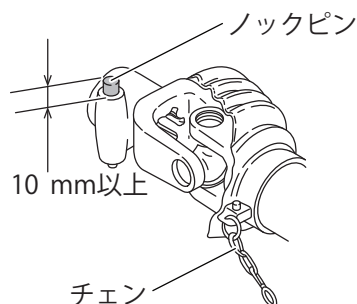
ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO チェンジレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

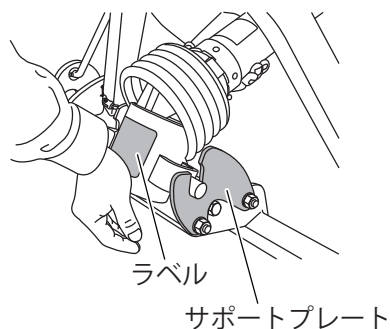
### 1 ジョイントの広角側をトラクタの PTO 軸に取付けます。

- (1) ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入し、軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。
- (2) トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状態を確認します。

- ・ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ・ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



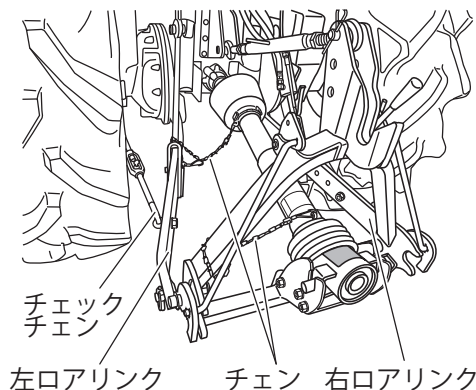
### 2 ジョイントのラベル面を上にし、手でジョイントを折り曲げ、軸の細い部分からサポートプレート（ラベル）の長穴にセットします。



- 3** ジョイントセーフティカバーのチェンを固定し、回り止めをします。

**取扱上の注意**

- このとき作業機をいっぱい下げてもチェンが緊張しないように、たるみを持たせてください。



- 4** チェックチェンを張って、オートヒッチアームをトラクタの中心部に合わせます。また、ロアリンクの左右の高さも均等にします。
- 5** 各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実にされていることを確認します。

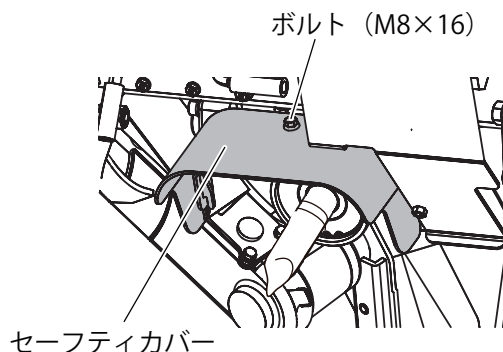
## セーフティカバーの取付け

**⚠ 危険**



セーフティカバーは必ず取付けてください。  
\* 巻き込まれて、死亡事故・大ケガにつながる恐れがあります。

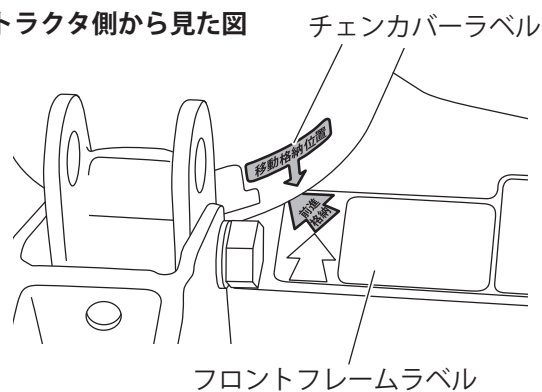
- 1** ボルト (M8 × 16) を使用して、セーフティカバーとカバーブラケットを固定します。



## トラクタへの装着

- 1** フロントフレームラベルの「前進格納」矢印と、チェンカバーラベルの「移動格納位置」矢印が合っている状態にします。

トラクタ側から見た図



**取扱上の注意**

- ズれている場合は、安全に装着することができないので、コントローラと電源を接続し、矢印を合わせてください。

使いかた

トラクタへの装着 (S 標準 S ヒッチ (0・I 形))

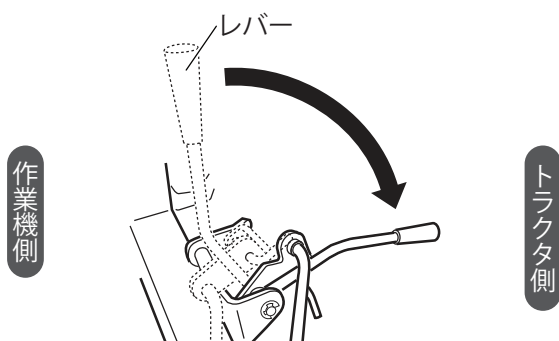
## 2 オートヒッチアームのロックを解除します。

- (1) レバーロックピンを引っ張ります。
- (2) レバーロックピンを解除方向へ回します。

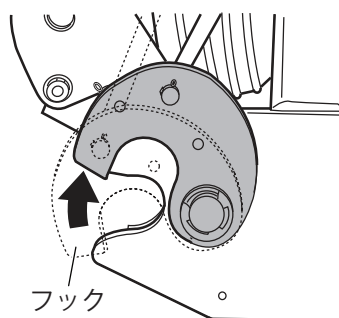
⇒ レバーのロックが解除されます。



- (3) レバーをトラクタ側へ倒します。



⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。



### ⚠ 注意

**!** レバーを倒した状態で、作業機昇降装置を上下すると、レバーとトラクタが干渉する場合があります。干渉に注意して装着してください。

必ず実行

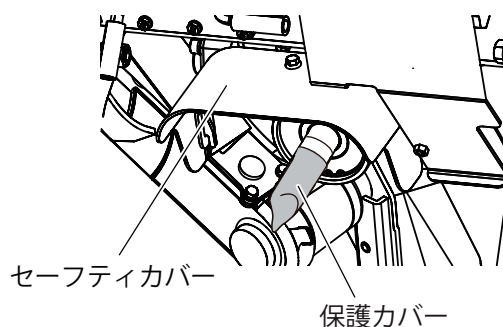
干渉する場合は、干渉しない位置まで下げてからレバーを操作してください。

\* トラクタの破損につながる恐れがあります。

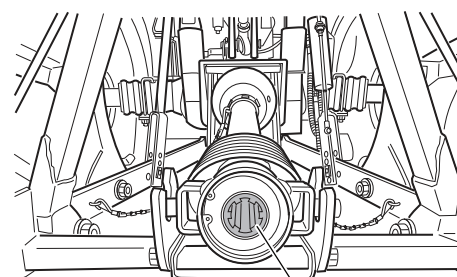
## 3 入力軸の保護カバーを取外します。

### 取扱上の注意

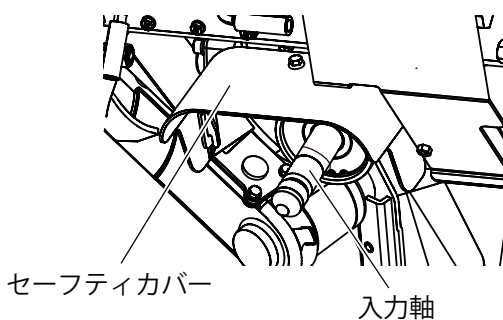
- ・ 入力軸の保護カバーを必ず取外してください。外さないで使用すると、破損につながる恐れがあります。



## 4 作業機の入力軸とジョイントの結合部に十分にグリスを塗布します。



ジョイントの結合部



## 5 作業機をトラクタに取付けます。

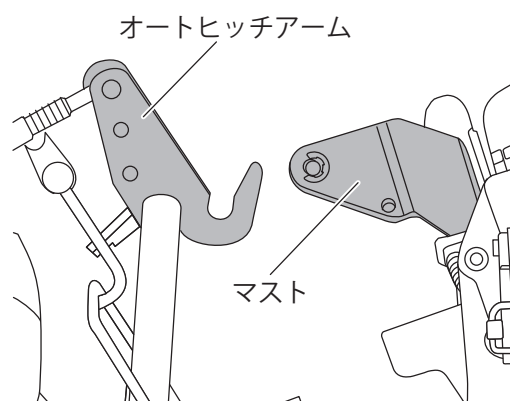
### 取扱上の注意

- 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。  
特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
- トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。  
また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
- ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
- トップリンクやロアリンクの取付け位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも、干渉の有無を確認してください。
- 左右の水平調節についても注意してください。
- 移動時に急ブレーキをかけた場合、反動で作業機が上がりトラクタに接触することがあるので注意してください。
- キャビン付きトラクタのリヤガラスを開けたまま作業機を上げたり、開閉操作を行わないでください。
- 作業機を急激に落下させないでください。破損の原因になります。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) オートヒッチアームを下げます。
- (3) トラクタをゆっくりバックさせ、作業機に近づけます。  
作業機のマスト先端とオートヒッチアームを合わせます。

### 取扱上の注意

- トラクタと作業機が直角になるようにしてください。

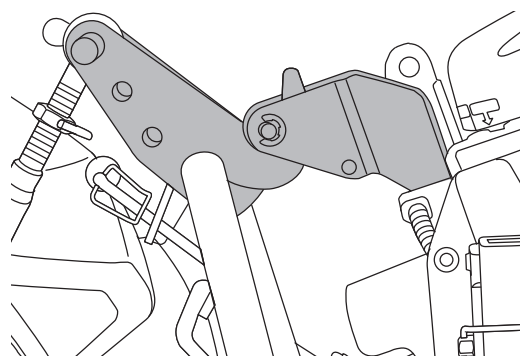


- (4) ポジションコントロールレバーを「上げる」にし、フックに合わせて作業機をゆっくりとリフトアップします。

⇒ ジョイントのスプライン部は、自動的に接続されます。

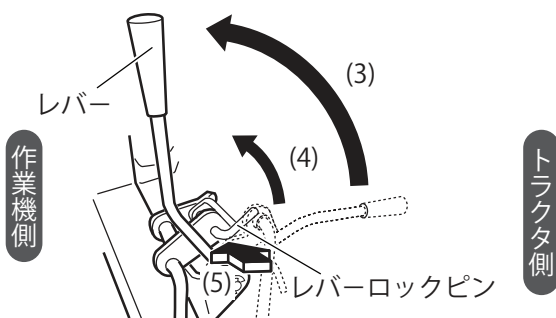
### 取扱上の注意

- ジョイントが噛み合わなかったなどの場合、ポジションコントロールレバーを下げ、一度トラクタを前進させてからやり直してください。  
また、トップリンクの長さが適切か確認してください。



## 6 オートヒッチアームをロックします。

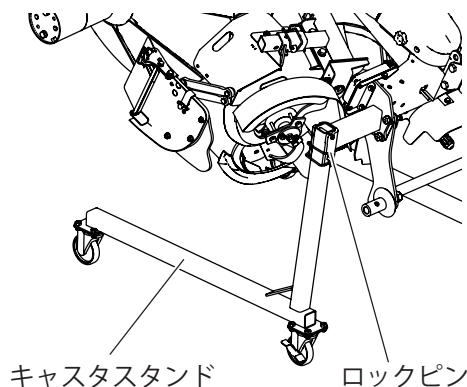
- (1) 作業機のガイドカラーとオートヒッチアームが、しっかりと入っていることを確認します。
- (2) 作業機の入力軸とジョイントのスプラインが、しっかりと入っていることを確認します。
- (3) 確認できたらレバーを上に戻します。  
⇒ 作業機とオートヒッチアームがロックされます。
- (4) レバーロックピンをロック方向に回します。
- (5) レバーがロックされます。



### 取扱上の注意

- ・ レバーロックピンは作業中の作業機の誤解放を防止するものです。  
作業するときは、必ずロックしてください。

## 7 スタンドブラケットのロックピンを取外し、キャストスタンドを取外します。



## 装着後のトラクタとの調整

### チェックチェンの調整

左右の横振れを確認し、必要に応じてチェックチェンを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタの PTO 軸を後方より見て直線上に合わせます。
- 2 左右の横振れが 10 mm 以内になっていることを確認します。10 mm を超える場合は、左右均等にチェックチェンを張ります。

### リフトロッドの調整

左右の水平を確認し、必要に応じてリフトロッドを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるようにします。
- 2 トラクタの油圧水平スイッチを操作し、リフトロッドを調整します。油圧水平スイッチがない場合は、リフトロッドを回して調整します。

### トップリンクの調整

トップリンクの長さは「トラクタ別装着表」(→ p.107) を参照して調整します。後ほど作業中に微調整を行います。

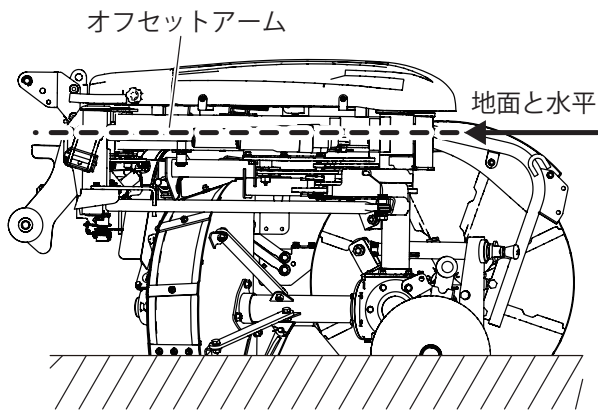
### 警告



トップリンクの調整は、作業機を接地させてから行ってください。

必ず実行 \* トップリンクが抜けて、作業機が落下し、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

作業機を接地させ、オフセットアームが地面に対して水平になるようにトップリンクを調整してください。※水平になっていない場合は、畦の土の量が不足して丈夫な畦ができません。



#### 取扱上の注意

- 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。
- 特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
- トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
- ポジションコントロールレバーで作業機を上下させてカバーの隙間が適正か確認してください。
- トップリンクやロアリンクの取付け位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも、干渉の有無を確認してください。
- 左右の水平調節についても注意してください。
- 移動時に急ブレーキをかけた場合、反動で作業機が上がリトラクタに接触することがあるので注意してください。
- キャビン付きトラクタのリヤガラスを開けたまま作業機を上げたり、開閉操作を行わないでください。
- 作業機を急激に落下させないでください。破損の原因になります。
- 推奨外の条件で使用しないでください。作業機が持つ本来の性能を発揮できないだけでなく、作業機が破損する恐れがあります。使用条件を守り、正しい使いかたをしてください。

## ジョイントの確認

広角ジョイントの場合、ジョイントと作業機の入力軸とが直線に近いほど異音は少なくなります。

#### 取扱上の注意

- トラクタによっては、作業機を最上位置に上げた状態で回転させると、異音が発生することがあります。ジョイントに無理がかかり、損傷の原因になる恐れがあります。この場合、回転しても振動や音が出ない位置に、トラクタのポジションコントロールレバーのストップをセットしてください。

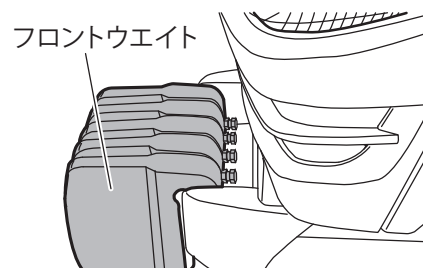
1 ゆっくり作業機を上げます。

2 ジョイントが一番縮んだ状態で、軸を突かないことを確認します。

3 作業機を上下してカバーの隙間が「ジョイントの取付け準備」(→ p.17) の範囲であることを確認します。

## フロントウエイトの装着

トラクタ型式および装着方式によりフロントウエイトが必要になります。(→ p.130) 必ず、必要枚数および重量をご確認の上、ご購入先にご相談ください。



使いかた

トラクタへの装着 (JIS 標準 S ヒッチ (0・I 形))

## トラクタからの取外し

作業機のトラクタからの取外しについて記載しています。

### ⚠ 警告



必ず実行

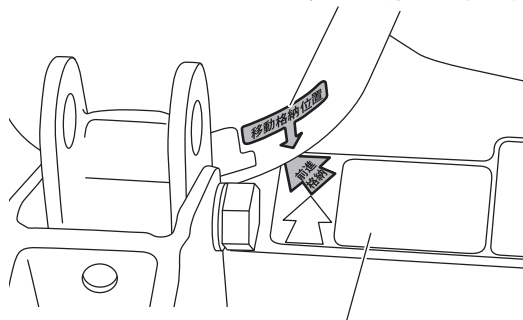
作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした場所で、取外しのためのスペースが十分にとれる場所で行ってください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- 1 フロントフレームラベルの「前進格納」矢印と、チェンカバーラベルの「移動格納位置」矢印が合っている状態にします。

トラクタ側から見た図

チェンカバーラベル



フロントフレームラベル

### 取扱上の注意

- ズれている場合は、安全に装着することができないので、コントローラと電源を接続し、矢印を合わせてください。

- 2 電源ハーネスをカプラ部分で切り離します。

### ⚠ 警告



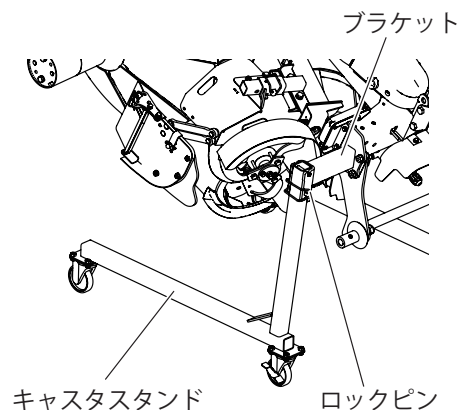
必ず実行

作業機をトラクタから取外す前に、必ず電源ハーネスを切り離してください。

\* 電源ハーネスが損傷し、ショートして火災につながる恐れがあります。

- 3 キャスタスランドを取付けます。

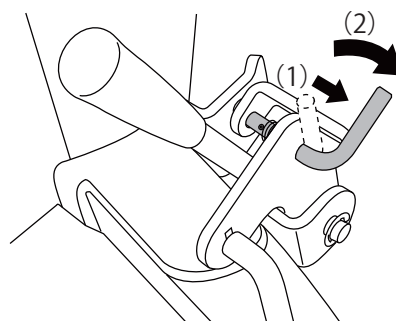
- (1) 作業機を持ち上げます。
- (2) キャスタスランドを作業機両側のブラケットに取付け、ロックピンで固定します。



- 4 オートヒッチアームのロックを解除します。

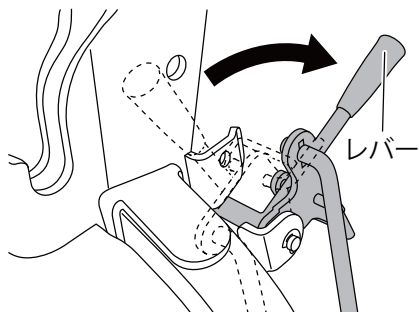
- (1) レバーロックピンを引っ張ります。
- (2) レバーロックピンを解除方向へ回します。

⇒ レバーのロックが解除されます。



(3) レバーをトラクタ側へ倒します。

⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。



### ⚠ 注意



必ず実行

レバーを倒した状態にしたまま、作業機昇降装置を上下しますと、レバーとトラクタが干渉する場合がありますので、干渉に注意して装着してください。

干渉する場合は、干渉しない位置まで下げてからレバーを操作してください。

\* トラクタの破損につながる恐れがあります。

## 5 作業機を下げます。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) ポジションコントロールレバーを「下げる」にします。
- (3) 作業機を下げ、トラクタをゆっくり前進させます。

外れない場合は、場所が平坦でないかトラクタがまっすぐ前進していないなどの原因があります。再度動作をやり直してください。

⇒ 作業機は外れます。

### 取扱上の注意

- ・ 作業機を急激に落下させないでください。破損の原因になります。

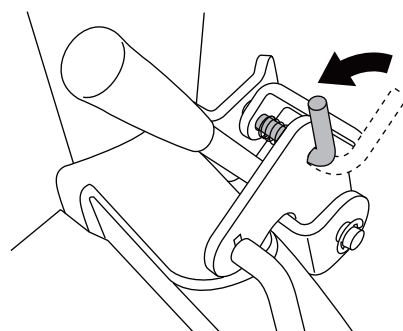
### ⚠ 注意



必ず実行

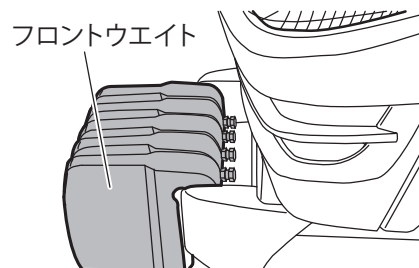
トラクタから作業機を外し、オートヒッチアームを作業機に取り付けて格納する場合には、レバーに付いているロックピンを図のようにオートヒッチアームのロックプレートに必ず挿入してください。

\* オートヒッチアームの落下につながる恐れがあります。



## フロントウエイトの取外し

作業前に取付けたフロントウエイトを取外します。



使いかた

トラクタへの装着 (S 標準 S ヒッチ (0・I 形))

# トラクタへの装着（トラクタ純正オートヒッチ）

トラクタ純正オートヒッチについて記載しています。

いずれの型式も、トラクタに装着されている純正ロータリと同様の手順で、作業機の取付けと取外しができます。また、純正ロータリのオートヒッチ、トップリンク、ジョイントがそのまま使用できます。

◆メーカーによりオートヒッチの呼び名が異なりますので注意してください。

## 適用型式

以下の型式が適用となります。

RM753H（HJ） -S  
                  -T  
                  -U  
                  -MU  
RM753F（FJ） -S  
                  -T  
                  -U  
                  -MU  
RM853H（HJ） -S  
                  -T  
                  -U  
                  -MU  
RM853F（FJ） -S  
                  -T  
                  -U  
                  -MU

## 注意事項

### ⚠ 警告



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



スタンドを着脱する際は、トラクタのエンジンを停止し、作業機を持ち上げ、油圧ロックし、落下防止をしてから行ってください。

必ず実行 \* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に入らないように注意してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

### ⚠ 注意



禁止

スタンドは、圃場内での使用や圃場内への放置はしないでください。

\* 泥の浸入により回動しにくくなることがあります。泥が浸入して回動しにくくなった場合は、よく洗浄してグリスを塗布してください。

### ⚠ 注意



必ず実行

夜間の場合は適切な照明を用いてください。

\* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

二人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

\* 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

スタンドで作業機を移動する際は、平坦な広い場所で、周囲に人がいないことを確認し、足元に注意して行ってください。

\* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

キャストおよびスタンドが損傷した場合は、ただちに修理・交換を行ってください。

\* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機を装着する際は、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」にしてください。

\* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

トラクタメーカーの純正ウエイトを取付けてください。

トラクタ型式および装着方式によりフロントウエイトが必要になります。

\* 事故・ケガにつながる恐れがあります。

## トラクタへの装着

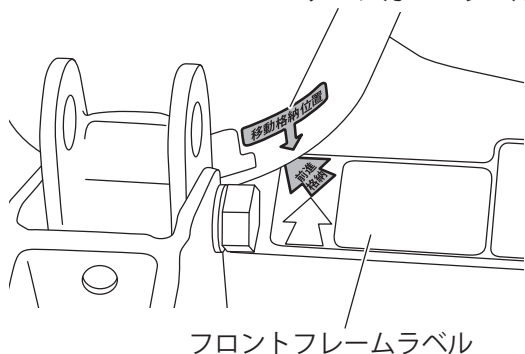
### トラクタの準備

ロアリンク、リフトロッドは、純正ロータリと同じ位置（特殊 3P）で、またオートヒッチはロアリンクに取付けた状態で本作業機は装着できます。

### 作業機の確認・装着

- 1 フロントフレームラベルの「前進格納」矢印と、チェンカバーラベルの「移動格納位置」矢印が合っている状態にします。

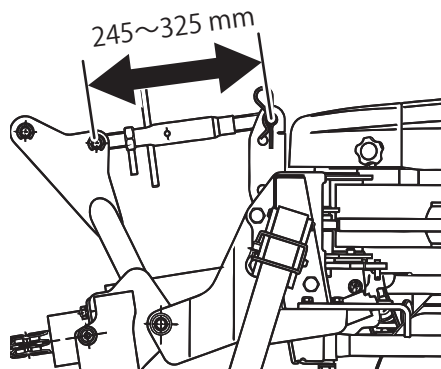
トラクタ側から見た図      チェンカバーラベル



#### 取扱上の注意

- ・ズレている場合は、安全に装着することができないので、コントローラと電源を接続し、矢印を合わせてください。

- 2 入力軸を前傾にし、装着しやすいようにターンバックルの長さを調整します。（出荷時 245 ～ 325 mm：機種によって異なります。）



- 3 作業機をトラクタに取付けます。

トラクタにより、装着手順が異なります。お手持ちの、トラクタおよび、純正ロータリの『取扱説明書』に従って装着してください。

### ⚠ 危険



禁止

作業が終わって作業機を取外すまでは、特殊 3P オートヒッチアームのロックレバーには絶対に手を触れないでください。

＊ ロックが解除し作業機が外れ、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

装着後は、特殊 3P オートヒッチアームのロックが確実にされていることを確認してください。

＊ ロックされていない場合、走行中や作業中に作業機が外れて事故・大ケガにつながる恐れがあります。

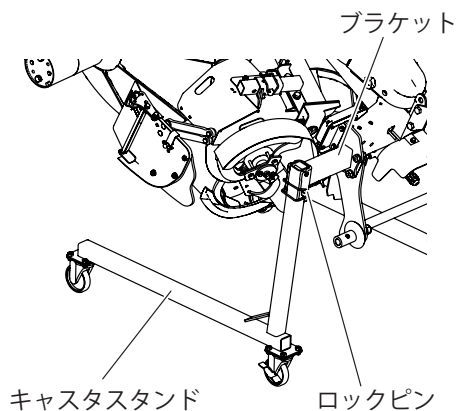
#### 取扱上の注意

- ・ 作業機装着時はオートヒッチアームのフックでハーネスを挟まないようにしてください。破損の原因につながります。
- ・ 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。  
特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
- ・ トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。  
また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
- ・ ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
- ・ トップリンクやロアリンクの取付け位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも、干渉の有無を確認してください。
- ・ 左右の水平調節についても注意してください。

使  
い  
か  
た

トラクタへの装着（特殊オートヒッチ）

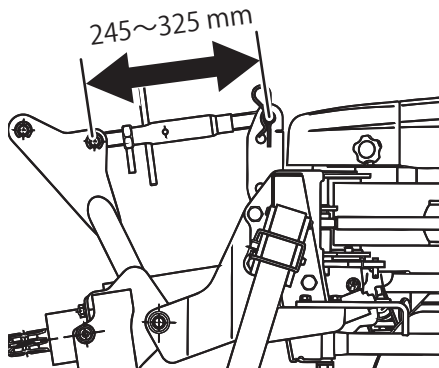
- 4 スタンドブラケットのロックピンを取外し、キャストスタンドを取外します。



## 装着後のトラクタとの調整

### ターンバックルの調整

作業機を接地させ、オフセットアームが地面に対して水平になるように、ターンバックルを調整してください。

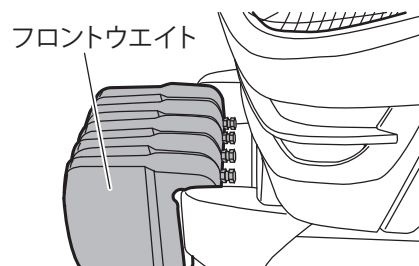


### ⚠ 警告

！ ターンバックルの調整は、作業機を接地させてから行ってください。  
必ず実行 \* ターンバックルが抜けて、作業機が落下し、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

## フロントウエイトの装着

トラクタ型式および装着方式によりフロントウエイトが必要になります。「フロントウエイト装着表」(→ p.130) を参考にして装着してください。



## トラクタからの取外し

作業機のトラクタからの取外しについて記載しています。

### ⚠ 警告



必ず実行

作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした場所で、取外しのためのスペースが十分にとれる場所で行ってください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- 1 フロントフレームラベルの「前進格納」矢印と、チェンカバーラベルの「移動格納位置」矢印が合っている状態にします。

トラクタ側から見た図

チェンカバーラベル



### 取扱上の注意

- ズレている場合は、安全に装着することができないので、コントローラと電源を接続し、矢印を合わせてください。

## 2 電源ハーネスをカブラ部分で切り離します。

### ⚠ 警告

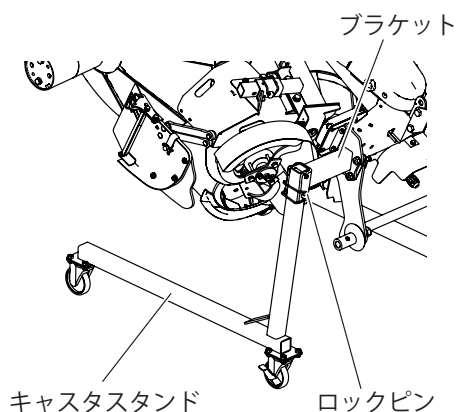


作業機をトラクタから取外す前に、必ず電源ハーネスを切り離してください。

\* 電源ハーネスが損傷し、ショートして火災につながる恐れがあります。

## 3 キャスタスタンドを取付けます。

- (1) 作業機を持ち上げます。
- (2) キャスタスタンドを作業機両側のブラケットに取付け、ロックピンで固定します。

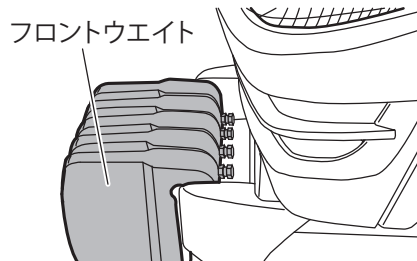


## 4 作業機を取外します。

純正ロータリの『取扱説明書』に従い同様の手順で取外してください。

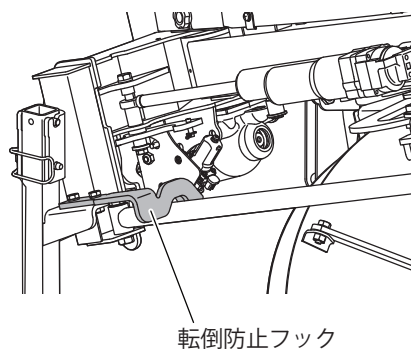
## フロントウエイトの取外し

作業前に取付けたフロントウエイトを取外します。



## 保管・格納

保管・格納時は転倒防止フックがかかっていることを確認してください。



### ⚠ 注意



キャストスタンドは曲がったまま使用しないでください。

禁止

\* 作業機が転倒する恐れがあります。



キャストスタンドは保管・格納時のみ使用してください。

必ず実行

\* 運搬時などで使用すると、キャストスタンドおよび作業機の損傷する恐れがあります。

使いかた

トラクタへの装着 (C) 特殊オートヒッチ

# トラクタへの電源接続と配線

トラクタへの電源接続と配線について記載しています。

## 注意事項

### ⚠ 警告



禁止

バッテリーへの取付け、取外しときは、火気を近づけないでください。  
\* 火災につながる恐れがあります。



禁止

ハーネスが損傷している場合は、絶対に使用しないでください。  
\* ショートして火災につながる恐れがあります。



禁止

6V、24V などのバッテリーには絶対に接続しないでください。  
接続できるバッテリー電圧は 12V です。  
\* 制御ボックスなどを損傷し、ショートして火災につながる恐れがあります。



必ず実行

ハーネスの取付けおよび取外し手順は、必ず取扱説明書通りに行ってください。  
\* 工具などがトラクタのボディに当たった場合にショートして火災につながる恐れがあります。



必ず実行

バッテリー (+) 端子への取付けおよび取外し作業は、アース側の (-) 側ケーブルがターミナルから取外されていることを確認した上で、行ってください。  
\* 工具などがトラクタのボディに当たった場合にショートして火災につながる恐れがあります。



必ず実行

バッテリーハーネスのスローブローヒューズが切れた場合は、必ず純正部品に交換してください。  
\* ショートして火災につながる恐れがあります。



注意

ハーネスをバッテリーに接続するときは、(+)(-) に注意してください。  
\* 逆に接続すると、ショートして火災につながる恐れがあります。

### ⚠ 注意



禁止

配線がぬれている場合は、触れないでください。  
\* 感電する恐れがあります。



禁止

ぬれた手でバッテリーや接続部に触れないでください。  
\* 感電する恐れがあります。



必ず実行

作業をしないときは、電源カブラ 3P (白) を必ず外してください。  
\* バッテリー上がりおよび誤作動による事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

他のトラクタのバッテリーや充電器を接続してエンジンをかける場合、必ず制御ボックスの電源カブラ 3P (白) を取外してください。  
\* 過電流がかかり故障の原因となる恐れがあります。



必ず実行

トラクタのバッテリーを充電する場合、必ず制御ボックスの電源カブラ 3P (白) を取外してください。  
\* 過電流がかかり故障の原因となる恐れがあります。



必ず実行

長期間使用しない場合は、必ずトラクタのバッテリーからバッテリーハーネスを取外して保管してください。  
\* バッテリーハーネスを損傷する恐れがあります。

## 作業時確認

以下の内容を確認しながら作業を行ってください。

- (a) トラクタのエンジンキー ON/OFF
- (b) バッテリーの+／－は間違えていないか
- (c) バッテリーは上がっていないか
- (d) スタータは軽く回るか
- (e) 各カプラが確実にハマっているか
- (f) カプラ内部の端子が抜けかけていないか
- (g) ヒューズが切れていないか
- (h) バッテリー端子部の接触不良はないか  
(接触不良の場合は磨いてください。)
- (i) ハーネスを座席やヒッチ部に挟み込んで断線していないか

## 事前準備

- ・ 外部電源取出しの有無を確認してください。  
(→ p.34)
- ・ バッテリーハーネス M2 で作業機側の電源ハーネスまで届かない場合は、エンチョウハーネス M を使用してください。

| 部品名                    | 品目コード   | 個数  |
|------------------------|---------|-----|
| エンチョウハーネス M<br>(オプション) | 4910588 | 1 m |

- ・ 外部電源取出し CN2P を他の機器などで使用している場合は、次の部品を準備してください。

| 部品名                     | 品目コード   | 個数  |
|-------------------------|---------|-----|
| CN2P ブンキハーネス<br>(オプション) | 4500036 | 1 個 |

## 配線のポイント

- ・ トラクタの外部電源取出しカプラを、必ず「トラクタへの電源接続と配線」のように接続してください。(→ p.34)  
制御ボックスのコンピューターが起動しません。
- ・ バッテリーハーネスは確実に取付けてください。
- ・ バッテリー電圧を確認してください。  
トラクタのスタータを回しても、電動油圧シリンダが動かせない場合があります。  
電気が足りなくなると、制御ボックスのコンピューターがダウンします。

## トラクタへの電源接続と配線

### ⚠ 警告



禁止

バッテリーハーネスM2を外部電源取出し（20A）に接続しないでください。

\* 火災の原因になる恐れがあります。

#### 取扱上の注意

確実に取付けてください。  
確実に取付けてあるようでも端子の酸化皮膜で電気が流れにくいことがあります。作動しない、作動が正常でないときは端子を磨いてください。

スローブローヒューズ  
(60A)

バッテリーハーネス

トラクタバッテリー  
DC12V

カプラCN2P（黒）

カプラCN2P（青）

外して使用します。

トラクタ外部電源取出し

CN2Pブンキ  
ハーネス

ミニガラス管ヒューズ  
φ5.2×20 mm/250 V 5 A

ジュウデンハーネス

ハーネスUSB

電源カプラ3PF（白）

バッテリーハーネスM2  
カプラCN2P（黒）を外し、CN2Pブンキハーネスに接続  
します。直結カプラCN2P（青）には何も接続しません。

作業機カプラ  
3PM（白）

制御ボックス

## 電源接続パターン② 作業機用大容量電源取出しに接続 ※オプションハーネス使用

### 取扱上の注意

- ・トラクタに作業機用大容量電源取出しが装備されている場合は、ヘンカンハーネス（オプション）を使用することでバッテリーハーネスが不要になります。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・ヘンカンハーネス  
（コード：7560378オプション）  
トラクタメーカーにて設定がある場合もあります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

トラクタ作業機用  
大容量電源取出し

ヘンカンハーネス  
（オプション）

直結カプラ  
CN2P（青）

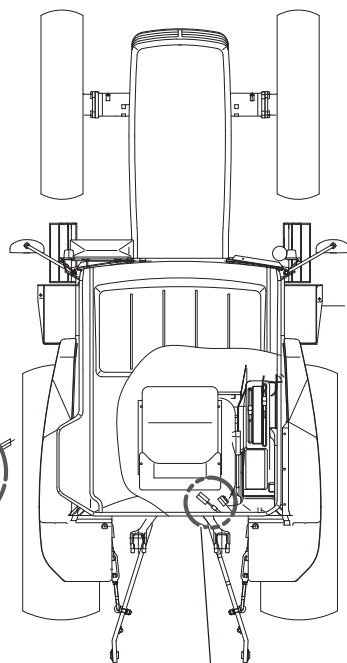
外して使用します。

バッテリーハーネスM2  
電源カプラ3PF（白）

### 取扱上の注意

- ・代かき作業をしないときは、電源カプラ3PF（白）を抜いてください。

カプラ  
CN2P（黒）



トラクタ外部電源取出し  
作業機用大容量電源取出し

トラクタ外部電源取出し  
ミニガラス管ヒューズ  
φ5.2×20 mm/250 V 5 A

ジュウデンハーネス ハーネスUSB

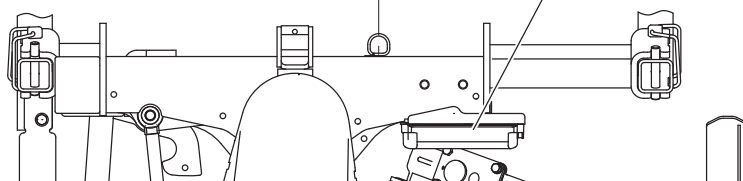
トラクタ作業機用大容量電源取出しが  
キー連動していない場合

CN2Pブンキハーネス

カプラCN2P（黒）のカプラを外し、  
付属のCN2Pブンキハーネスを使用して  
トラクタ外部電源に接続してください。  
その際、ジュウデンハーネスはCN2P  
ブンキハーネスに接続してください。

作業機カプラ  
3PM（白）

制御ボックス

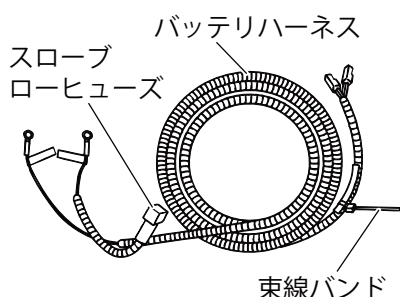
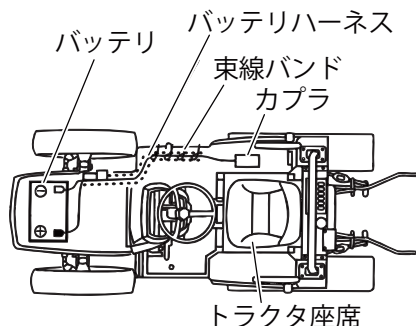


使いかた

トラクタへの電源接続と配線

## バッテリーへの取付け・取外し

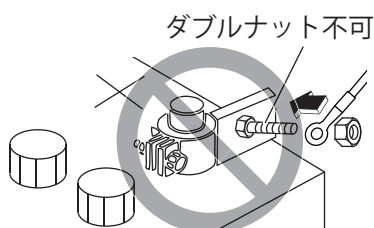
### ■ バッテリーへの取付け



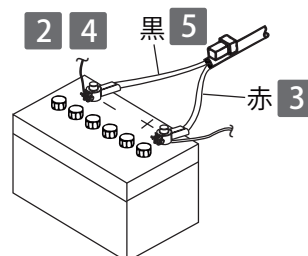
- 1 トラクタのエンジンを止め、電源を切ってからエンジンキーを抜きます。
- 2 バッテリーに取付けられているアース側の（－）側ケーブルをターミナルから取外します。
- 3 バッテリーハーネスの（＋）側（赤色線）丸端子を、バッテリーの（＋）側のターミナルのネジ部に取付けた後、確実に締まっていることを確認します。
- 4 アース側の（－）ケーブルをバッテリーの（－）側ターミナルに取付けます。

#### 取扱上の注意

- ・ケーブルは、直接ターミナルに取付けてください。ナットの上からダブルナットで取付けると、電気が流れにくくなります。テスターで12V出ている、電流が足りないことがあります。



- 5 バッテリーハーネスの（－）側（黒色線）丸端子を、バッテリーの（－）側ターミナルのネジ部に取付けます。確実に締まっていることを確認します。



#### 取扱上の注意

- ・丸端子取付け部のサビ・汚れの除去を行わないと接触不良となり、作業機が正常に作動しない恐れがあります。

- 6 ハーネスがたるまないように付属の束線バンドでトラクタに固定します。ハーネスの引っ張り、折り曲げ、挟まりなどが無いか確認します。

### ⚠ 警告



必ず実行

バッテリーハーネスを固定するには、以下のことを守ってください。

- ・トラクタの高温部箇所（マフラなど）には、取付けない。
- ・回転物（ファンベルト、冷却ファンなど）や可動するものに接触しない。
- ・バッテリーハーネスが鋭利なものに接触したり、カバー、座席、キャビンのドアなどに挟み込まれない。
- ・トラクタフレームの下側にバッテリーハーネスが垂れ下がった状態にしない。
- ・油圧配管にバッテリーハーネスを固定しない。
- ・トラクタ可動部にバッテリーハーネスを固定しない。
- ・運転席の足元でバッテリーハーネスがたるまない。
- \* 守らないと、バッテリーハーネスが破損し、ショートして火災につながる恐れがあります。

## ■ バッテリからの取外し

### ⚠ 警告

**！** カプラを取外す場合は、ロック用の爪部分を押さえながら取外してください。このとき、絶対に配線を引っ張って取外さないでください。

必ず実行

＊ カプラが破損し、端子が剥き出しになりショートして火災につながる恐れがあります。

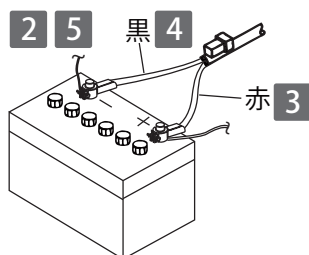
### 取扱上の注意

- ・ 制御ボックスへの配線を必ず外してから行ってください。誤作動、故障の原因になります。

- 1 トラクタのエンジンを止め、電源を切ってからエンジンキーを抜きます。
- 2 バッテリに取付けられているアース側の（－）側ケーブルをターミナルから取外します。

- 3 バッテリハーネスの（＋）側（赤色線）丸端子を、バッテリーの（＋）側ケーブルから取外します。

ネジを元通りに確実に締付けます。

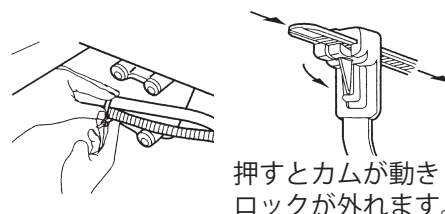


- 4 バッテリハーネスの（－）側（黒色線）丸端子をバッテリーの（－）側ケーブルから取外します。
- 5 アース側の（－）ケーブルをバッテリーの（－）側ターミナルに取付けます。ネジが確実に締まっていることを確認します。

- 6 束線バンドを取外してから、バッテリハーネスを取外します。

### 取扱上の注意

- ・ ハサミなどで切らないでください。



- 7 取外した部品は、安全な場所に大切に保管します。

## ハーネスの取出し

バッテリハーネス M2 のカプラをトラクタ後部のケーブル取出し穴から引き出します。

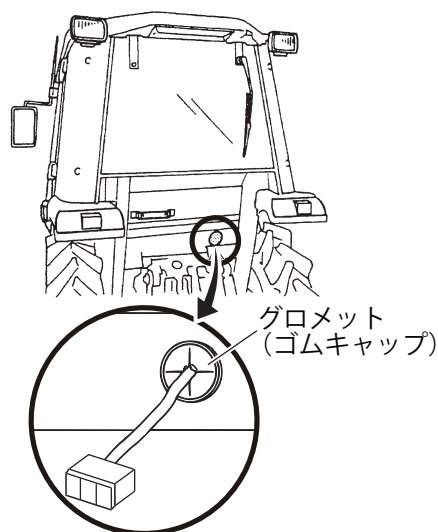
### ⚠ 警告



必ず実行

バッテリハーネス M2 をトラクタ後部のケーブル取出し穴に通す場合、必ずグロメット（ゴムキャップ）の中を通してください。グロメットで塞がれている場合はカッターなどで切り、その中を通してください。

＊ グロメットを外してケーブルを通すとケーブルが鋭利なコーナーで切断され、ショートして火災につながる恐れがあります。

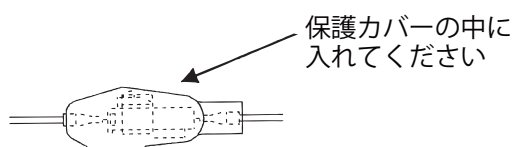


## 電源カプラの接続

- 1 トラクタから取出したバッテリーハーネス M2 の電源カプラ 3PF（白）と、作業機カプラ 3PM（白）を接続します。

### お知らせ

- ・ 電源ハーネスのカプラは、保護カバーの中にあります。
- ・ 接続したカプラは保護カバーをずらして両方を覆ってください。
- ・ トラクタの外部電源取出しを使用せず直結にしている場合は、接続時に制御ボックスから「ピ」と音が鳴ります。



- 2 配線後は作業機を上下させてハーネス（コード）が引っ張られたり、ジョイントやタイヤなどに接触しないか確認します。

### 取扱上の注意

- ・ 作業機カプラ 3PM（白）は、下に垂れ下がらないようにしてください。  
巻き込まれや水没など損傷の原因になります。

- 3 配線を束線バンドによりオートヒッチアーム上方に固定します。

## ⚠ 注意



配線を固定するときは、以下のことを必ず守ってください。

必ず実行

- ・ 配線がトラクタおよび作業機の鋭利なコーナーに接触しないことを確認してください。
- ・ ポジションコントロールレバーの上下操作により電源コードに余裕を持たせてください。
- \* コードが切断され、ショートして火災につながる恐れがあります。

## 格納

## ⚠ 注意



畦塗り作業をしないときは、電源カプラ 3P（白）を必ず取外してください。

必ず実行 \* バッテリ上がりおよび誤作動する恐れがあります。

- ・ 作業終了時はバッテリーハーネス M2 の電源カプラと作業機カプラを取外してください。
- ・ 作業機のカプラは保護カバーの中に入れてください。
- ・ バッテリーハーネス M2 の電源カプラは水がかかったりショートしないようにトラクタ内に引き込んで保護してください。
- ・ 長期にわたり使用しないときはハーネス M2 をトラクタから取外し大切に保管してください。（バッテリーハーネスを使用している場合はバッテリーハーネスも取外して大切に保管してください。）

## カルコンホルダの取付け

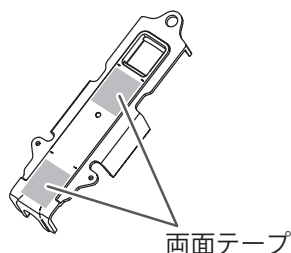
カルコンホルダの取付けは、カルコンホルダ裏側に貼っている両面テープで行います。

カルコンホルダの取付け位置はフェンダーやピラー（支柱）などの安全に操作しやすく、カルコンと制御ボックスとが見通せる箇所に取付けてください。

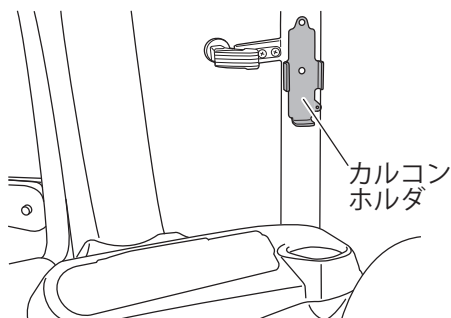
### 取扱上の注意

- 座席の前方や人体の前などで操作を行うと、電波が遮断され、操作に影響が出る可能性があります。
- カルコンは、なるべく制御ボックスが見通せる位置に設置してください。
- 高温になる場所への設置はしないでください。
- 路上走行時にフロントガラスに設置することは、法令により禁止されています。カルコンホルダを取外してください。

＜カルコンホルダ裏側＞



＜キャビン仕様の場合＞



## カルコンホルダの取付け

- 1 取付け面の清掃、脱脂を十分行います。

### お知らせ

- 取付け面に汚れ、油などが付着しているとテープの粘着力がなくなり剥がれやすくなります。

- 2 両面テープの保護フィルムを剥がし、カルコンホルダを取付け面に十分押付けます。

- 3 カルコンをカルコンホルダの上側から挿入します。

使  
い  
か  
た

トラクタへの電源接続と配線

# カルコンについて

ここではカルコンの説明と操作方法について詳しく記載しています。  
作業前によく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

## 注意事項

### ⚠ 危険

-  **ストラップを首にかけたまま作業機の可動部に近づかないでください。**  
禁止 \* 作業機の回転部分などに巻込まれる恐れがあり危険です。
-  **カルコンを転がりやすい位置に放置しないでください。**  
禁止 \* ブレーキペダルの下に入り込むと、運転操作を妨げ、危険です。
-  **カルコンを操作し作動しているときは、作業機の周囲に人を近づけないでください。また作業機の近くに人がいる場合は、カルコンの操作をしないでください。**  
禁止 \* 作業機に挟まれ、事故・大ケガにつながる恐れがあります。
-  **充電ジャックがぬれたり、異物が入ったりした状態での充電はしないでください。充電などで防水キャップを取外した状態では、ぬれたり異物が入ったりしないようにしてください。**  
禁止 \* 火災や故障の原因になります。

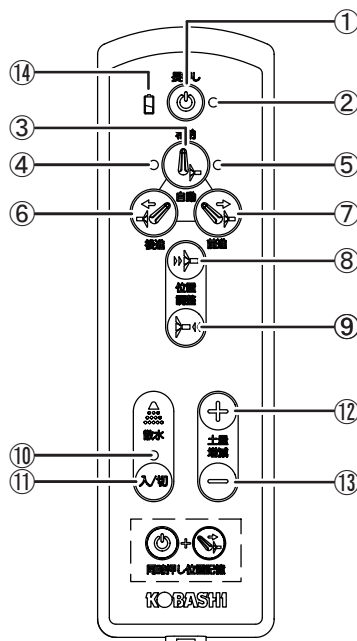
### ⚠ 注意

-  **不必要に電源を入れないでください。カルコンの電源を ON にした時点で、制御ボックスの状態にかかわらず、電波を発信します。**  
禁止 \* 故障や予期せぬ作動の原因となり、ケガをする恐れがあります。
-  **カルコンは必ず子供の手の届かない場所で保管してください。**  
必ず実行 \* 故障や予期せぬ作動の原因となり、ケガをする恐れがあります。

### 取扱上の注意

- 精密部品ですので落としたり、トラクタの座席に挟み込んだり、激しい振動を与えないでください。
- 樹脂部品のため溶剤（ガソリン、灯油、シンナーなど）を付けないでください。割れたり、溶けたりすることがあります。
- 生活防水（JIS 防水保護等級 4 級相当）のため、水、洗浄機に入れたり、流水で洗ったりしないでください。
- カルコン裏面に空気穴を設けています。この部分を塞いだり、細いもので突いたりしないでください。内部の防水シールが破れ故障の原因になります。
- 磁気を帯びたキーホルダを付けたり金属系シールなどを貼付けないでください。電波が飛びにくくなることがあります。
- 直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置、保管をしないでください。

## カルコンとボタン説明



| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                 |
|-----|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①   | 「電源」ボタン | 押すたびにカルコンの電源を入り切りすることができます。<br>「電源」ランプが点滅を始めるまで1秒以上押してください。<br>点滅して数秒後「電源」ランプが点灯に変わり使用することができます。(制御ボックスの電源はこの操作で入り切りできません)                                         |
| ②   | 「電源」ランプ | 点灯：電源「入」<br>無操作状態で自動的に電源が切れます。<br>消灯：電源「切」<br>点滅：通信エラー<br>(通信状態が悪い状態)<br>・制御ボックスの電源が入っていない<br>・制御ボックスから離れすぎている<br>・電波障害<br>これらのときは、操作はできません。この状態が30秒続くと自動で電源が切れます。 |

| No.    | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ③      | 「格納」ボタン    | 作業機を格納状態にするボタンです。作動中は作動を示すブザー音が鳴ります。<br>「格納」ボタンを一度押すと最後まで作動し自動的に止まります。押し続ける必要はありません。<br><b>取扱上の注意</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>格納作動を緊急停止する場合は、カルコンのいずれかのボタンを押してください(どのボタンを押しても緊急停止します)。</li> <li>操作時は、作業機が完全に停止するまで必ず目視で確認してください。</li> <li>格納作動を完了させるため、作動が止まっても作動音を示すブザー音が止まるまで必ず待ってください。</li> <li>作動中通信エラーが発生した場合は、格納作動を停止します。再度操作してください。</li> <li>作業機の格納作動は作業機を持ち上げた状態で行ってください。</li> <li>危険なので格納作動は PTO の回転を止めて行ってください。</li> </ul> |
| ④<br>⑤ | 「自己診断用」ランプ | 「自己診断モード」中に状況に応じて点灯・点滅します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ⑥      | 「後進」ボタン    | 作業機を後進状態にするボタンです。作動中は作動を示すブザー音が鳴ります。<br>「後進」ボタンを一度押すと最後まで作動し自動的に止まります。押し続ける必要はありません。<br><b>取扱上の注意</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>後進作動を緊急停止する場合は、カルコンのいずれかのボタンを押してください(どのボタンを押しても緊急停止します)。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                    |

使  
い  
か  
た

カルコンについて

| No. | 名 称         | 説 明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑥   | 「後進」<br>ボタン | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 操作時は、作業機が完全に停止するまで必ず目視で確認してください。</li> <li>・ 格納作動を完了させるため、作動が止まっても作動音を示すブザー音が止まるまで必ず待ってください。</li> <li>・ 作動中通信エラーが発生した場合は、後進作動を停止します。再度操作してください。</li> <li>・ 作業機の後進作動は作業機を持ち上げた状態で行ってください。</li> <li>・ 危険なので後進作動は PTO の回転を止めて行ってください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                         |
| ⑦   | 「前進」<br>ボタン | <p>作業機を記憶させた前進作業状態にするボタンです。作動中は作動を示すブザー音が鳴ります。「前進」ボタンを一度押すと最後まで作動し自動的に止まります。押し続ける必要はありません。</p> <p><b>取扱上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前進作動を緊急停止する場合は、カルコンのいずれかのボタンを押してください（どのボタンを押しても緊急停止します）。</li> <li>・ 操作時は、作業機が完全に停止するまで必ず目視で確認してください。</li> <li>・ 前進作動を完了させるため、作動が止まっても作動音を示すブザー音が止まるまで必ず待ってください。</li> <li>・ 作動中通信エラーが発生した場合は、前進作動を停止します。再度操作してください。</li> <li>・ 作業機の前進作動は作業機を持ち上げた状態で行ってください。</li> <li>・ 危険なので前進作動は PTO の回転を止めて行ってください。</li> </ul> |

| No. | 名 称                  | 説 明                                                                                                                                                                                 |
|-----|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑧   | 「外」<br>ボタン           | <p>作業機を前進作業方向にオフセットします。押している間作動し、離すと止まります。最大までオフセットするとブザー音が鳴り、作動が終了します。</p> <p>後進状態で操作する場合、まずリバースロックを解除する動作をし、その後でオフセット作動が開始します。</p> <p>「外」ボタンを押し続けてください。</p>                       |
| ⑨   | 「内」<br>ボタン           | <p>作業機を後進作業方向にオフセットします。押している間作動し、離すと止まります。後進状態までオフセットするとブザー音が鳴り、作動が終了します。</p>                                                                                                       |
| ⑩   | 「散水装置」<br>ランプ        | <p>点灯：散水装置「入」<br/>消灯：散水装置「切」</p>                                                                                                                                                    |
| ⑪   | 散水装置<br>「入／切」<br>ボタン | <p>押すごとに散水装置を入／切することができます。</p> <p><b>取扱上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オプションの散水キットを取付けた場合に使用します。通常は「切」にしてください。</li> </ul>                                     |
| ⑫   | 土量「+」<br>ボタン         | <p>ドラム高さを高くし、土量を増加させます。押している間作動し、離すと止まります。</p> <p><b>取扱上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オプションのドラムコウシンキットを取付けた場合に使用します。オプションを取付けていない状態で押すとブザー音が鳴ります。</li> </ul> |

| No. | 名 称          | 説 明                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑬   | 土量「ー」<br>ボタン | <p>ドラム高さを低くし、土量を減少させます。押している間作動し、離すと止まります。</p> <p><b>取扱上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オプションのドラムコウシキットを取付けた場合に使用します。オプションを取付けていない状態で押すとブザー音が鳴ります。</li> </ul>                                                          |
| ⑭   | 「電池」<br>ランプ  | <p>充電状態、電池残量を示すランプです。</p> <p>点灯：充電中<br/>消灯：充電完了<br/>点滅：電池残量低下<br/>電池残量が少ないため<br/>早めに充電してください。</p> <p><b>取扱上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度が高い場合は、早い点滅となることがあります。時間をおいて充電してください。点滅表示はカルコンの電源が「ON」のときだけです。</li> </ul> |

安全のために以下の手順で操作してください。

# 1 トラクタの操作レバーをニュートラルにし、エンジンをかけます。

⇒ 制御ボックスの電源がオンになります。

# 2 カルコンを制御ボックスに近づけて電源ボタンを押します。

⇒ カルコンの電源ランプが点灯します。制御ボックスから通信確立を示す「ピ、ピ」というブザー音が鳴り、操作可能（スタンバイ状態）となります。

## お知らせ

- 安全のため電源投入時は電波の出力を下げています。カルコンの電源ランプが点滅（早い）している場合は電波が届いていません。
- 「ピ、ピ」と音がするまで、カルコンを制御ボックスに近づけてください。
- エンジンをかけるときトラクタによっては、外部電源出力が一時的に切れます。そのため、制御ボックスの電源が一度オフになります。その後、オンになります。カルコンの電源をオフし、再度オンしてください。

## 取扱上の注意

- ボタンを強く押しすぎないでください。ボタンが変形し誤作動の原因になります。作動させる際は、目視にて確認しながら行ってください。

使  
い  
か  
た

カルコンについて

## オートパワー OFF 機能

カルコンの電源を入れ、制御ボックスとの通信が確立している状態の場合は、以下の時間でカルコンの電源が自動的に切れます。

- ・ 充電中のとき : 無操作 1 時間
- ・ 充電していないとき : 無操作 10 分

制御ボックスとの通信エラーの場合は、30 秒でカルコンの電源が自動的に切れます。

### ⚠ 注意



禁止

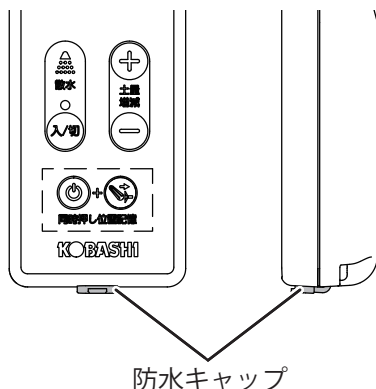
不必要に電源を入れないでください。

カルコンの電源を ON にした時点で、制御ボックスの状態にかかわらず、電波を発信します。

\* 故障や予期せぬ作動の原因となり、ケガをする恐れがあります。

## 防水キャップの取付け

カルコンの充電ジャック差込み部には、防水キャップが付いています。充電ジャックを使用しないときは防水キャップで塞いでください。



防水キャップ

### ⚠ 危険



禁止

充電ジャックがぬれたり、異物が入ったりした状態での充電はしないでください。充電などで防水キャップを取外した状態では、ぬれたり異物が入ったりしないようにしてください。

\* 火災や故障の原因になります。

### 取扱上の注意

- ・ 防水キャップは強く引っ張らないでください。破損することがあります。

## カルコン充電式電池について

カルコンは専用の充電式ニッケル水素電池を内蔵しています。

### 取扱上の注意

- ・ 初回使用時は充電せずに使用できますが、早期に「電池」ランプが点滅することがあるため、充電してから使用してください。
- ・ 電池残量によらず、充電ケーブルを挿すことですぐに問題なく使用できます。
- ・ 電池残量が「0」で放置すると電池が劣化しやすくなります。シーズン終了後は、できるだけ満充電で保管してください。

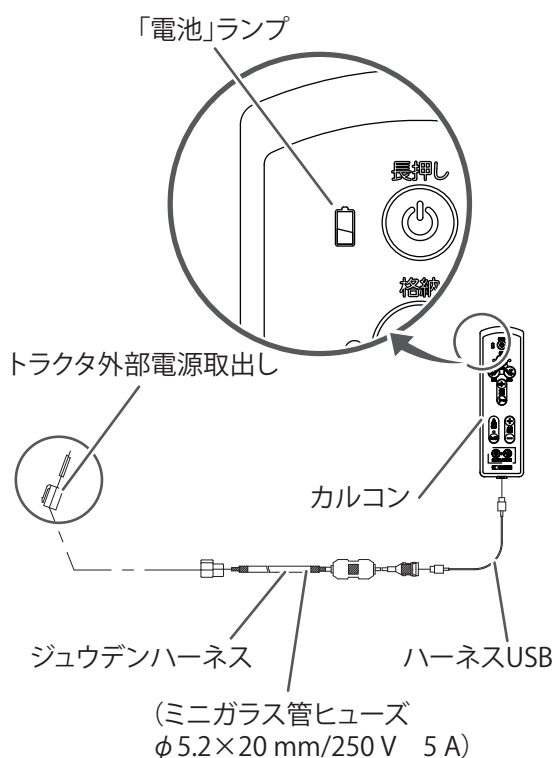
### お知らせ

- ・ 専用の充電式ニッケル水素電池をお買い求めのときは、販売店にご相談ください。
- ・ 電池残量「0」でも充電しながら使用することができます（「電池」ランプは点滅）。

## カルコンの充電

### 1 ジュウデンハーネス、ハーネス USB を接続して充電します。

- 「電池」ランプが点滅したら早めに充電してください。



- トラクタ外部電源がキースイッチと連動している場合は、トラクタのキーを「ON」にすると充電を始めます。

⇒ 充電が始まるとカルコンの「電池」ランプが点灯します。満充電になれば「電池」ランプが消灯します。

#### <目安>

環境温度、使用状況や使用頻度によって変化するため、あくまでも目安です。

- 充電時間：約 2 ～ 4 時間  
温度によって低速充電に切替わります。
- 使用可能時間：約 7 ～ 11 時間
- 「電池」ランプ点滅から停止まで：約 3 時間  
(実際にはオートパワー OFF が作動します)

#### 取扱上の注意

- 付属のジュウデンハーネス、ハーネス USB はカルコン専用充電器です。他の製品の充電には使用しないでください。また他の充電器でカルコンを充電しないでください。  
USB 規格ですが、市販の USB 機器との接続をすべて保証できるものではありません。
- 充電が完了した状態でも補充電を行います。  
作業終了後はトラクタのキーを「OFF」もしくは USB を抜いてください。
- 充電ジャックに異物やほこり・ゴミ・水などが侵入しないようにしてください。雨の中でぬれながら充電しないでください。
- シーズン終了後は満充電で保管してください。
- ハーネス類は座席に挟み込んだり、踏まれたりしないように配置してください。
- USB はまっすぐに抜き差ししてください。
- 直射日光で高温となるキャビン内には、ハーネス類を放置しないでください。
- 高温になると「電池」ランプが早く点滅し、充電が停止します。時間をおいて充電してください。

使  
い  
か  
た

カ  
ル  
コ  
ン  
に  
つ  
い  
て

## 電源の入れ方

安全のために以下の手順で操作してください。

- 1 トラクタの操作レバーが「中立」の位置になっているか確認します。

- 2 トラクタのエンジンをかけます。

＜キー連動している場合＞

⇒ 制御ボックスの電源が ON になります。

トラクタの外部電源に接続しキー連動になっている場合は、制御ボックスから通電を示す「ピ」というブザー音が鳴ります。

＜キー連動していない場合＞

⇒ 配線を接続したときに通電し、制御ボックスの電源が ON になります。

そのとき、通電を示す「ピ」というブザー音が鳴ります。エンジンをかけなくても常時通電しています。

- 3 カルコンの「電源」ボタンを押します。

- ・「電源」ランプが点滅を始めるまで「電源」ボタンを1秒以上押してください。

⇒ 約3～4秒後に点灯に変わり、通信確立を示す「ピッピッ」音が鳴り使用することができます。

### 取扱上の注意

- ・カルコンの「電源」ランプが点滅している場合は、電波が届いていません。  
「ピ、ピ」と音がして、「電源」ランプが点灯するまで制御ボックスにカルコンを近づけて操作してください。

## ペアリング方法

カルコンと制御ボックスは1対1の通信を行います。作業機に付属しているカルコン、制御ボックスは組合わせ（ペアリング済み）以外では操作することができません。

カルコン、制御ボックスを交換した場合、ペアリング操作が必要です。

ペアリングを行わないと、作業機を作動させることはできません。

### お知らせ

- ・作業機に付属しているカルコン、制御ボックスはペアリング済みのため、ペアリング操作を行う必要はありません。

ペアリングは、以下の手順で行います。

### ⚠ 危険



必ず実行

トラクタの操作レバーを「中立」の位置にして、駐車ブレーキをかけてから設定してください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- 1 制御ボックスの電源を「OFF」にします。

(a) キー連動の場合は、トラクタのキーを「OFF」にします。

(b) キー連動していない場合は、作業機用ケーブル3PMを抜きます（詳細は「配線のポイント」（→p.33）を参照してください）。

- 2 カルコンの「電源」ボタンを押し、カルコンの電源を「OFF」にします。

### 3 制御ボックスの電源を「ON」にします。

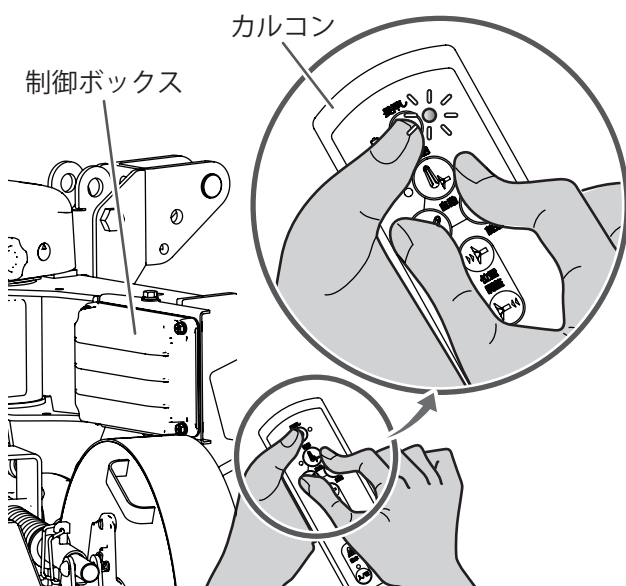
- (a) キー連動の場合は、トラクタのキーを「ON」にします。
- (b) キー連動していない場合は、作業機用カブラ 3PM を挿します（詳細は「配線のポイント」(→ p.33) を参照してください)。

⇒ “ピッ” とブザー音が鳴り、1 分後に再度 “ピッ” とブザー音がします。

この 1 分間がペアリング可能な時間（以降、ペアリングタイムと記す）です。

### 4 1 分間のペアリングタイムに、カルコンで以下の操作を行います。

- (1) 「前進」ボタンと「後進」ボタンを押しながら、「電源」ボタンを 1 秒以上押します。



- (2) 「電源」ランプが点滅を始めたら、(1) で押したすべてのボタンから指を離します。

⇒ 数秒後に “ピッピッ” とブザー音が鳴り、「電源」ランプが点灯します。

⇒ ペアリングを行うと、1 分間のペアリングタイムに関係なく、電源を「ON」にするとカルコンが使用できます。

#### 取扱上の注意

- ・ 不必要にペアリングを行わないでください。エラーとなり、再度ペアリングが必要になることがあります。
- ・ 一度ペアリングを行うと記憶されるため、再度ペアリングを行う必要はありません。

### ■ 前進作業位置の記憶方法

トラクタサイズや作業のしやすさに応じて、前進作業時のオフセット位置を記憶させることができます。記憶後は「前進」ボタンを押すと自動で記憶させた位置まで作業機をオフセットさせることができます。

- 1 カルコンの「電源」ボタンを押し、カルコンの電源を「ON」にします。

- 2 「外」ボタン、「内」ボタンを操作し、作業機を好みのオフセット位置に合わせます。

- 3 カルコンの電源を切ります。カルコンの「電源」ボタンを押し、カルコンの電源を「OFF」にします。

- 4 「前進」ボタンを押しながら、「電源」ボタンを 1 秒以上押します。



⇒ ブザーが「ピピピッ」と鳴り、記憶設定が完了します。

#### 取扱上の注意

- ・ 一定以上のオフセット量でないと記憶できません（ブザー音が鳴りません）。設定できない場合は作業機をオフセットさせて再度設定操作を行ってください。

# 圃場の準備

圃場の準備についての注意事項を以下に示します。  
よく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

## 注意事項

仕上がりの良い畦を塗るため、畦草、飛散ワラを取除いてください。また、石などの障害物があると作業機が傷み、故障、事故の原因となりますので、取除いてください。

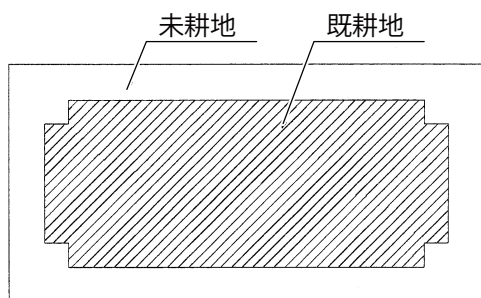
圃場は耕うんしないでください。耕うんするとトラクタが沈み込み直進性、旋回性が悪くなります。また、土量が減り、堅い畦ができにくくなります（特に畦際が片培土された状態）。耕うんする場合は、下図のように、直進部はトラクタ後輪外幅、角部はトラクタ旋回直径幅を残してください。

## 圃場の準備

- (a) 仕上がりの良い畦を塗るには畦際の草、飛散ワラを取除いてください。また、石などの障害物による作業機の損傷、故障、事故が起こる可能性があるため、取除いてください。

- (b) 圃場は耕うんしないでください。トラクタが沈み込み直進性、旋回性が悪くなります。また、土量や水分量が安定せず均一な畦を成形することができなくなります（特に畦際が片培土され溝がある状態は土量が足りなくなります）

耕うんする場合は、下図のように、直線部はトラクタ後輪外幅、角部はトラクタ旋回直径幅を残してください。



- (c) トラクタのタイヤ（ラグ）跡が付くか、土を丸めて手のひらで転がしても崩れない程度の水分量のときに良い畦が作れます。



土を握って土塊を作る



手のひらでころがしても崩れない程度

- (d) 特に圃場の角付近の雑草、ワラ、石などはできるだけ処理してください。
- (e) 圃場に水が溜まっているときは、水を落とし適度の湿りになるまで、乾かしてから作業を行ってください。
- (f) 作業を行う際は天候に十分注意して行ってください。畦塗りをした後で雨が降ると畦が柔らかくなり崩れる恐れがあります。
- (g) 重粘土質で水分の多い圃場、または極端に水分が少ない圃場、極度の砂質の圃場では畦が成形できないことがあります。

# 移動・圃場への出入り

移動・圃場への出入りについての注意事項を以下に示します。  
よく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

## 注意事項

### ⚠ 警告

-  移動の際は、必ずフロントフレーム矢印が格納位置に入っていることを確認して移動してください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。
-  移動の際は作業機を持ち上げ、左右のブレーキを連結し、チェックチェーンが張れていることを確認してください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。
-  トラクタの『取扱説明書』に沿って走行してください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。
-  前後左右に気をくばり、安全を確認しながら走行してください。  
高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回はしないでください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。
-  圃場に入るときは、必ず速度を下げた畦や段差に対して直角に進んでください。畦が高いときは丈夫で滑り止めのあるアユミ板を使用し、傾斜角が 14° 以下になるようにしてください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。
-  溝のある農道や両側が傾斜している農道を通るときは路肩に注意してください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。

### ⚠ 注意

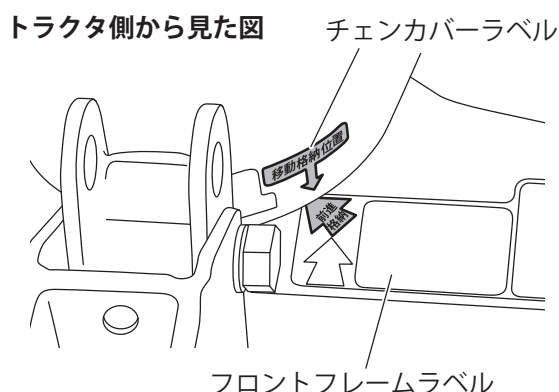
-  傾斜している圃場から出るときは、バックで上がるか、丈夫なアユミ板を使用してください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。
-  作業機を低くして重心を下げ、直角に進んでください。  
\* 畦や段差に対して斜めの方向に進むと、横滑りや転倒する恐れがあります。
-  常に前・後輪のバランスを考え、移動、圃場への出入りに注意してトラクタ操作をしてください。  
\* 転倒事故につながる恐れがあります。

### ⚠ 注意

-  移動時にはトラクタの PTO を「切」にし、作業機の回転を止めて走ってください。  
必ず実行 \* 巻き込み事故につながる恐れがあります。

## 移動・圃場への出入り

圃場への出入りおよび、移動（格納）する場合は、必ず作業機を下図のように移動格納状態にし、矢印を合わせた位置（→←）にしてから行ってください。



使  
い  
か  
た

圃場の準備／移動・圃場への出入り

# 畦塗り作業について

ここでは作業のしかたについて詳しく記載しています。  
作業前によく読み、内容を理解してから作業をしてください。

## 注意事項

### ⚠ 危険



禁止

運転中トラクタと作業機の周囲には、補助作業者や他の人を絶対に近づけないでください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



禁止

傾斜地、凹凸がある圃場での急旋回は、しないでください。

\* 転倒の恐れがあります。



必ず実行

次の作業をする場合は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が絶たれていることを確認してから作業してください。

- ・ 運転者が運転位置を離れて作業機を調整するとき
- ・ 爪軸などへの草やワラのからみ付きを取除くとき

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

### ⚠ 注意



必ず実行

操作時は、必ず人やものがないか周囲の安全を十分確認してから、操作を行ってください。

\* ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

オフセット操作は、必ずキャストスタンドを取外してから行ってください。

\* 作業機の損傷につながる恐れがあります。

### 取扱上の注意

- ・ PTO 回転速度 600 rpm 以上および「逆転」での作業はしないでください。作業機が破損する恐れがあります。
- ・ 圃場条件に応じた作業速度、PTO 回転速度、作業機の調整を行ってください。
- ・ 石が多い圃場、畦が崩れやすい圃場では、作業速度、PTO 回転速度を下げて作業を行ってください。
- ・ メインシャーボルト、天場シャーボルトが切れた場合は、ただちにトラクタを止めエンジンを止め、速やかに交換してください。

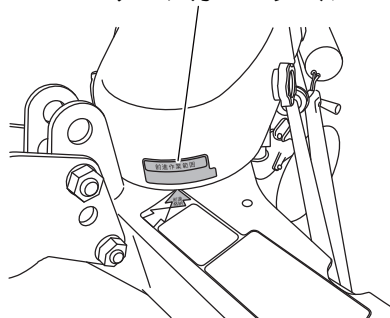
## 作業状態の切替え方法

### 取扱上の注意

- ・ 下図のように矢印がチェーンカバーラベルの「前進作業範囲」「後進作業位置」以外では絶対に作業しないでください。ロックアームがロックされていないため、作業機が破損する恐れがあります。
- ・ 後進作業はオフセット機構はないため、電動シリンダは必ず最縮で使用してください。

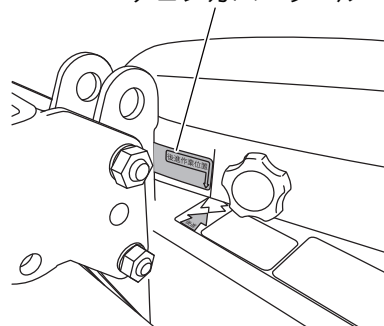
### 前進作業位置

チェーンカバーラベル



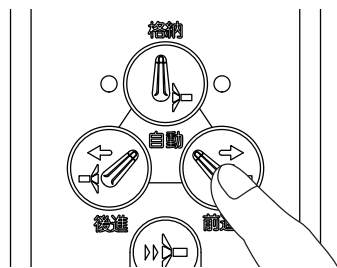
### 後進作業位置

チェーンカバーラベル



## ■ トラクタ装着→前進作業状態

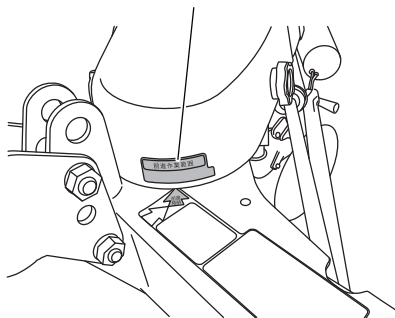
- 1 油圧を下げ、作業機の重心を低くします。  
(地面とドラムの高さを 20 cm 程度確保します)
- 2 コントローラの「前進」ボタンを押します。  
⇒ 作業機が平行移動して前進作業状態になります。



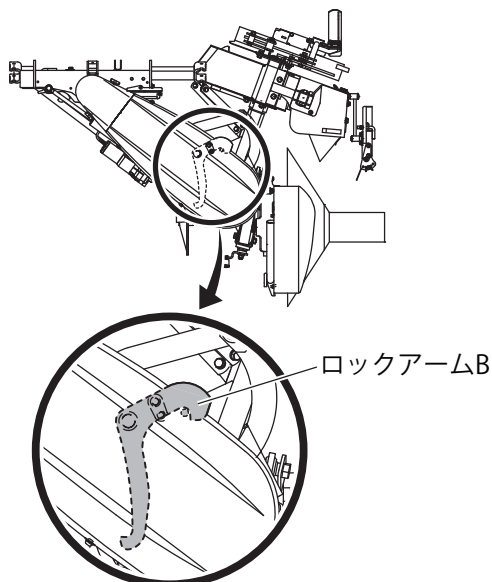
### 取扱上の注意

- ・ 前進作業は、チェンカバーラベルの「前進作業範囲」で行ってください。

チェンカバーラベル

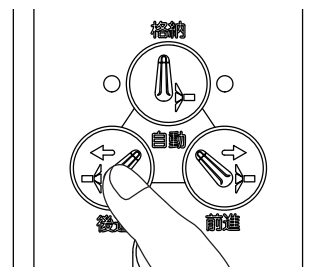


- 3 ロックアーム B がロックされていることを確認します。



## ■ 前進作業状態→後進作業状態

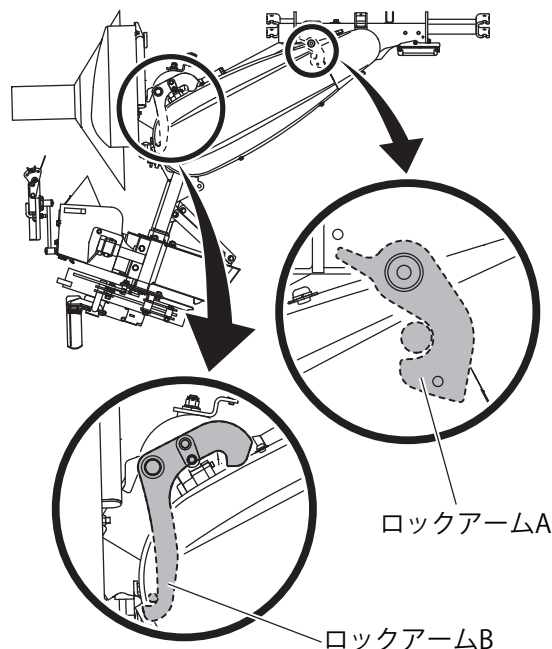
- 1 油圧を下げ、作業機の重心を低くします。  
(地面とドラムの高さを 20 cm 程度確保します)
- 2 コントローラの「後進」ボタンを押します。  
⇒ 作業機が平行移動→旋回して後進作業状態になります。



### お知らせ

- ・ 後進作業でのオフセット調整はありません。

- 3 ロックアーム A およびロックアーム B の両方がロックされていることを確認します。

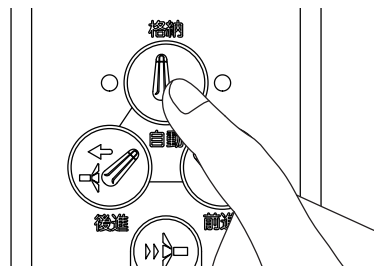


使  
い  
か  
た

畦  
塗  
り  
作  
業  
に  
つ  
い  
て

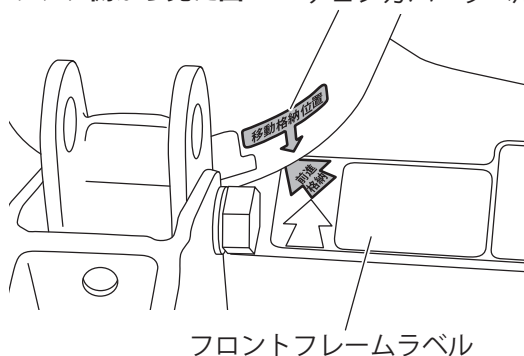
## ■ 後進作業状態→移動・格納状態

- 1 油圧を下げ、作業機の重心を低くします。  
(地面とドラムの高さを 20 cm 程度確保します)
- 2 コントローラの「格納」ボタンを押します。



トラクタ側から見た図

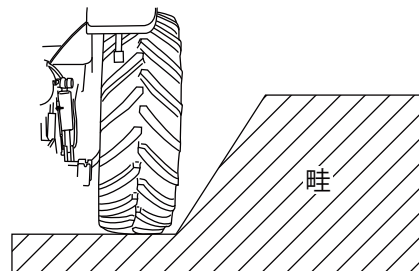
チェンカバーラベル



## 前進作業

### 作業手順

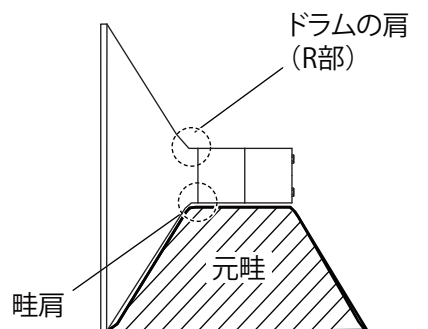
- 1 トラクタの後輪タイヤを元畦に寄せて、トラクタと元畦が平行になるように、トラクタをセットします。



- 2 以下を参考にしながら、畦を成形したい位置に「内」ボタンと「外」ボタンで調整します。

(a) 畦と同じ位置に畦を作る場合

ドラムの肩 (R 部) 位置が畦肩よりやや右 (畦が細くなる方向) になるように調整します。

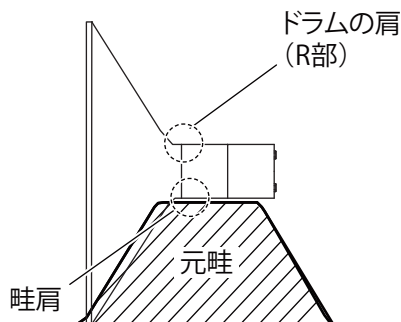


(b) 元畦を細くする場合

ドラムの肩 (R 部) の位置が畦肩よりが右 (畦が細くなる方向) になるように調整します。

**取扱上の注意**

- ・あまり元畦を細くしすぎる (元畦を削りすぎる) と、作業機の振動が多くなり故障の原因になります。

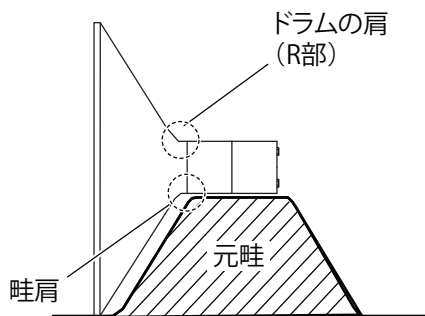


(c) 元畦を太くする場合

ドラムの肩 (R 部) の位置が畦肩よりが左に離れるように調整します。

**お知らせ**

- ・あまりドラムが元畦から離れすぎると土が不足し畦ができません。



- 3** 作業機の水平を確認します。  
作業機が水平でない場合、トップリンク (ターンバックル) を伸縮させて調整を行います。  
水平になるまでこの作業を行います。

- 4** できた畦に穴凹 (巣) や未成形部分がないかどうか確認し、「各機能の調整」(→ p.54) を参考にしながら、しっかりした畦を作ります。

## 後進作業

後進作業は前進作業の塗り終わりより約 1 m 手前よりスタートすると、断継の少ないきれいなつなぎ目に仕上がります。

- 1** トラクタを元畦から少し離れた位置にセットします。

**取扱上の注意**

- ・前進作業時にできた溝にタイヤが落ちないようにしてください。

- 2** オフセットアームが地面に対して水平になるように、ポジションコントロールレバー (トラクタ側) で微調整します。  
(コールドタ、ドラム、トップリンクでの調節は不要です。)

- 3** ドラムを元畦に押付けるようにハンドルを少し切りながら後進作業を行います。

⇒ より締まった畦に仕上がります。

**取扱上の注意**

- ・後進作業時は、角まで行きすぎないように注意して作業してください。作業機が破損する恐れがあります。

使  
い  
か  
た

畦  
塗  
り  
作  
業  
に  
つ  
い  
て

## 各機能の調整

### ⚠ 危険



必ず実行

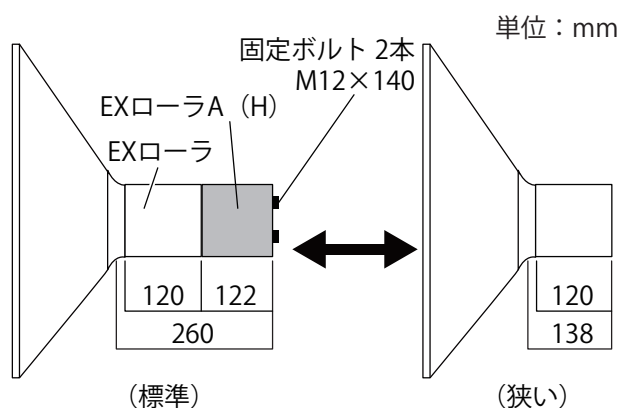
各部の調整を行う場合は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が絶たれていることを確認して行ってください。

\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

## EX ローラ

天場（上面）の塗り幅の調整を行います。

高畦、天場を狭くしたい場合は、下図の固定ボルト 2 本を外し、外側の EX（標準）ローラ A（H）を取外してください。取外したボルト、ローラは大切に保管してください。

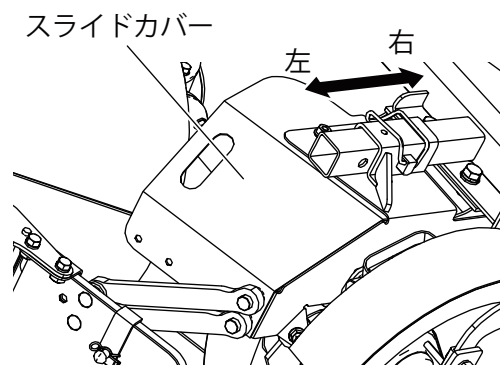


### 取扱上の注意

- EX ローラ、EX ローラ A（H）の両方を取外しての作業はしないでください。

## スライドカバー

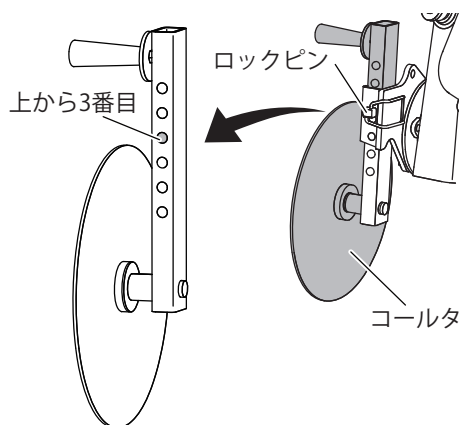
スライドカバーは、成形畦の法面、天場への土量の調整を行う装置です。



| 状況            | フレーム穴位置     |
|---------------|-------------|
| 法面への土量が少ない    | 内側へスライドさせます |
| 法面への土量が多い     | 外側へスライドさせます |
| 天場への土量を多くしたい  | 外側へスライドさせます |
| 天場への土量を少なくしたい | 内側へスライドさせます |

## コールタ

コールタで「作業機の深さ調整」と「作業機の左右方向の水平調整」「作業機の直進性向上」を行います。基本は「標準位置（上から3つ目の中央の穴）」のままで作業します。



### ⚠ 注意

**!** コールタを調整する場合は、作業機を持ち上げた状態でトラクタの油圧ロックを行ってください。  
必ず実行  
\* 作業機が落下する恐れがあります。

#### 取扱上の注意

- ・ コールタが効かない湿田では、ポジションレバーで深さ調整をします。
- ・ コールタは作業機を持ち上げ、ロックピンを通す穴の位置を変えて調整してください。

| 状況                                | 対策                      |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 作業機の水平が取れていない                     | 作業機が水平になるようにコールタを調整します。 |
| 土量を増やす操作をしても土量が増えない               | コールタを上にも動かします。          |
| 大径ローラを装着しても低畦（25 cm 以下）の天場成形ができない | コールタを最上げにします。           |
| 極端に直進性が悪い                         | コールタを下にも動かします。          |

## ドラム

ドラムへの供給する土量の調整を行う装置です。ドラム調整ハンドル右回りで「少なく」（ドラム下へ移動）、左回りで「多く」（ドラム上へ移動）になります。深さはラベル数字を目安にします。標準深さは「標準位置」にセットしてください。

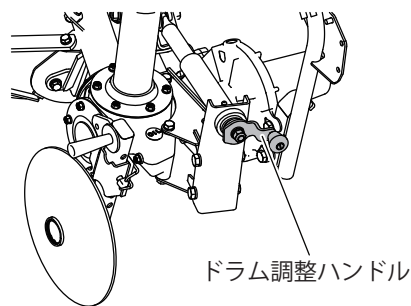
### ⚠ 注意



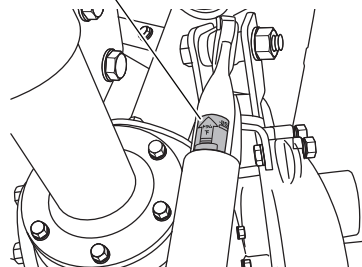
注意

ドラム調整ハンドルを操作する場合は、手などが周辺の部品に接触しないように注意してください。

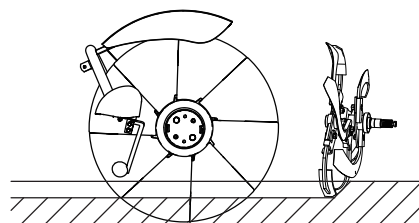
\* ケガをする恐れがあります。



ラベル（標準位置）

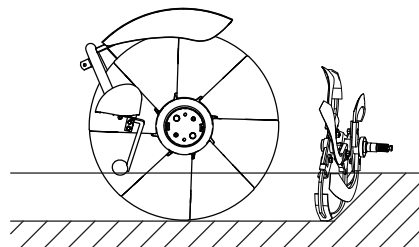


（ドラムを下げた状態）



土量が減ります

（ドラムを上げた状態）



土量が増えます

使いかた

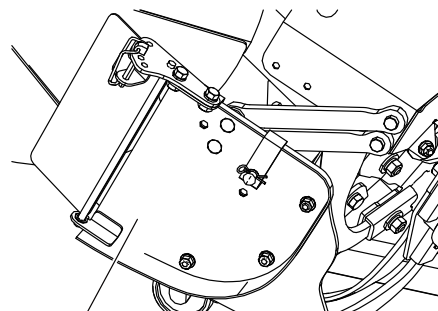
畦塗り作業について

## サイドカバー

サイドカバーは天場や隣の圃場への土の飛散を防止する装置です。

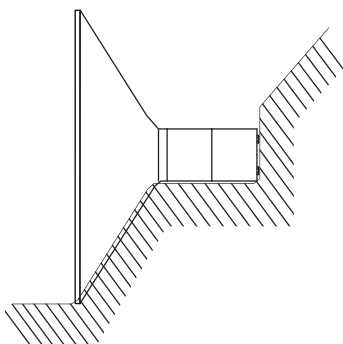
通常作業時はストッパを解除状態にして、天場の上面を自由に追従するようにしておきます。

(ストッパ解除状態)

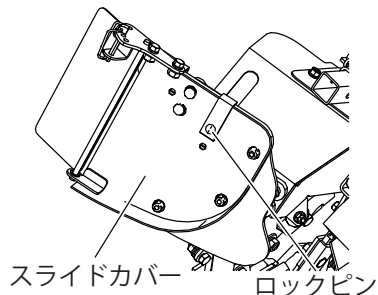


サイドカバー

下図のような高畦作業を行うような場合はストッパロック状態にしサイドカバーを最上げにします。

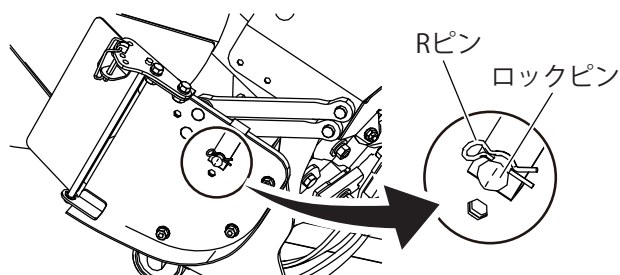


(ストッパロック状態)



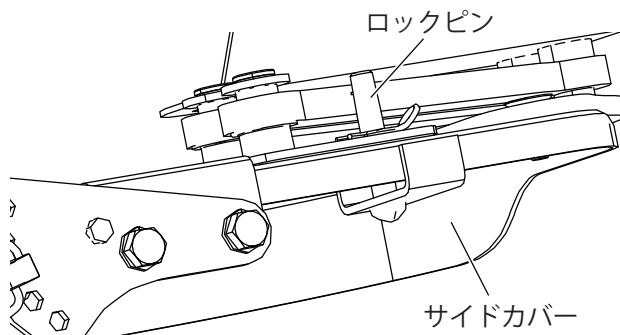
スライドカバー ロックピン

1 Rピンを抜きます。

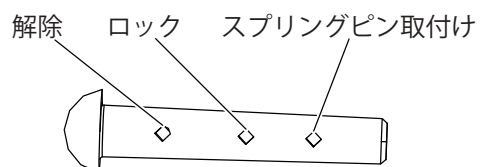


2 サイドカバーを持ち上げます。

3 ロックピンを奥まで差込みます。



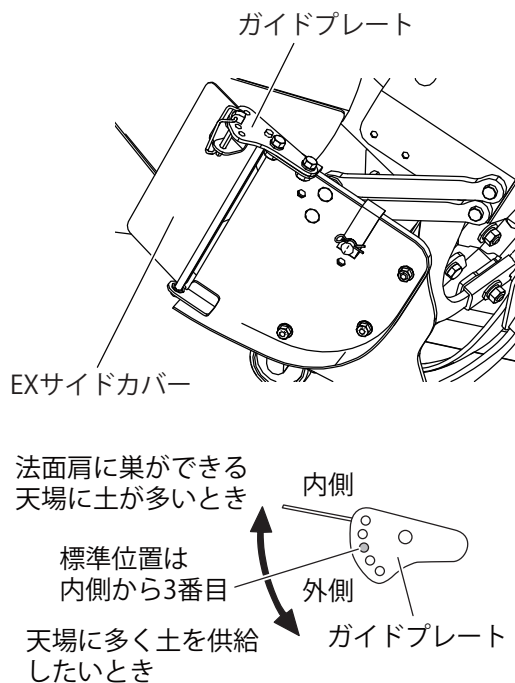
4 Rピンを奥の穴に差込みます。



## EX サイドカバー

EX サイドカバーは成形畦の法面、天場への土量の調整を行う装置です。

(標準位置は内側から 3 番目の穴位置です。)

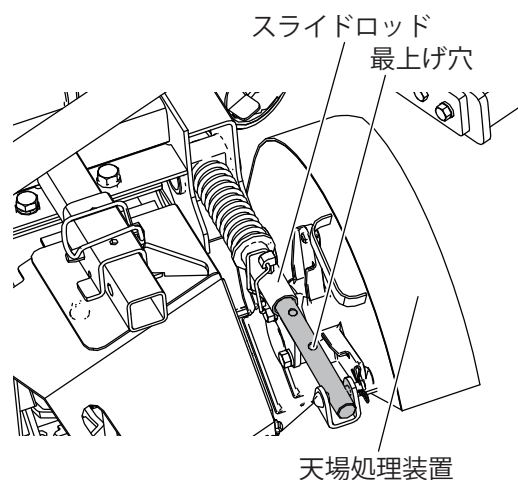


| 状況                     | 対策               |
|------------------------|------------------|
| 法面の肩部分に巣ができる場合や天場に土が多い | 図のように内側方向へ調整します。 |
| 天場に多くの土を供給したい          | 図のように外側方向へ調整します。 |

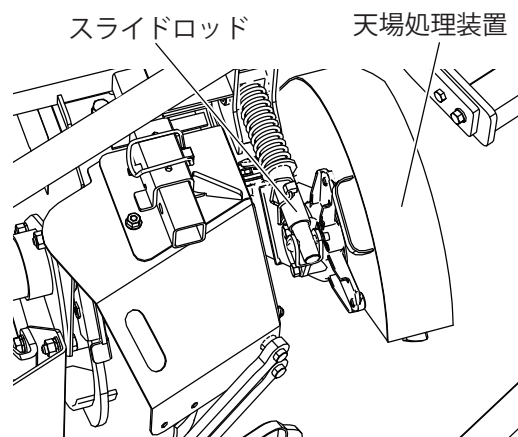
## 天場処理装置

「天場の高さ調整」「簡単な草刈り」に使用します。天場を削ることにより頑丈な天場を成形することができます。スライドロッドの 10 か所の穴で調整します。

(天場処理装置を使用している時)



(天場処理装置を使用していない時)



### ⚠ 注意



調節の際はエンジンを止め爪が回転していない状態で行ってください。

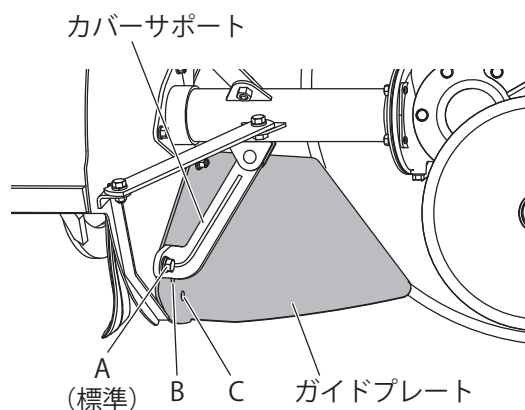
必ず実行 \* ケガにつながる恐れがあります。

使  
い  
か  
た

畦  
塗  
り  
作  
業  
に  
つ  
い  
て

## ガイドプレート

ガイドプレートはドラム調整、スライドカバー調整で土量を調整しきれないときに調整を行います。ドラム、スライドカバーと併用して使用します。Aが標準位置になります。



| 状況                         | 対策                                                                                            |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 天場への土量が多すぎる。(粘土で水分が多いときなど) | カバーサポートをとめているボルトを外し、B位置までガイドプレートをスライドさせ再度、ボルトを固定してください。<br>Bの位置でも土量が多い場合は、同様の手順でC位置に固定してください。 |
| 圃場内の溝が気になる                 | 固定位置がAまたはBのとき、以下のように固定位置を変更してください。<br>Aのとき：BもしくはC<br>Bのとき：C                                   |

### お知らせ

- 火山灰土系や砂系、乾いている土質などの土流れが良い土質の場合、法面の成形ができなくなる可能性がありますので、調整できない場合もあります。
- 高畦などでドラムに供給される土の量が少なくなるときにB、Cに調整すると畦ができなくなる場合があります。

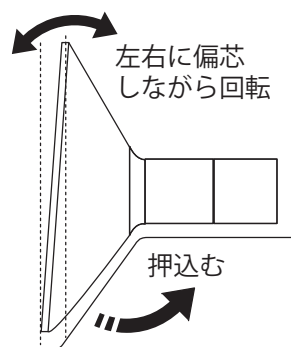
## ドラム偏芯量

ドラムは左右に偏芯しながら回転を行い、畦を成形していきます。成形畦の締まり具合を調節するときに偏芯量を調整します。

偏芯量はドラムボスとドラムの取付ける位置を変更することによって、偏芯量 5 mm、10 mm、20 mm にすることができます。

出荷時は 5 mm に設定してあります。

「ドラム偏芯量調整方法」(→ p.78)



## 上手な作業のしかた

### 注意事項

畦塗り作業は圃場の状態（水分、土質）に大きく左右されます。同じ圃場内でも変化します。以下の調整を目安に作業を行ってください。

### 作業速度（直進作業時）

作業速度は、0.2 ～ 1.0 km/h です。

| 状況     | 対策                                      |
|--------|-----------------------------------------|
| 水分が多い  | 車速を早くし、きれいな成形を優先します。（車速が遅いと、法面に凹凸ができます） |
| 水分が少ない | 車速を遅くし、締付けを優先します。                       |

### 畦高さ

畦高さはドラムの種類および EX ローラの種類で決まります。目安は以下のとおりです。

| ドラム                      | 上面ローラ            | 畦高さ<br>(目安) |
|--------------------------|------------------|-------------|
| 750 ドラム<br>(RM753：標準)    | 標準ローラ            | 20 ～ 30 cm  |
|                          | 樹脂ローラ<br>160     | 19 ～ 29 cm  |
|                          | 大径ローラ<br>(オプション) | 15 ～ 25 cm  |
| 850 ドラム<br>(RM753：オプション) | 標準ローラ            | 25 ～ 35 cm  |
|                          | 樹脂ローラ<br>160     | 24 ～ 34 cm  |

## 各部の調整（こんなときは？）

条件による各部の調整の目安は以下のとおりです。  
あくまでも目安ですので、条件にあった調整を行ってください。

### 取扱上の注意

- ・ 下記調整前に、作業機姿勢が前後水平（→ p.24）、チェックチェーンの調整（→ p.24）ができているか確認してください。

| 状態                        | 調整方法                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 元畦が低い                     | (1) コールタ：上げる（爪が深くなるよう調整）<br>上記調整で天場に土が多すぎる（EX ローラより土がこぼれる）場合は、<br>(2) ドラム：下げる<br><b>お知らせ</b><br>・ 調整しても畦がうまく成形できない場合は、低畦用ローラ（オプション）を使用してください。                                           |
| 天場の土が不足する                 | (1) トラクタ車速：下げる（車速が速い場合）<br>(2) ドラム：上げる（爪が深くなるよう調整）<br>コールタ：上げる<br>(3) EX サイドカバー：外側に開く<br>(4) スライドカバー：外側に調整                                                                              |
| 畦のり面に土が不足する<br>畦肩が塗れない    | (1) トラクタ車速：下げる（車速が速い場合）<br>(2) ドラム：上げる（爪が深くなるよう調整）<br>コールタ：上げる<br>(3) EX サイドカバー：内側に閉める<br>(4) スライドカバー：標準より内側に調整                                                                         |
| 天場の締まりが悪い                 | (1) トラクタ車速：下げる（車速が速い場合）<br>(2) コールタ：上げる（爪が深くなるよう調整）<br>(3) ドラム：少し下げる<br>(4) トラクタ水平制御：畦側に傾ける<br><b>お知らせ</b><br>・ ドラムを下げすぎると土が足りなくなります。<br>低畦の場合で調整してもうまく成形できないときは、樹脂ローラ（オプション）を使用してください。 |
| シールドカバー前に土が溜まる            | (1) ドラム：下げる（爪が浅くなるよう調整）<br>コールタ：下げる<br>(2) トラクタ車速：上げる（車速が遅い場合）<br>(3) ポジションレバー：少し上げる                                                                                                    |
| 畦がまっすぐ行かない<br>（ハンドルが取られる） | (1) コールタ：下げる<br>(2) ドラム：上げる（爪が深くなるよう調整）                                                                                                                                                 |
| 畦のり面に蹴り出しが出る              | 圃場条件（土質や水分状態など）により、新品ドラムで初期作業を行うと蹴り出しが発生する場合があります。土質により距離は異なりますが、作業を行うと蹴り出しは徐々に消えていきます。ただし、粘土質の圃場では常に蹴り出しが発生し畦ができません。その場合、散水装置（オプション）を使用して畦塗り作業を行ってください。                                |

# 保守・点検

作業機本来の性能を、十分にまた長期間にわたって発揮させるためには、定期的な保守・点検が必要です。また、故障を未然に防ぐため、作業機の状態を常に知っておくことも大切です。

## 注意事項

### ⚠ 危険

-  **必ず実行** 作業機をトラクタに装着して点検を行う場合は、トラクタのエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてから行ってください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
-  **必ず実行** 作業機を地面に降ろしてから行ってください。  
作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して油圧ロックを行い、台などを作業機の下に置き、作業機が落下しないようにしてから行ってください。  
\* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

### ⚠ 注意

-  平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。  
\* ケガにつながる恐れがあります。
-  作業機単体で点検を行う場合は、スタンドのロックを行ってください。  
\* ケガにつながる恐れがあります。

## 保守・点検の準備

### トラクタに装着しての場合

- 1** トラクタを平坦な広い場所に置きます。
- 2** エンジンを止め、駐車ブレーキをかけます。
- 3** 作業機を地面に下ろしてから行います。作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、油圧ロックを行ってください。
- 4** 台などを耕うん軸の下に置き、作業機が落下しないようにします。

### 作業機単体での場合

- 1** 作業機を平坦な広い場所に置きます。
- 2** スタンドのロックを行います。

使  
い  
か  
た

保  
守  
・  
点  
検

## 保守・点検一覧表

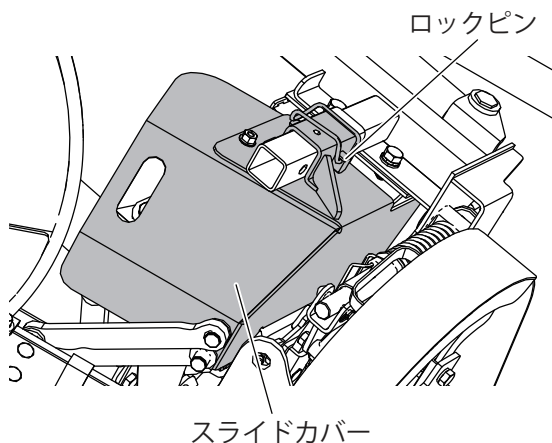
| No. | 作業項目                                   | 周 期   |              |     |     |             |                                    |    |                                    | 参照<br>ページ |
|-----|----------------------------------------|-------|--------------|-----|-----|-------------|------------------------------------|----|------------------------------------|-----------|
|     |                                        | 新品の場合 |              | 作業前 | 作業後 | シーズン<br>はじめ | 150 時間<br>ごと<br>または<br>シーズン<br>終了後 | 随時 | 1 年または 300<br>時間 (い<br>ずれか早<br>い方) |           |
|     |                                        | 使い始め  | 50 時間<br>使用後 |     |     |             |                                    |    |                                    |           |
| 1   | シールドカバーの土落とし                           |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.63      |
| 2   | オイル量点検<br>(フロントギヤーケース、リヤギヤー<br>ケース)    |       | ○            |     |     |             | ○                                  |    |                                    | p.64      |
|     | オイルの点検・交換<br>(フロントギヤーケース、リヤギヤー<br>ケース) |       | ○            |     |     |             | ○                                  |    |                                    | p.64      |
| 3   | 各部へのグリス補給と注油                           |       |              |     |     |             |                                    |    |                                    |           |
|     | ① ジョイント                                |       |              | ○   |     |             |                                    |    |                                    | p.65      |
|     | ② トラクタ側 PTO 軸／作業機側入力軸                  |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.65      |
|     | ③ オートヒッチアーム                            |       |              | ○   |     |             |                                    |    |                                    | p.65      |
|     | ④ 各チェン、支点部のオイル注油<br>(滴下)               |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.66      |
|     | ⑤ チェン部                                 |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.66      |
|     | ⑥ オフセット・旋回作動部                          |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.66      |
|     | ⑦ 調整部                                  |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.69      |
| 4   | オイルシールの組替え                             |       |              |     |     |             |                                    | ○  |                                    | p.70      |
| 5   | チェンの張り調整<br>(テンショナボルトの調整)              | ○     | ○            |     |     | ○           |                                    |    |                                    | p.70      |
| 6   | 各部のボルト・ナットの点検                          |       |              | ○   | ○   |             |                                    |    |                                    | p.71      |
| 7   | ジョイントのノックピンの点検                         |       |              | ○   | ○   |             |                                    |    |                                    | p.71      |
| 8   | 空転、暖気運転による動作確認                         |       |              | ○   |     |             |                                    |    |                                    | p.71      |
| 9   | 作業機の水洗い                                |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.72      |
| 10  | 耕うん爪、爪ホルダの点検                           |       |              |     | ○   |             |                                    |    |                                    | p.72      |
| 11  | 警告表示ラベルの点検                             |       |              |     |     |             | ○                                  |    |                                    | p.72      |
| 12  | 消耗部品の早期交換                              |       |              |     |     |             | ○                                  |    |                                    | p.72      |
| 13  | シャーボルト                                 |       |              |     |     |             |                                    | ○  |                                    | p.73      |
| 14  | 耕うん爪                                   |       |              |     |     |             |                                    | ○  |                                    | p.74      |
| 15  | ドラム                                    |       |              |     |     |             |                                    | ○  |                                    | p.77      |
| 16  | ハーネスの点検                                |       |              | ○   |     |             | ○                                  | ○  |                                    | p.80      |
| 17  | スローブローヒューズ                             |       |              |     |     |             |                                    | ○  |                                    | p.80      |

## シールドカバーの土落とし (F仕様)

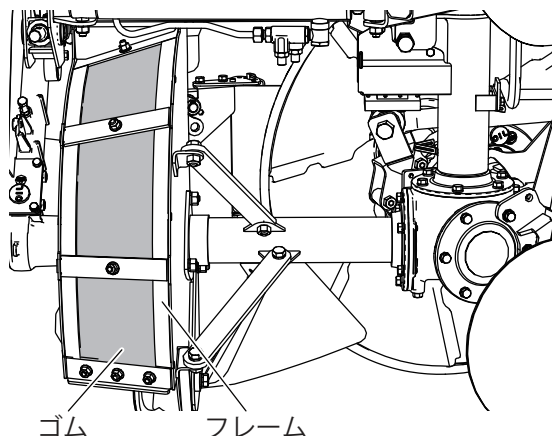
畦塗り作業時はシールドカバーの内部に土が付着しやすく、放っておくと爪の摩耗が進みます。定期的な清掃作業を行うことで爪の寿命を延ばすことができます。

(H仕様はシールドカバー構造が異なります。)

- 1 作業機を少し浮かせた状態でトラクタのエンジンを止め、駐車ブレーキを掛けます。
- 2 トラクタのPTO 変速レバーを「中立」にします。
- 3 ロックピンを抜き、スライドカバーを外します。



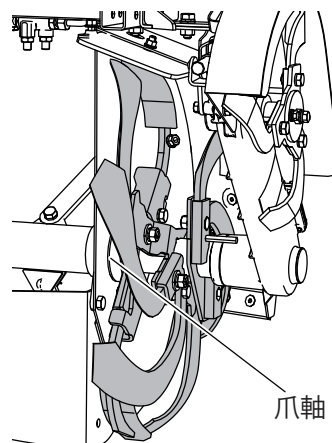
- 4 シールドカバーのゴムを外側からハンマーなどで叩きます。



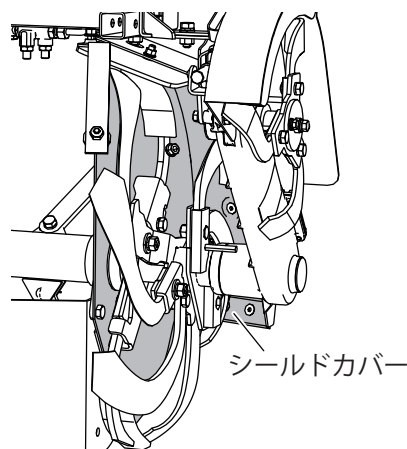
### 取扱上の注意

- ・ 必ずトラクタのエンジンを切ってください。
- ・ 叩くのはゴムだけでフレームを叩かないように注意してください。
- ・ 先の尖った物でゴムを叩かないでください。

- 5 ゴムを叩くだけで土が落ち切らない場合、爪軸を手で回転させ、爪の位置を変えてから再びゴムを叩きます。これを繰り返します。



- 6 ゴムを叩いても土が落ちてこなくなったら、シールドカバー内側の残った土を落とします。



- 7 スライドカバーを取付け、ロックピンを入れます。

使いかた

保守・点検

## 作業内容

### オイル量点検

#### ■ フロントギヤーケース ／リヤギヤーケース

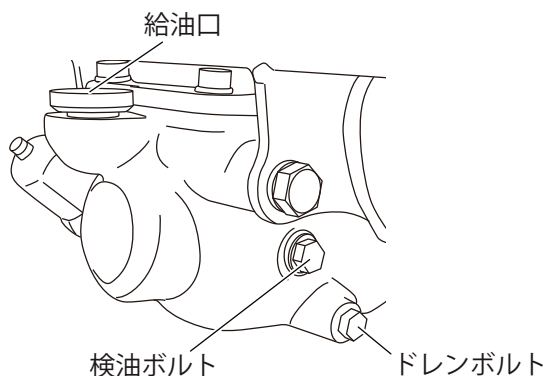
##### 取扱上の注意

- ・油量を点検するときは、作業機を水平にした状態で確認してください。作業機が傾いていると正確に点検できません。

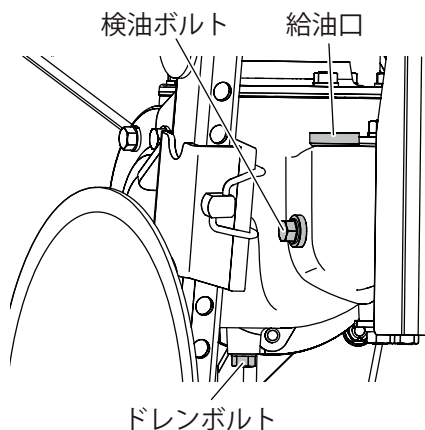
#### 1 フロントギヤーケース／リヤギヤーケース の各検油ボルトを緩めます。

#### 2 緩めた検油ボルトからオイルが漏れない場 合は補給します。 (ギヤーオイル# 90)

(フロントギヤーケース)



(リヤギヤーケース)



#### 3 周囲からオイル漏れがないか確認します。 (オイルシール、パッキンなど)

## オイルの点検・交換

#### ■ フロントギヤーケース ／リヤギヤーケース

|             |                               |          |
|-------------|-------------------------------|----------|
| 使用オイル       | ギヤーオイル# 90                    |          |
| オイル量        | フロント                          | 目安 0.3 L |
|             | リヤ                            | 目安 0.9 L |
| 点検・交換<br>時期 | 初回 50 時間<br>以降 150 時間、シーズン終了後 |          |

##### 取扱上の注意

- ・点検・交換作業は、平坦な広い場所で行ってください。
- ・トラクタのエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてから行ってください。
- ・落下防止調整レバーを回して、油圧をロックしてから行ってください。

##### お知らせ

- ・給油量の確認は、作業機を水平にした状態で行ってください。

#### 1 ドレンボルトを外して古くなったオイルを 抜きます。

#### 2 古くなったオイルを抜いたら、ドレンボル トを取付けます。

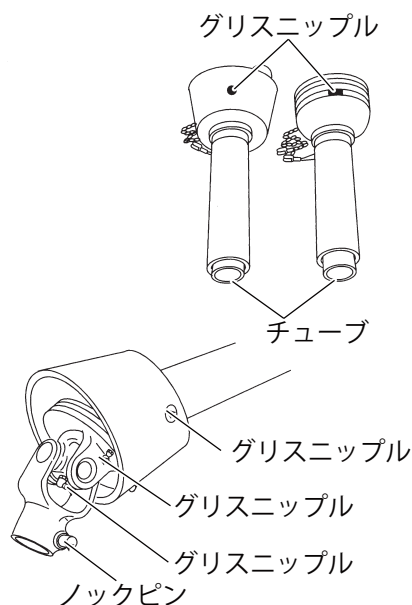
- ・シールワッシャが損傷している場合などは新品に交換してください。損傷しているとオイル漏れの原因になります。

#### 3 検油ボルトを外し、検油ボルト穴より油が 出てくるまで、給油口からオイルを入れま す。出てきたら給油をやめ、検油ボルトを 取付け、給油口にキャップを付けます。

## 各部へのグリス補給と注油

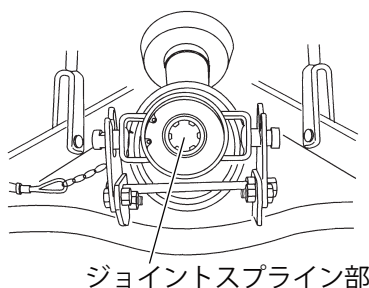
### ■ ジョイント

- 1** ジョイントは分解して、チューブの噛み合い部分およびノックピン部にグリスを塗布します。また、同時にグリスニップルの部分にも適量注油します。



#### 取扱上の注意

- ・ ジョイントスプライン部がサビたり、キズ付いたりすると、装着ができなくなります。必ず掃除を行いグリスを塗布しゴミがかからないようにしてください。



### ■ ジョイント (JIS 特殊オートヒッチ仕様)

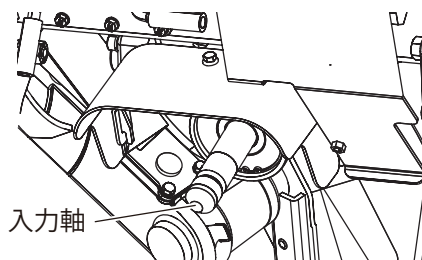
次の4か所にグリスアップまたは注油を行ってください。

- ・ ジョイントのスプライン部
- ・ 各部グリスニップル
- ・ ノックピン
- ・ 摺動部

詳しくは純正ロータリの『取扱説明書』をご覧ください。

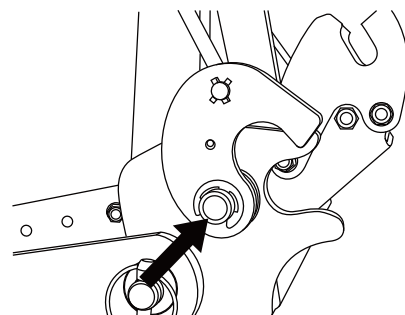
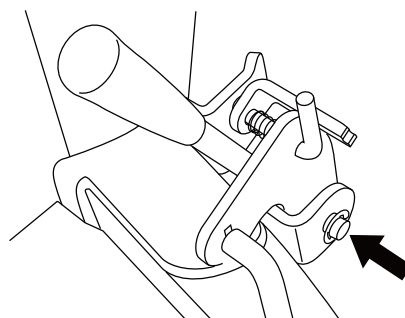
### ■ トラクタ側 PTO 軸／作業機側入力軸

トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸へグリスを塗布します。



### ■ オートヒッチアーム (JIS 標準オート S ヒッチ)

オートヒッチの各支点部分にオイルを適量塗布してください。



使  
い  
か  
た

保  
守  
・  
点  
検

## ■ オートヒッチアーム (JIS 特殊オートヒッチ仕様)

フックの支点部や各回動部に注油を行います。詳しくは純正ロータリの『取扱説明書』をご覧ください。

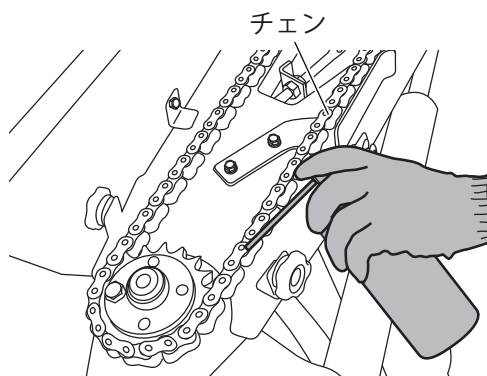
## ■ 各チェン、支点部のオイル注油（滴下）

各部への注油（滴下）を怠るとスムーズな動作ができなくなります。

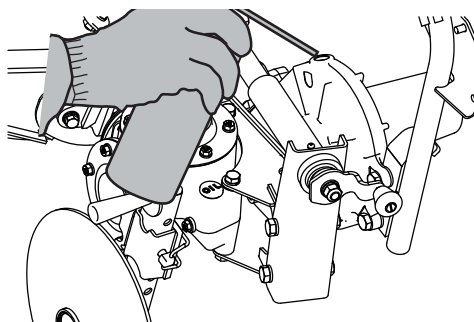
### (a) チェン部

チェンケースはいずれもオイルバス構造でなく、密閉されていないので、オイルを入れすぎると漏れます。チェンには適量のオイルを注油してください。

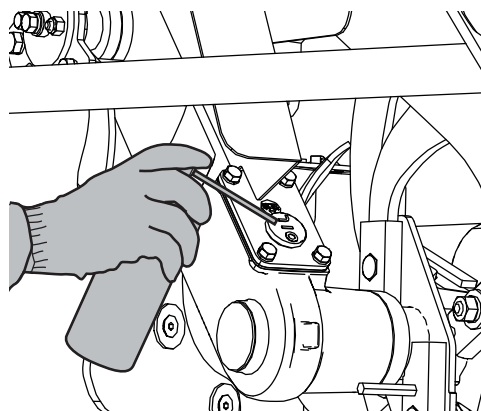
#### ・ チェン（メイン） への注油



#### ・ チェン（ドラム） への注油

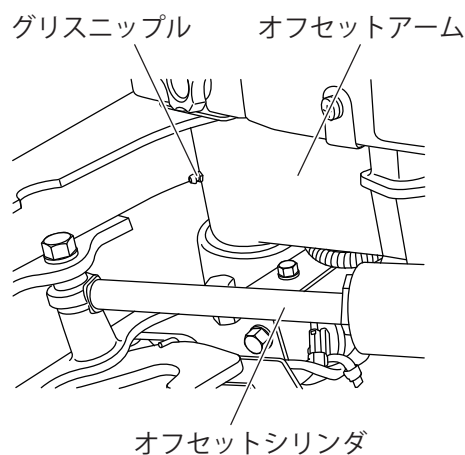


#### ・ チェン（天場） への注油

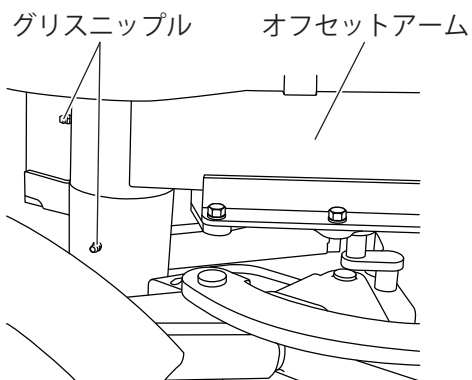


### (b) オフセット・旋回作動部

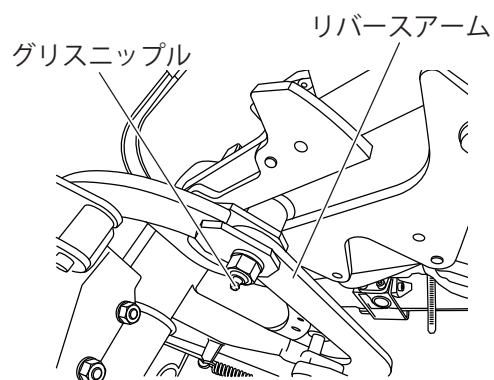
#### ・ オフセットアーム前側グリスニップル



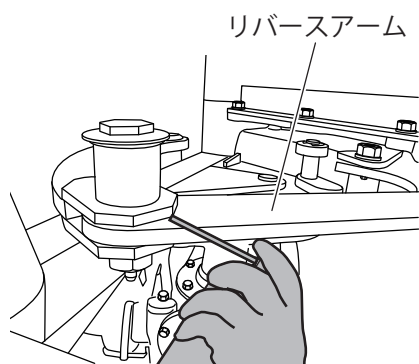
#### ・ オフセットアーム後側、 リヤフレームグリスニップル



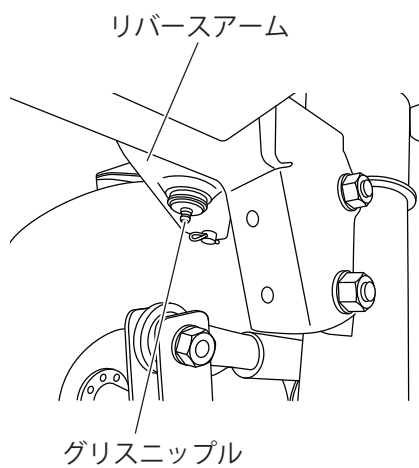
- ・ シテンボルトのグリスニップル



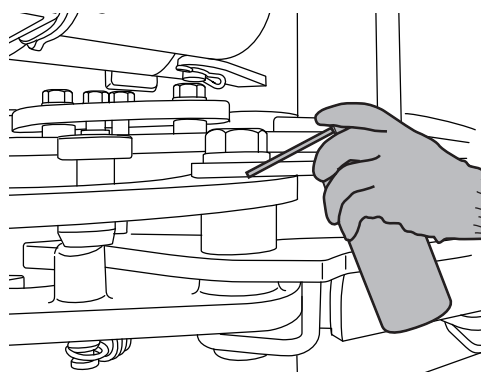
- ・ シテンボルトの支点



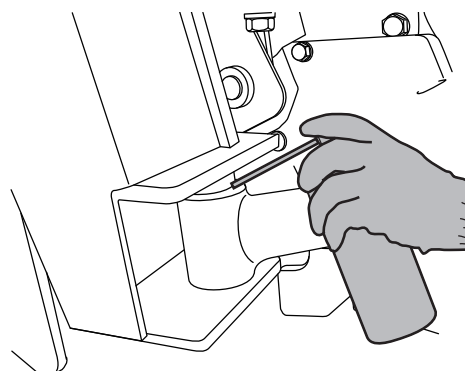
- ・ リバースアームのグリスニップル



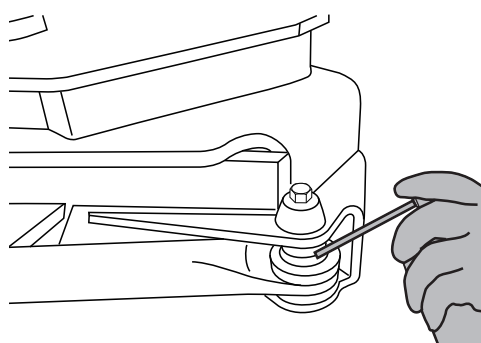
- ・ リバースアームの摺動面および支点



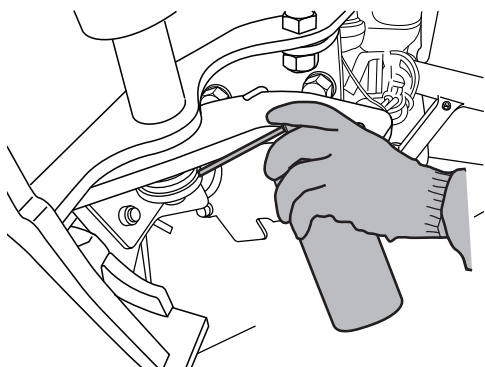
- ・ オフセットリンク（前側）



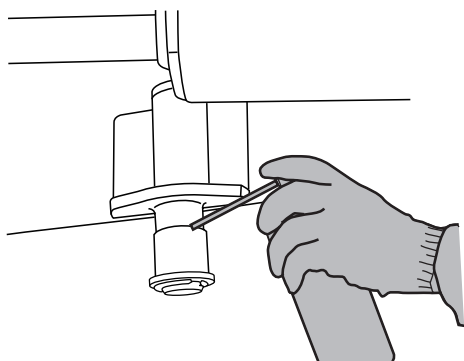
- ・ オフセットリンク（後側）



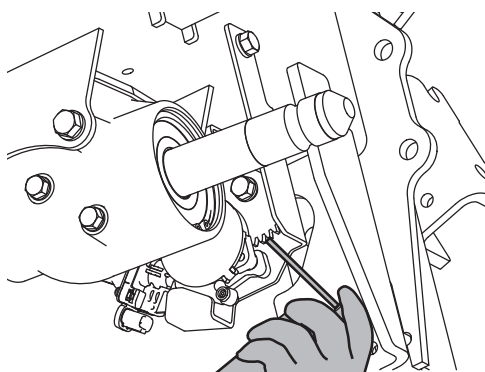
- ロックアーム A の支点部および摺動面



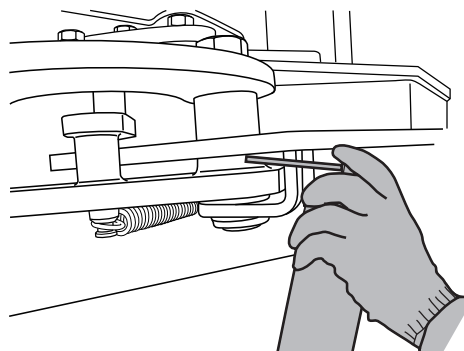
- ロックアーム A のピン側支点部



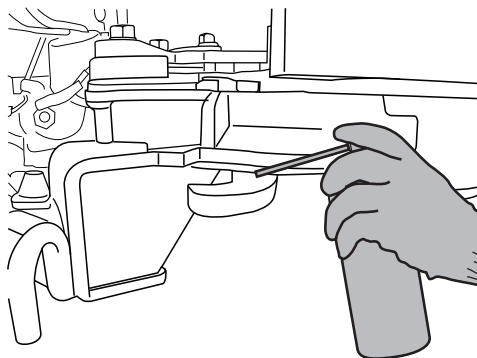
- モータギヤアーム部



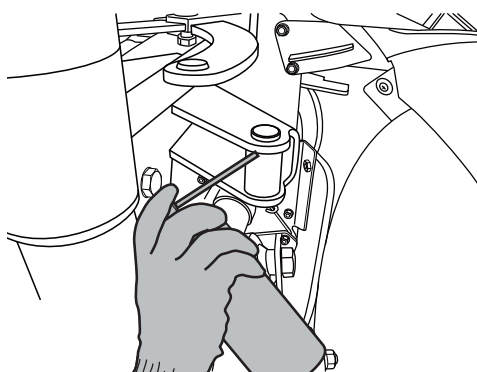
- ロックアーム COMP.B の支点部



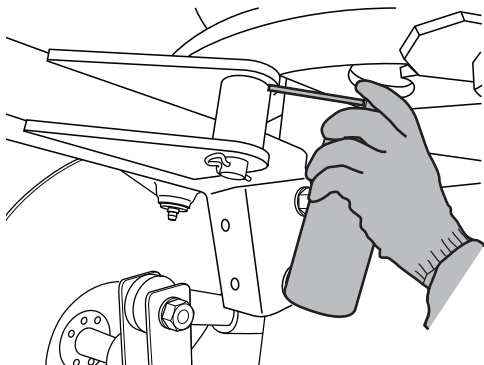
- ロックアーム COMP.B の摺動面



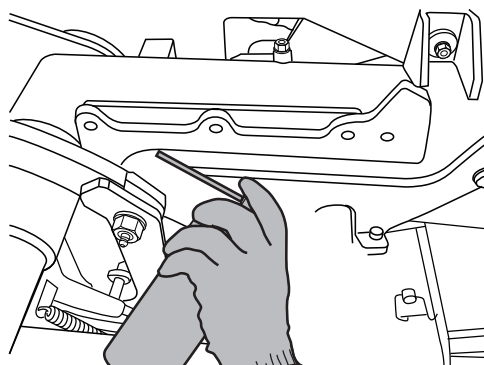
- ロックアーム COMP.B ピン側支点部  
(後進側)



- ロックアーム COMP.B ピン側支点部  
(前進側)

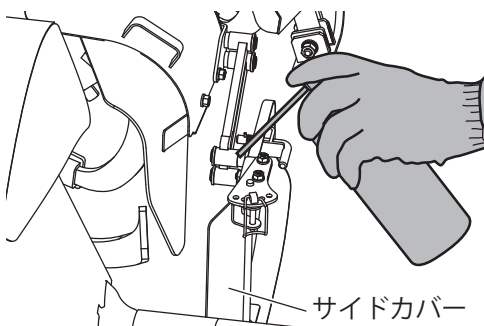


- ガイドレール

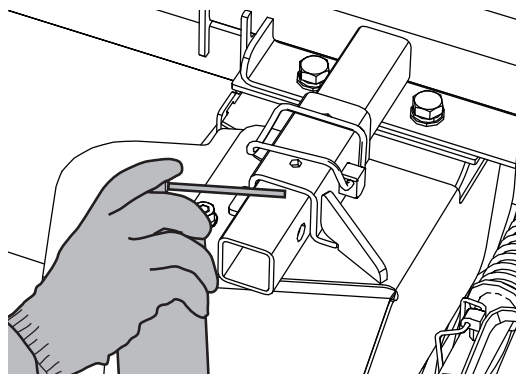


### (c) 調整部

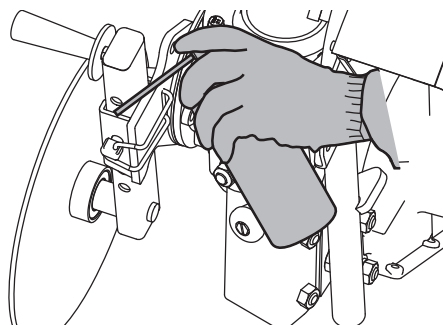
- スイングアーム支点 (4 か所)



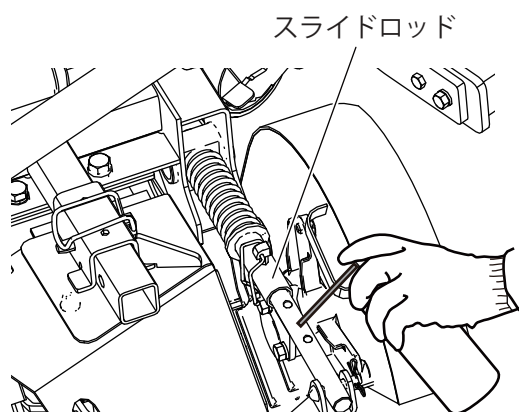
- スライドカバー (スライド部)



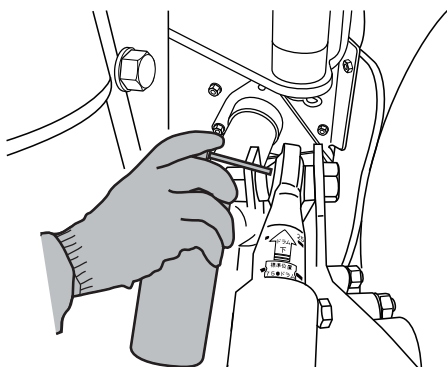
- コールタ (スライドロッド部)



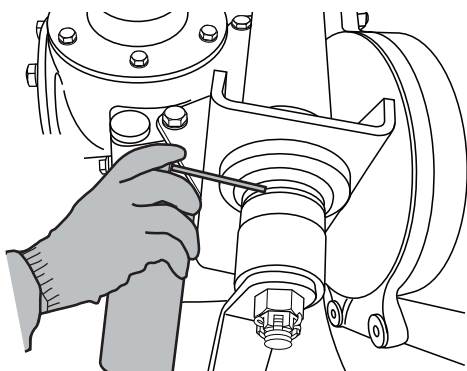
- 天場処理部調整ロッド



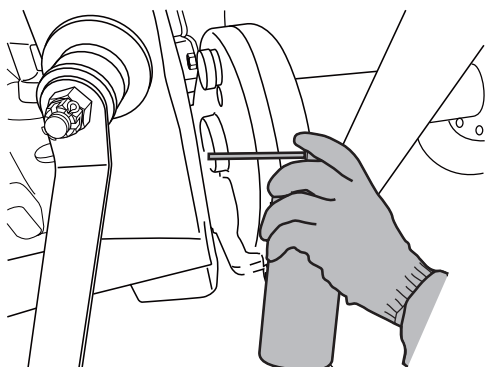
- ・ チョウセイパイプ支点部



- ・ ガイドシテンザ支点部



- ・ ドラム調整部（内外両面）



## オイルシールの組替え

整備などの目的でチェンケースなどを分解する場合は、必ず新しいオイルシール、パッキン、液状ガスケットと交換してください。  
オイル漏れの原因になります。

## チェンの張り調整 (テンショナボルトの調整)

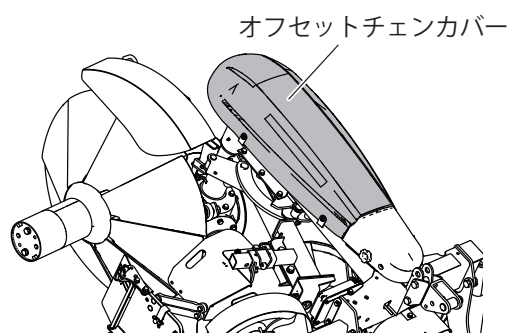
### ⚠ 警告



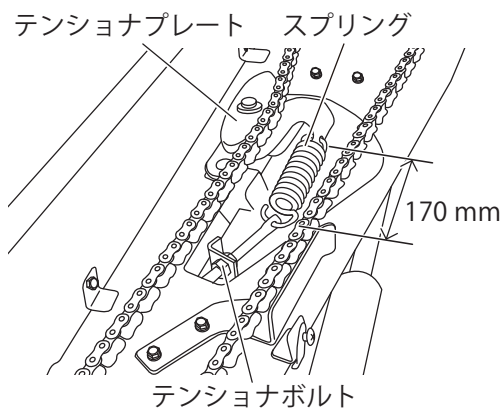
調整後は、必ずオフセットチェンカバーを装着してください。

\* 事故・ケガにつながる恐れがあります。

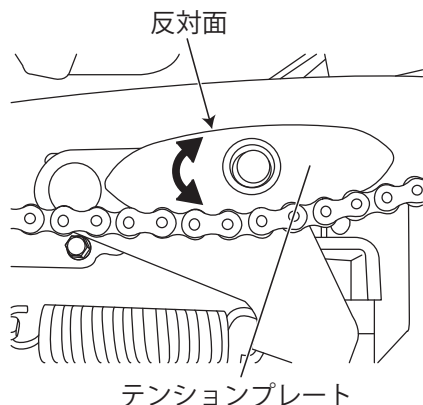
- 1 オフセットチェンカバーを外します。



- 2 チェンの張りをテンショナボルトでスプリング長さ（フック内-内）を 170 mm に調整します。



- 3 テンショナプレートが摩耗した場合は、テンショナプレートを 180°回転させ、反対面を使用します。



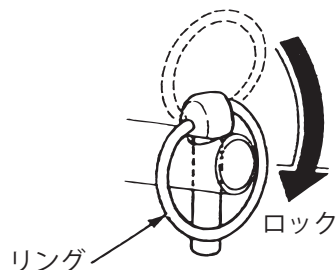
- 4 オフセットチェンカバーを取付けます。

## 作業前点検

### 各部のボルト・ナットの点検

以下のことを確認してください。

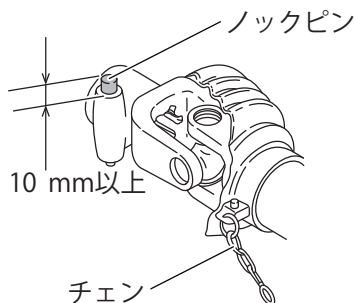
- 各部のボルト・ナット類に緩みはないか。増し締めしながら点検してください。（特に、耕うん爪取付けボルトは緩みやすいため、点検が必要です。新品の場合は使用 1 時間で点検を行うこと。）
- ピン類が全てそろっているか。
- リンチピンのリングが確実にロックされているか。



### ジョイントのノックピンの点検

トラクタ側と作業機側のノックピンについて、以下のことを確認してください。

- ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



### 空転、暖気運転による動作確認

空転させ、各部から異音、異常振動など異常が発生していないことを確認してください。また、暖気運転を 5 ～ 10 分行ってください。

## 作業後の手入れ

### 作業機の水洗い

作業後には、作業機を水洗いし、ゴミや汚れを取除きます。水洗いが終了後、水分を拭き取ってください。高圧洗車機を使って水洗いする場合は、十分注意してください。

高圧洗車機の使用方法を誤ると、人をケガさせたり、作業機を破損・損傷・故障させたりすることがあります。高圧洗車機の『取扱説明書・ラベル』に従って、正しく使用してください。

#### ⚠ 注意



必ず実行

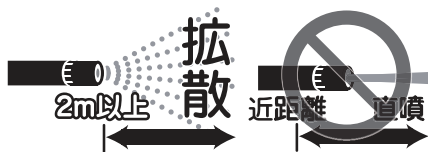
高圧洗車機で水洗いする場合

作業機を損傷させないように洗車ノズルは拡散にし、2 m 以上離して洗車してください。

\* 直射や不適切に近距離から洗車すると作業機の破損・損傷・故障や事故につながる恐れがあります。

例)

- 電気配線被覆の損傷・断線によるショート・火災の発生
- シール・ラベルの剥がれ
- 電子部品などへの水侵入による故障
- 樹脂類（カバーなど）の破損
- 塗装・メッキ皮膜の剥がれ



### 耕うん爪、爪ホルダの点検

「耕うん爪」(→ p.74) に従って、以下のことを確認してください。

- 耕うん爪が摩耗していないか。
- 爪ホルダが摩耗、折損していないか。

異常が見つかった場合、新しいものと交換してください。

### 警告表示ラベルの点検

「警告表示ラベルの種類と位置」(→ p.12) に従って、警告表示ラベルを点検してください。

- 警告表示ラベルが損傷したり破損していないか。
- 警告表示ラベルが汚れていないか。
- 警告表示ラベルが剥がれていないか。

異常が見つかった場合、新しいものと交換してください。

### 消耗品の早期交換

「消耗品一覧」(→ p.81) に記載の消耗品を点検してください。

必要に応じて、新しいものと交換してください。

早期の交換をお勧めします。

## 部品交換方法

### シャーボルト

作業機に大きな衝撃がかかるとシャーボルトが切れ、作業機を保護します。

- ・シャーボルトが切れたときは、ただちにトラクタを止めエンジンを止め、ボルトの交換をしてください。
- ・シャーボルトはコバシ純正ボルト以外使用しないでください。指定外のボルトを使用すると、シャーボルトが早く切れたり、作業機が破損したりします。
- ・シャーボルトが切れた場所にある石や障害物を取除くか避けて作業を再開してください。

### 種類と本数

作業機に使用するシャーボルトの種類と本数は下記のとおりです。

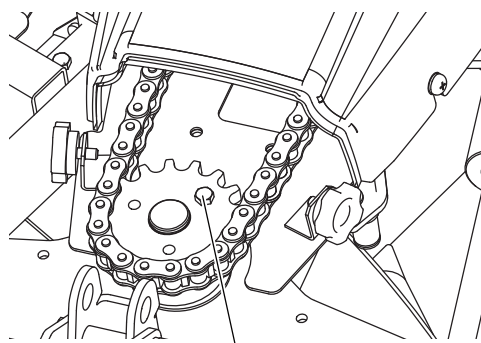
| 場所    |                    | 規格                                                 | コード                  | 使用<br>本数 |
|-------|--------------------|----------------------------------------------------|----------------------|----------|
| オフセット | シャーボルトキット<br>(メイン) | シャーボルト<br>M8 × 30<br>P1.25<br>(対辺 13)<br>半ネジ 12.9T | 7662957<br>(10 セット入) | 1        |
|       | ナイロンナット            | M8 P1.25                                           |                      |          |
| 天場爪軸  | シャーボルトキット<br>(天場)  | シャーボルト<br>M8 × 25<br>P1.25<br>全ネジ<br>7T            | 7663109<br>(10 セット入) | 1        |
|       | ナイロンナット            | M8 P1.25                                           |                      |          |

付属部品として以下のものが各 10 個入っています。

- ・メインのシャーボルト
- ・ナイロンナット
- ・天場のシャーボルト
- ・ナイロンナット

### 交換方法（オフセット（メイン））

- 1 トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンが切れ、PTO が切れていることを確認します。
- 2 オフセットチェンカバーを外し（ノブボルト 2 か所）、折れているシャーボルト、ナットを取除きます。



シャーボルト

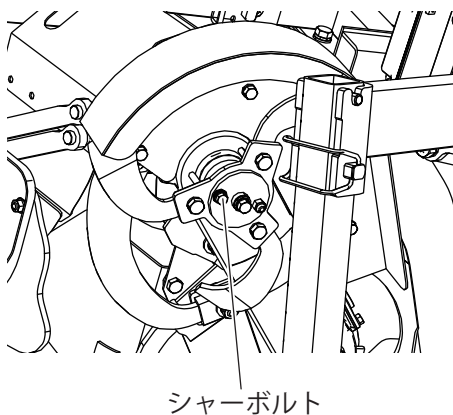
- 3 前方部分に位置するフランジとスプロケットの間にフランジの穴からオイルを十分注油します。
- 4 フランジの穴とスプロケットの穴を合わせ、下方にナット、上からボルトを入れ、ボルトを締めます。（ナットは回転しないようになっていますので、ナット側は工具不要です。）
- 5 オフセットチェンカバーを取付けます。

使  
い  
か  
た

保  
守  
・  
点  
検

## ■ 交換方法（天場処理装置）

- 1 トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンが切れ、PTO が切れていることを確認します。
- 2 フランジの穴と爪軸の穴を合わせ、爪軸側裏からボルトを入れ、表からナットを締付けます。（ボルトは回らないようになっています。）



## 耕うん爪

爪が摩耗してくると、土が上がらなくなり畦の仕上がりが悪くなったり、爪軸前に土が溜まってトラクタが前に進みにくくなります。早めのコバシ純正爪への交換をお勧めします。

## ■ 種類と本数

作業機に使用する爪、ボルトの種類と本数は下記のとおりです。

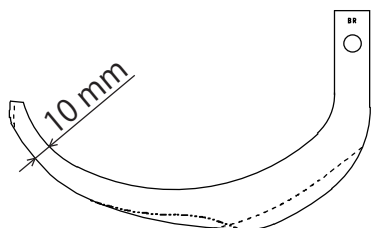
| 場所    | 規格         |                        | コード     | 使用<br>本数 |
|-------|------------|------------------------|---------|----------|
| 前処理部  | ナタツメ       | WR3060RZ               | 68811   | 6        |
|       | ハイドツメ      | WR31                   | 49880   | 2        |
|       | ホルダ<br>カバー | -                      | 7560586 | 2        |
|       | ボルト        | M12 × 35<br>P1.5<br>8T | 9011214 | 8        |
|       | ナット        | M12<br>P1.5<br>6T      | 9140080 | 8        |
|       | ヤキザガネ      | -                      | 4510029 | 6        |
|       | ワッシャ       | M12                    | 9210012 | 8        |
| 天場処理部 | バイドツメ      | M24R                   | 60411   | 3        |
|       | ボルト        | M10 × 25<br>P1.5<br>8T | 9011157 | 3        |
|       | ナット        | M10<br>P1.5            | 9140511 | 3        |
|       | ワッシャ       | M10                    | 9210010 | 3        |

## ■ 爪の交換時期（前処理部）

### ・ナタツメの交換目安

ナタツメ L／R は爪幅が 10 mm 程度になったら交換してください。

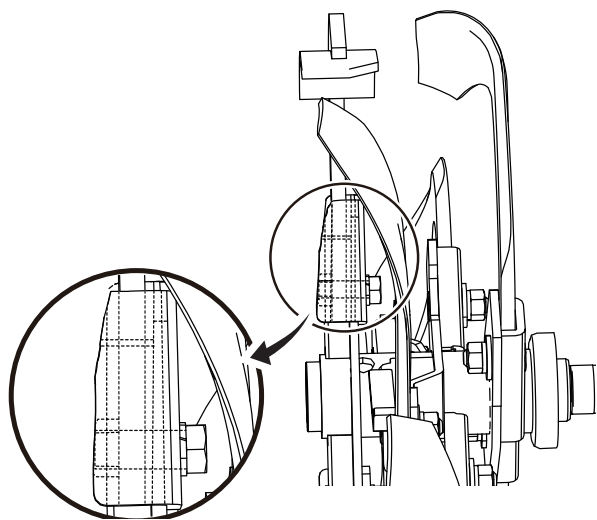
使用限界を超えた爪を使用すると土量不足や碎土性など仕上がりに影響をおよぼす恐れがあります。



### ・ホルダカバーの交換目安

ホルダカバーは図のように摩耗したら交換してください。

使用限度を超えた状態で使用すると、爪軸の摩耗に繋がる恐れがあります。

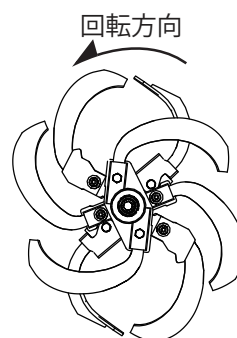


## ■ 爪の交換方法（前処理部）

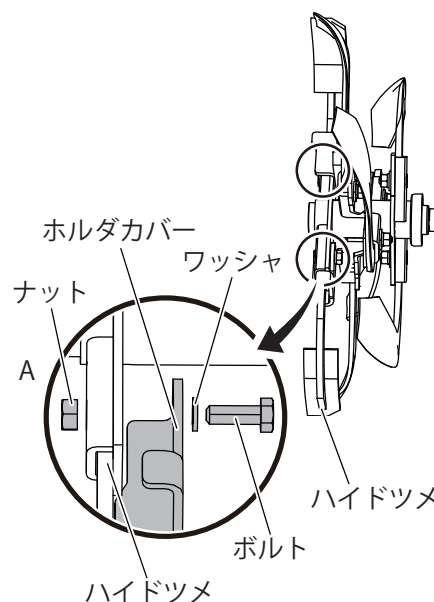
一度に全て外して交換するのではなく、1 本ずつ外して交換していくと、爪の種類、配列の間違いを防ぐことができます。

### 取扱上の注意

- 爪は、爪軸の回転方向を確認して正しい方向に取付けてください。取付け方向を誤ると、爪や作業機が破損する恐れがあります。



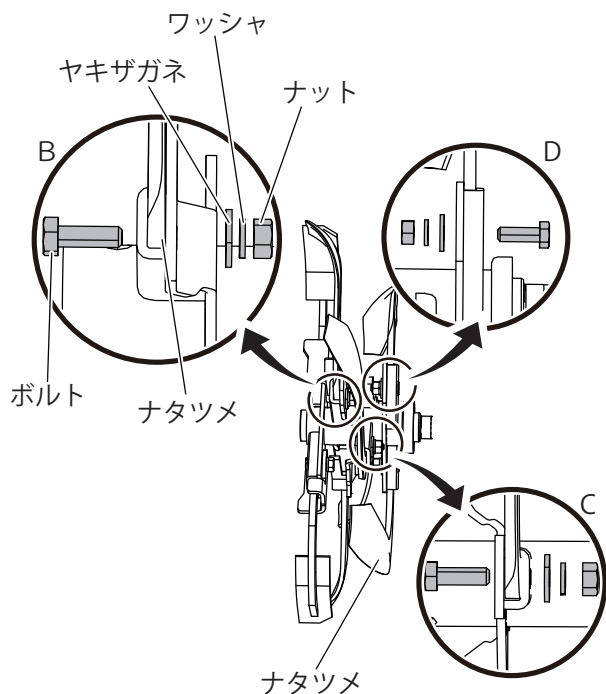
- 1 A のホルダにハイドツメを差込み、ナットを六角穴に入れ、丸穴側にホルダカバーを取付け、ボルトとワッシャを入れて締め付けます。



使いかた

保守・点検

- 2** Bのホルダにナタツメを差込み、ボルトを六角穴に入れ、ナット、ワッシャ、ヤキザガネで締め付けます。

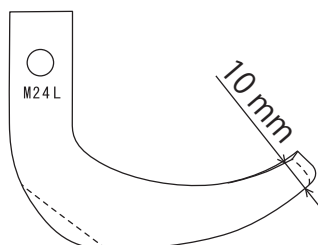


- 3** 2と同じ要領でC・Dホルダにナタツメを取付けます。

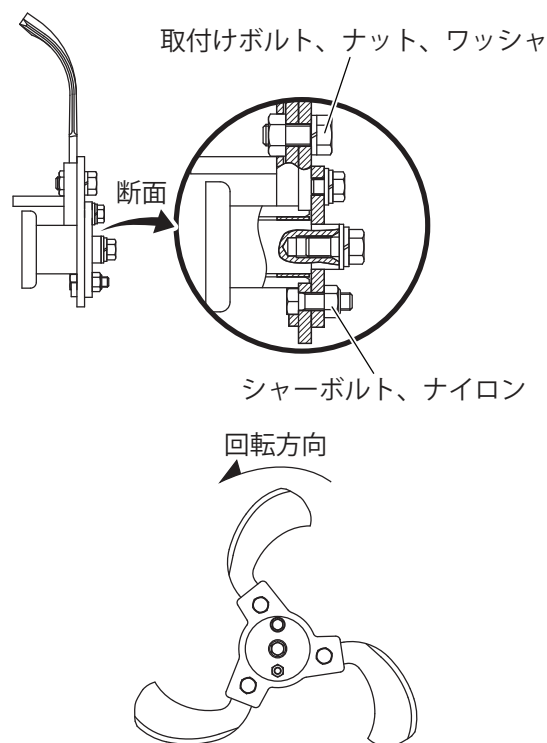
- 4** 全て交換し終わったら増し締めを行います。

## ■ 爪の交換時期（天場処理装置）

- ツメ（M24R）の交換目安  
ツメ（M24R）は爪幅が10 mm程度になったら交換してください。



## ■ 爪の交換方法（天場処理部）



- 1** ホルダにツメ（M24R）を差込み、ナットを六角穴に入れ、ボルト、ワッシャで締め付けます。

- 2** 全て交換し終わったら増し締めを行います。

## ドラム

### ■ ドラム交換方法

#### ⚠ 注意



丈夫な手袋をし、身体に接触しないようにしてください。

必ず実行 \* 使用したドラムは外周が鋭利になっており、直接触れるとケガにつながる恐れがあります。

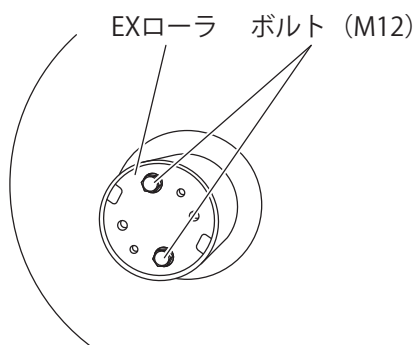
#### 取扱上の注意

- 使用限度を超えた状態で使用すると、作業機の破損につながる恐れがあります。

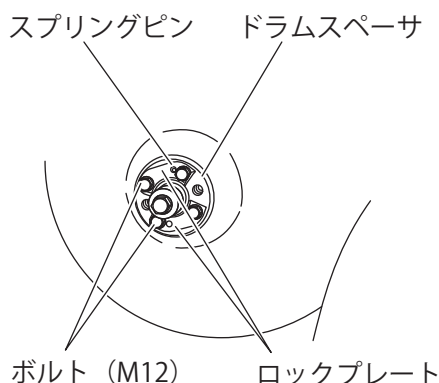
#### 1 スライドカバーを取外します。

#### 2 ドラム部の EX ローラを固定しているボルト (M12) 2 本を取外します。

下図は標準ローラ仕様を示しています。



#### 3 ロックプレートのツバを曲げ、ボルト (M12) 4 本を取外します。

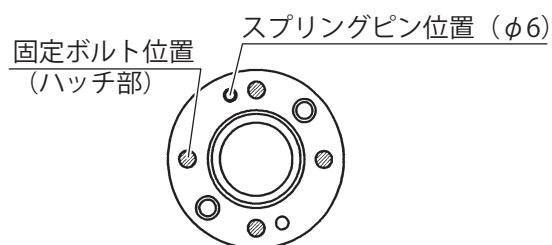


#### 4 ドラムスペーサを取り、ドラムの真正面に立ち、ドラムの左端と右端を持ち、右手側を手前に引き、斜め右後に引っ張り出します。

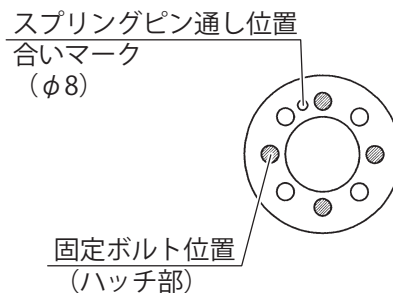
- ドラムボスに組付けてあるスプリングピンは外さないでください。
- ドラムボスが付いていると外れません。

#### 5 新品ドラムをドラムカバーサポート、ドラムカバーの間に右後方から斜めに入れ、ドラムボスのスプリングピンの位置にドラムとドラムスペーサの合マークを合わせます。

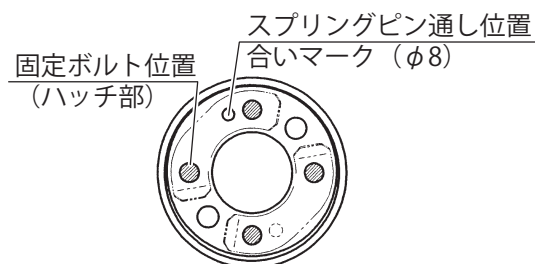
##### (ドラムボス)



##### (ドラム)



##### (ドラムスペーサ)



- 6** 新品のロックプレート、M12 のボルトで固定し、ボルト締付け後はロックプレートのツバを曲げボルトの頭を固定します。

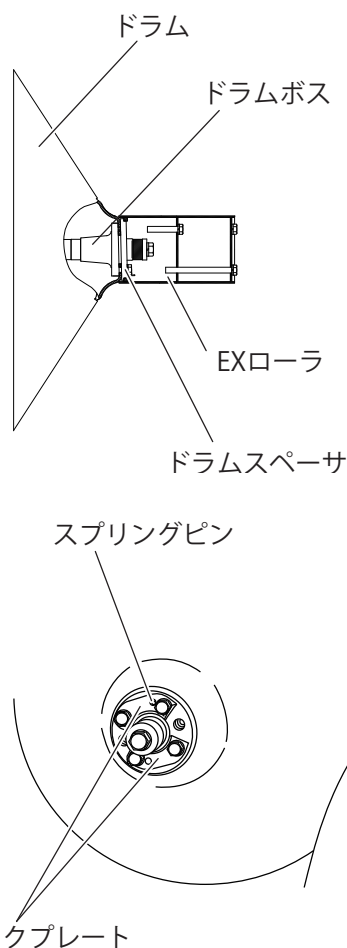
**取扱上の注意**

- ・ スプリングピンがない場合や偏心量 10 mm または 20 mm の場合は、「ドラム偏心量調整方法」(→ p.78) の **3** を参照して偏心量を合わせてください。
- ・ 組付け手順は「ドラム偏心量調整方法」の **4** (→ p.79) を参照してください。

- 7** EX ローラ 2 個をボルト (M12) で取付け (締付けトルク 78 N・m)、スライドカバーを取付けます。

## ■ ドラム偏心量調整方法

- 1** EX ローラ (ジュシローラ 160) を固定しているボルト 2 本 (2 か所) を取外し、スプリングピンを抜きます。  
下図は標準ローラ仕様を示しています。



- 2** ロックプレートのツバを曲げ、ドラムボスドラム、ドラムスペーサを固定しているボルト 4 本を外します。

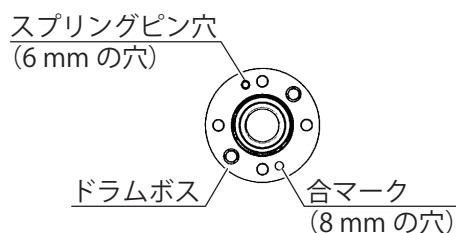
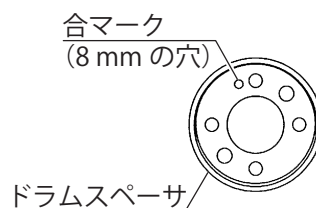
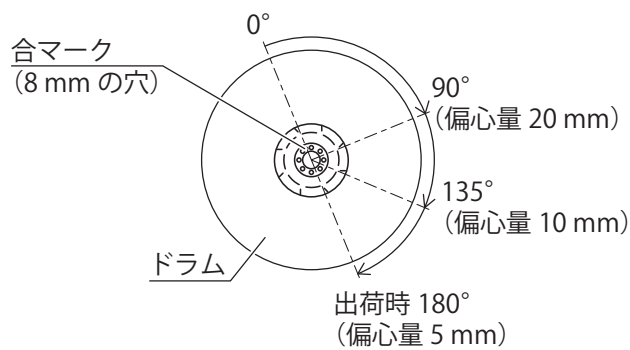
- ・ ボルト 4 本を外すときはドラムが動かないようにしてから外してください。

- 3** ドラムの合マーク (8 mm の穴) をドラムボスの合マーク (8 mm の穴) に対して表のようにドラムを回転させると偏心量が変わります。

**取扱上の注意**

- ・ 合マーク位置 0° (偏心量 40 mm)、45° (偏心量 30 mm) は使用しないでください。ガイアマチックに悪影響がでます。
- ・ ドラムボスに打込むスプリングピンは偏心量 5 mm の時だけ使用します。  
偏心量 10 mm、偏心量 20 mm の場合は使用しません。

| ドラム角度 (°) | 偏心量 (mm) |
|-----------|----------|
| 90        | 20       |
| 135       | 10       |
| 180       | 5        |



- 4** 偏芯量の調整ができれば、ドラムボス、ドラム、ドラムスペーサ、ロックプレートに4本のボルトで固定します。  
(締付けトルク 126 N・m)

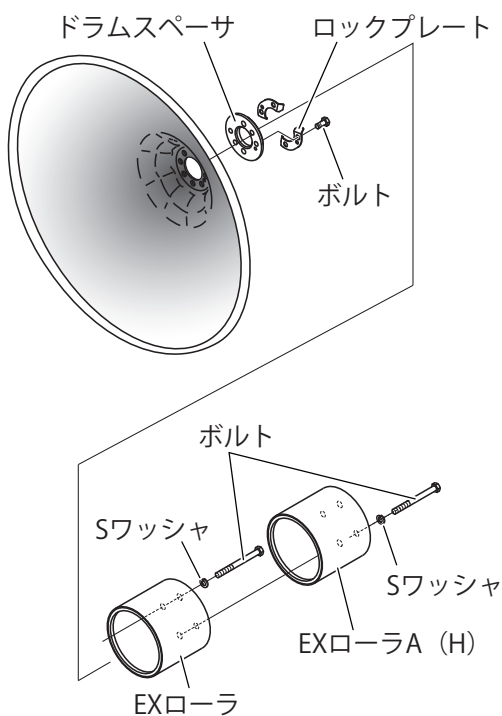
**取扱上の注意**

- ドラムスペーサの取付け位置が違えば、EXローラが振れて天場がうまく塗れず、破損の原因につながる恐れがあります。

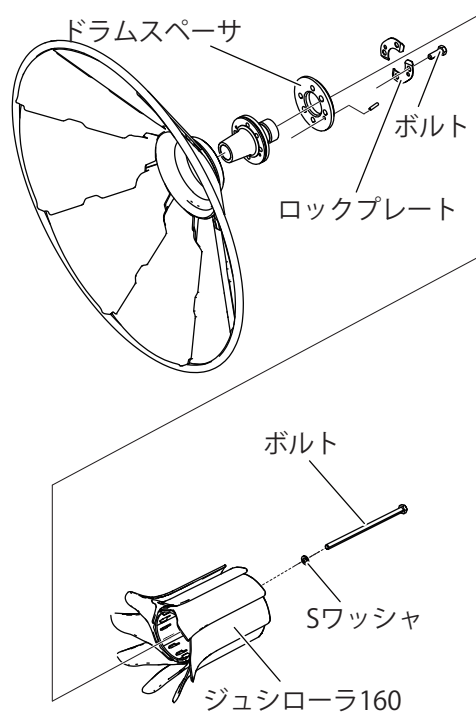
**お知らせ**

- ドラムスペーサは取付け位置があります。ドラムスペーサの合マークとドラムボスのスプリングピン穴（6 mm の穴）の合マークは必ず合わせてから取付けてください。

**＜標準ローラ仕様＞**



**＜樹脂ローラ仕様＞**



- 5** ロックプレートのツバを曲げ、ボルトの頭を固定した後、EXローラとEXローラA (H)を取付けます。(締付けトルク 78 N・m)

使  
い  
か  
た

保  
守  
・  
点  
検

## ハーネスの点検

### ⚠ 警告



ハーネスの損傷、端子・接続部の緩みは直ちに交換、修理してください。

必ず実行 ＊ ショートして火災につながる恐れがあります。



ハーネスの周辺部は、作業前に清掃してください。

必ず実行 ＊ フラクズ、枯れ草、燃料の付着があると火災につながる恐れがあります。

以下を確認してください。

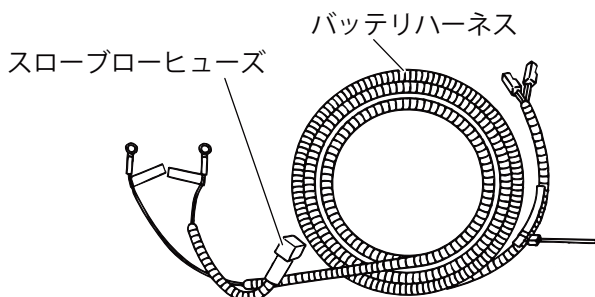
- ・ ハーネスやカプラの損傷がないこと
- ・ ハーネスの固定に緩みがないこと
- ・ ハーネスの可動部への接触、挟み込みがないこと
- ・ バッテリターミナルの端子・カプラの接触部に緩みがないこと

## スローブローヒューズ

- ・ スローブローヒューズは、ショートした場合に配線を保護するためのものです。
- ・ もし切れた場合は、速やかに購入された販売店に相談し、切れた原因の確認と処置を行ってください。
- ・ 交換するときは、必ず純正部品を使用してください。

| 部品名                | 品目コード   |
|--------------------|---------|
| スローブローヒューズ 規格 60 A | 7662494 |

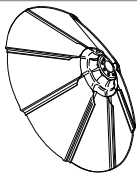
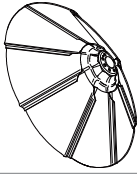
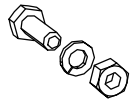
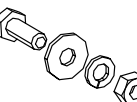
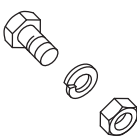
- ・ ヒューズの交換は、必ずエンジンを停止し、コントローラの電源を切った上で行ってください。
- ・ 交換後は元通りにカバーを閉じてください。



# 消耗品一覧

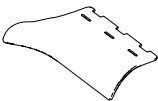
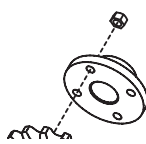
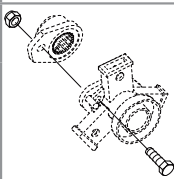
消耗部品は早めの交換をお勧めします。

当社では、お客様にご迷惑がからないよう消耗部品を用意しておりますが、シーズンによっては特定の部品が品薄になる場合がございます。シーズン到来前の準備として、消耗部品の事前確認をしていただき、早めの交換をお勧めします。

|                                                                                     |     |                                            |       |         |        |   |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------|-------|---------|--------|---|
|    | 部品名 | ドラム 750                                    | 部品コード | 7660859 | 1 台分個数 | 1 |
|                                                                                     | 備考  | ドラム単品でドラム 750 からドラム 850 またはその逆の交換はできません。   |       |         |        |   |
|    | 部品名 | ドラム 850                                    | 単品コード | 7660934 | 1 台分個数 | 1 |
|                                                                                     | 備考  | ドラム単品でドラム 750 からドラム 850 またはその逆の交換はできません。   |       |         |        |   |
|    | 部品名 | ナタツメ WR3060RZ                              | 単品コード | 68811   | 1 台分個数 | 6 |
|                                                                                     | 備考  | ナタツメ WR3060RZ、ハイドツメ WR31 セットで爪セットコード 9000S |       |         |        |   |
|  | 部品名 | ハイドツメ WR31                                 | 単品コード | 49880   | 1 台分個数 | 2 |
|                                                                                     | 備考  | ナタツメ WR3060RZ、ハイドツメ WR31 セットで爪セットコード 9000S |       |         |        |   |
|  | 部品名 | M12 × 35 P1.5 8T ツメボルト                     | 単品コード | 7560593 | 1 台分個数 | 2 |
|                                                                                     | 備考  | ハイドツメ用                                     |       |         |        |   |
|  | 部品名 | M12 × 35 P1.5 8T ツメボルト<br>(ヤキザガネ付)         | 単品コード | 7560594 | 1 台分個数 | 6 |
|                                                                                     | 備考  | ナタツメ用                                      |       |         |        |   |
|  | 部品名 | ホルダカバー                                     | 単品コード | 7560586 | 1 台分個数 | 2 |
|                                                                                     | 備考  |                                            |       |         |        |   |
|  | 部品名 | ツメ M24R                                    | 単品コード | 60411   | 1 台分個数 | 3 |
|                                                                                     | 備考  | 天場用                                        |       |         |        |   |
|  | 部品名 | M10 × 25 8T ボルト                            | 単品コード | 9011157 | 1 台分個数 | 3 |
|                                                                                     | 部品名 | M10 S ワッシャ                                 | 単品コード | 9210010 | 1 台分個数 | 3 |
|                                                                                     | 部品名 | M10 ナット                                    | 単品コード | 9140511 | 1 台分個数 | 3 |
|                                                                                     | 備考  | ツメ M24R 用                                  |       |         |        |   |

使  
い  
か  
た

消  
耗  
品  
一  
覧

|                                                                                     |     |                           |       |         |        |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------|-------|---------|--------|---------|
|    | 部品名 | ジュシプレート 160               | 部品コード | 7560581 | 1 台分個数 | 8       |
|                                                                                     | 備考  | 樹脂ローラ仕様                   |       |         |        |         |
|    | 部品名 | シャーボルトキット RM(ホンタイ)        | 部品コード | 7662957 | 1 台分個数 | 10 本セット |
|                                                                                     | 備考  | シャーボルトは必ずコバシ純正品を使用してください。 |       |         |        |         |
|    | 部品名 | テンバコーウンジク用<br>シャーボルト      | 部品コード | 7663109 | 1 台分個数 | 10 本セット |
|                                                                                     | 備考  | シャーボルトは必ずコバシ純正品を使用してください。 |       |         |        |         |
|    | 部品名 | テンションプレート                 | 部品コード | 7662868 | 1 台分個数 | 1       |
|                                                                                     | 備考  |                           |       |         |        |         |
|  | 部品名 | テンションナ                    | 部品コード | 7560693 | 1 台分個数 | 1       |
|                                                                                     | 備考  |                           |       |         |        |         |
|  | 部品名 | ローラチェン                    |       |         |        |         |
|                                                                                     |     | (メイン用)                    |       | 9440239 |        | 1       |
|                                                                                     |     | (ドラム用)                    | 部品コード | 9440198 | 1 台分個数 | 1       |
|                                                                                     |     | (天場用)                     |       | 9440238 |        | 1       |
|                                                                                     | 備考  |                           |       |         |        |         |

# オプション一覧

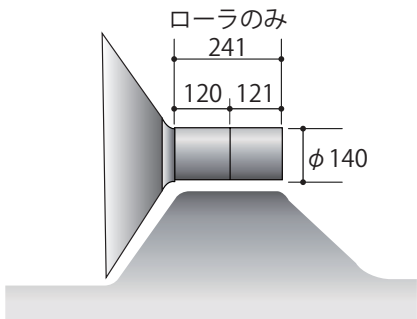
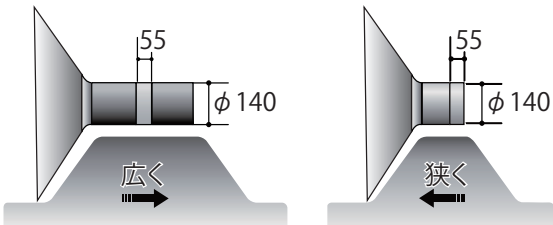
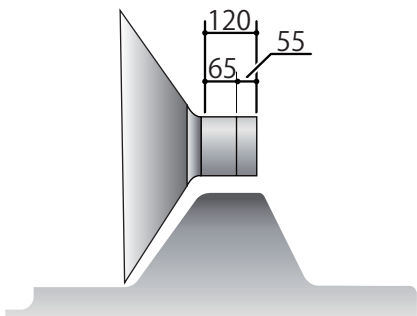
RM753、RM853 には以下のオプションがあります。

畦塗り作業を行う圃場条件に適したものをお選びください。（別途購入が必要になります）

詳しくは、販売店にご確認ください。

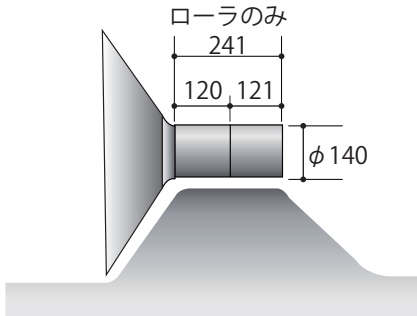
## 延長／分割ローラ

天場の幅が広いまたは狭い場合に、延長／分割ローラを取付けます。天場の幅によってローラの長さを調節できます。

| 品名・形状                                                                               | コード No. | 型式                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------|
| EX ローラキット AH                                                                        | 7560418 | RM753HJ、RM753FJ、<br>RM853HJ、RM853FJ                                                |
|   | 【仕様】    | 標準ローラ。ワンタッチ着脱タイプのオプションローラを取付けることができます。                                             |
| ローラキット A                                                                            | 7560346 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                                                    |
|  | 【仕様】    | 整形したい天場の幅により、標準ローラに延長、または標準ローラを分割して取付けることができます。<br>J 仕様も標準 EX ローラを別途購入することで装着可能です。 |
| ローラキット AS2                                                                          | 7560348 | 全型式                                                                                |
|  | 【仕様】    | 標準ローラの延長、または標準ローラを分割して取付けることができます。                                                 |

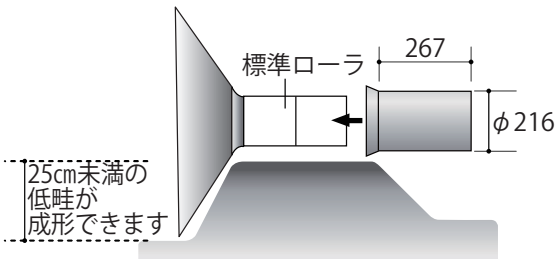
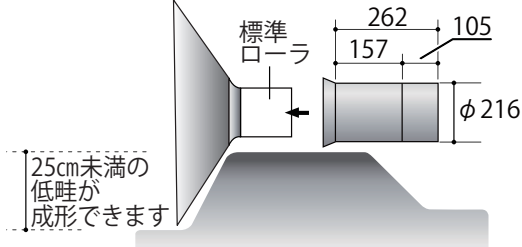
使  
い  
か  
た

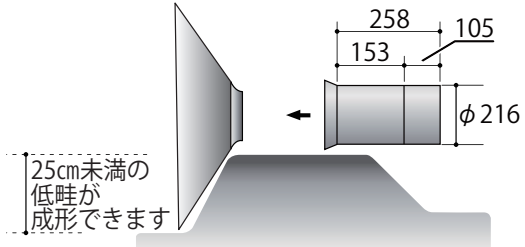
オ  
プ  
シ  
ョ  
ン  
一  
覧

| 品名・形状                                                                             | コード No. | 型式                |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------|
| EX ローラキット AS                                                                      | 7560286 | 全型式               |
|  | 【仕様】    | 標準ローラ 2 分割式タイプです。 |

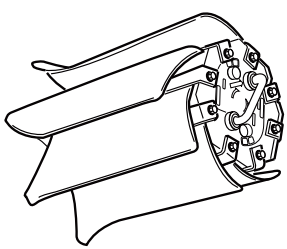
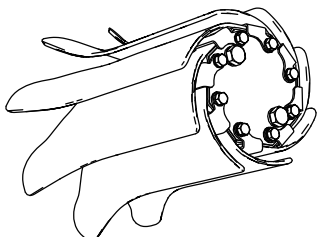
## 大径ローラ

低畦対応用コーナー付大径ローラです。25 cm 以下の低畦を成形する場合に最適です。

| 品名・形状                                                                               | コード No. | 型式                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------|
| ローラキット BH                                                                           | 7560627 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                                              |
|  | 【仕様】    | 標準ローラを取付けた状態で装着できます。<br>工具レスでワンタッチ着脱タイプです。<br>J仕様も標準 EX ローラを別途購入することで装着可能です。 |
| ローラキット BS2                                                                          | 7560504 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                                              |
|  | 【仕様】    | 分割式大径ローラ。標準ローラの外側ローラを取外してから装着します。<br>J仕様も標準 EX ローラを別途購入することで装着可能です。          |

| 品名・形状                                                                                           | コード No. | 型式                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------|
| ローラキット CS2<br> | 7560502 | 全型式                  |
|                                                                                                 | 【仕様】    | 標準ローラを取付けなくても装着できます。 |

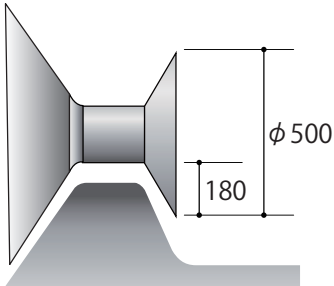
## 樹脂ローラキット

| 品名・形状                                                                                               | コード No. | 型式                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   | 7560420 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                                                                                                                   |
|                                                                                                     | 【仕様】    | 天場整形後もローラへ土が付着しようとする火山灰土を、樹脂プレートが元の形に戻ろうとする張力により剥がし、天場の整形をきれいにします。<br>標準ローラを取付けたまま装着できます。<br>工具レスでワンタッチ着脱タイプです。<br>J仕様も標準 EX ローラを別途購入することで装着可能です。 |
| 樹脂ローラキット 160<br> | 7560077 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                                                                                                                   |
|                                                                                                     | 【仕様】    | 標準樹脂ローラ。標準ローラなしで直接取付けます。(J仕様は標準装備)                                                                                                                |

使  
い  
か  
た

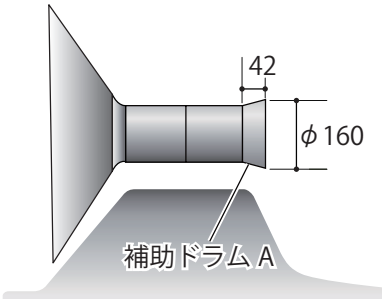
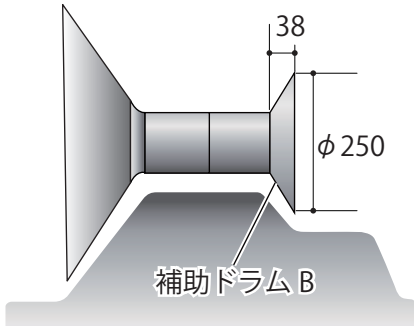
オ  
プ  
シ  
ョ  
ン  
一  
覧

## 中畦キット

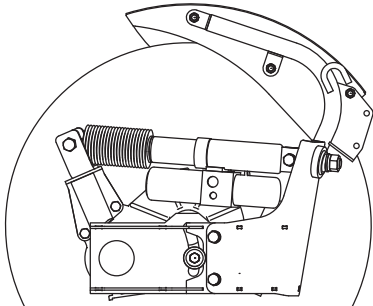
| 品名・形状                                                                             | コード No. | 型式                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------|
|  | 7662115 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                      |
|                                                                                   | 【仕様】    | 圃場の中に中畦をつくれます。<br>J仕様も標準 EX ローラを別途購入することで<br>装着可能です。 |

## 補助ドラムキット

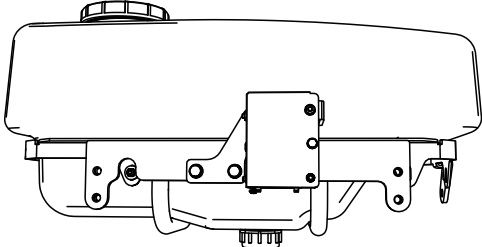
天場に供給された土で EX ローラからこぼれた土を塗るのに使用します。

| 品名・形状                                                                                             | コード No. | 型式                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------|
| 補助ドラムキット A<br> | 7662364 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                      |
|                                                                                                   | 【仕様】    | 両側から畦塗作業ができます。<br>J仕様も標準 EX ローラを別途購入することで<br>装着可能です。 |
| 補助ドラムキット B<br> | 7662365 | RM753H、RM753F、<br>RM853H、RM853F                      |
|                                                                                                   | 【仕様】    | 復路作業はできません。<br>J仕様も標準 EX ローラを別途購入することで<br>装着可能です。    |

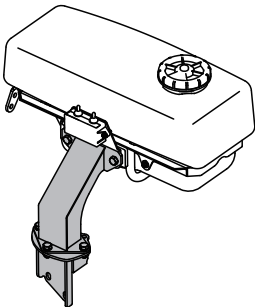
## ドラム耕深キット

| 品名・形状                                                                             | コード No. | 型式                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------|
|  | 7663278 | 全型式                    |
|                                                                                   | 【仕様】    | ドラム高さの調整を電動で行うことができます。 |

## タンクキット 3

| 品名・形状                                                                               | コード No. | 型式                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------|
|  | 8090124 | 全型式                                        |
|                                                                                     | 【仕様】    | 粘土質圃場でも畦をきれいに成形できます。<br>別途トリツケキット D が必要です。 |

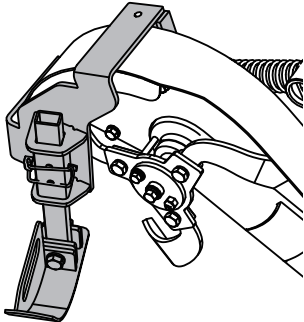
## トリツケキット D

| 品名・形状                                                                               | コード No. | 型式                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------|
|  | 8090048 | 全型式                              |
|                                                                                     | 【仕様】    | タンクキット 3 をこの作業機に取付けるために<br>必要です。 |

使  
い  
か  
た

オ  
プ  
シ  
ョ  
ン  
一  
覧

## 天場追従キット

| 品名・形状                                                                             | コード No. | 型式                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------|
|  | 7560583 | RM753F、RM753FJ<br>RM853F、RM853FJ |
|                                                                                   | 【仕様】    | 天場の削り高さを元畦に対して一定にすることができます。      |

# 格納・運搬・保管

格納・運搬・保管するときは、作業機をきれいに清掃し、塗装できない箇所はサビ止めのためにグリスを塗ってください。

## 注意事項

### ⚠ 注意



禁止

スタンドは、圃場内での使用や圃場内への放置はしないでください。

＊ 泥の浸入により回動しにくくなる場合があります。泥が浸入して回動しにくくなった場合は、よく洗浄してグリスを塗布してください。



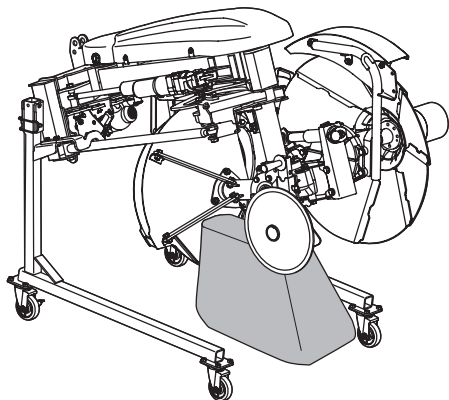
必ず実行

キャストおよびキャストスタンドが損傷している場合は、ただちに修理・交換を行ってください。

＊ 作業機が転倒する恐れがあり危険です。

### 取扱上の注意

- キャストスタンドを装着した状態で運搬はしないでください。破損の原因になります。やむを得ず、運搬する場合は、ドラムの下をウマなどで固定してキャストに負担がかからないようにしてください。

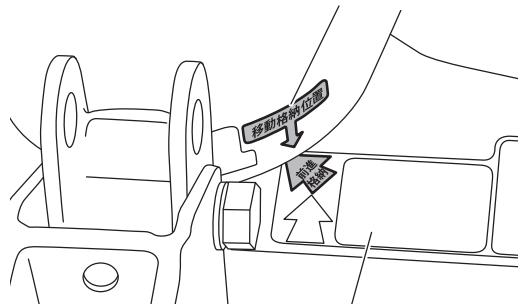


## 作業手順

- 1 フロントフレームラベルの「前進格納」矢印と、チェンカバーラベルの「移動格納位置」矢印が合っている状態にします。

トラクタ側から見た図

チェンカバーラベル

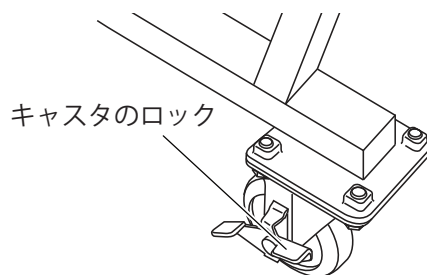


フロントフレームラベル

### 取扱上の注意

- ズレている場合は、安全に装着することができないので、コントローラと電源を接続し、矢印を合わせてください。

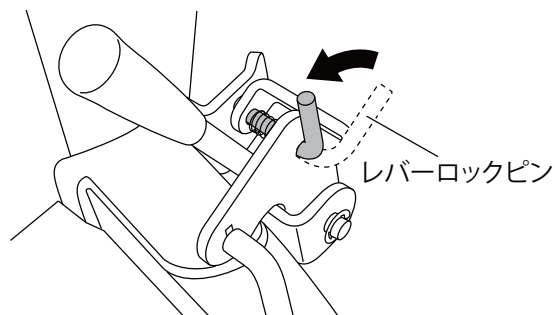
- 2 キャストスタンドで作業機を移動する際は、平坦な広い場所で、周囲に人がいないことを確認し、足元に注意して行います。
- 3 作業機は、平坦な地盤のしっかりした屋根のある場所に保管し、キャストのブレーキをロックします。



使  
い  
か  
た

格納・運搬・保管

- 4** オートヒッチを作業機に取付けて保管する場合は、レバーロックピンを操作してレバーをロックします。  
レバーロックピンは、不用意に作業機が外れないように確実にロックします。



- 5** 格納後はむやみに子供などが触れないような処置をします。
- 6** 必ず屋内に保管します。  
屋外での長期保管は作業機の寿命を低下させます。

# 主要諸元

ここでは各型式の主要諸元を紹介します。

| 型式                   | 装着方法                                                                                 |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| RM-T-0S              | JIS 標準オートヒッチ規格対応。<br>オートヒッチ、ジョイントは装備されていません。<br>(オートヒッチとジョイントは共用です。)<br>2 台目用の作業機です。 |
| RM-T-4S<br>RM-T-4SDH | JIS 標準オートヒッチ規格対応。<br>オートヒッチと作業機装着と同時に自動装着可能なジョイントが装備されています。                          |
| RM-1S                | JIS 標準規格対応。<br>トラクタに直接装着するタイプです。                                                     |
| RM-S                 | JIS 特殊オートヒッチ A1 規格対応。<br>トラクタメーカー純正オートヒッチにて装着可能です。                                   |
| RM-T                 | JIS 特殊オートヒッチ A2 規格対応。<br>トラクタメーカー純正オートヒッチにて装着可能です。                                   |
| RM-U<br>RM-MU        | JIS 特殊オートヒッチ B 規格対応。<br>トラクタメーカー純正オートヒッチにて装着可能です。<br>(MU は三菱専用規格です。)                 |

| 型式               |         | RM753HT-0S                  | RM753HT-4S  | RM753HT-4SDH | RM753H-1S    |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------|--------------|--------------|
| 機<br>体<br>寸<br>法 | 全長 (mm) | 1740                        | 1930        |              |              |
|                  | 全幅 (mm) | 1130                        |             |              |              |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |             |              |              |
| 機体質量 (kg)        |         | 318                         | 354         | 359          | 339          |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1  | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60      | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |             |              |              |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |             |              |              |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |             |              |              |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |             |              |              |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |             |              |              |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |             |              |              |
| 装着方法             |         | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |              | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |              |              |
| 天場処理装置           |         | -                           |             |              |              |
| 上面ローラ            |         | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |             |              |              |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |             |              |              |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |             |              |              |

必要に応じて

主要諸元

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM753H-S                    | RM753H-T                | RM753H-U               | RM753H-MU                        |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1950                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1130                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 334                         | 333                     | 332                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | -                           |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM753HJT-0S                 | RM753HJT-4S | RM753HJT-4SDH | RM753HJ-1S   |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------|---------------|--------------|
| 機<br>体<br>寸<br>法 | 全長 (mm) | 1740                        | 1930        |               |              |
|                  | 全幅 (mm) | 1125                        |             |               |              |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |             |               |              |
| 機体質量 (kg)        |         | 318                         | 354         | 359           | 339          |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1   | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60       | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |             |               |              |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |             |               |              |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |             |               |              |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |             |               |              |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |             |               |              |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |             |               |              |
| 装着方法             |         | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |               | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |               |              |
| 天場処理装置           |         | -                           |             |               |              |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |             |               |              |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |             |               |              |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |             |               |              |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM753HJ-S                   | RM753HJ-T               | RM753HJ-U              | RM753HJ-MU                       |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1950                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1125                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 334                         | 333                     | 332                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | -                           |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |        | RM753FT-0S                  | RM753FT-4S  | RM753FT-4SDH | RM753F-1S    |
|------------------|--------|-----------------------------|-------------|--------------|--------------|
| 機<br>体<br>寸<br>法 | 全長（mm） | 1740                        | 1930        |              |              |
|                  | 全幅（mm） | 1130                        |             |              |              |
|                  | 全高（mm） | 1430                        |             |              |              |
| 機体質量（kg）         |        | 337                         | 373         | 378          | 358          |
| 適応トラクタ           | KW     | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1  | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS     | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60      | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅（mm）      |        | 1860                        |             |              |              |
| 標準耕深（cm）         |        | 5 ～ 15                      |             |              |              |
| 標準作業速度（km/h）     |        | 0.4 ～ 1.0                   |             |              |              |
| 耕うん作業能率（分 /10a）  |        | 6 ～ 15                      |             |              |              |
| 駆動方法             |        | チェーン駆動                      |             |              |              |
| 入力軸回転速度（rpm）     |        | 400 ～ 600                   |             |              |              |
| 装着方法             |        | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |              | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |        | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |              |              |
| 天場処理装置           |        | 有段式<br>天場処理装置               |             |              |              |
| 上面ローラ            |        | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |             |              |              |
| シールドカバー          |        | 弾性排土構造                      |             |              |              |
| 最大オフセット量（mm）     |        | 前進側：930<br>後進側：1000（固定）     |             |              |              |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM753F-S                    | RM753F-T                | RM753F-U               | RM753F-MU                        |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1950                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1130                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 353                         | 352                     | 351                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェン駆動                       |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | 有段式<br>天場処理装置               |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | 弾性排土構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM753FJT-0S                 | RM753FJT-4S | RM753FJT-4SDH | RM753FJ-1S   |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------|---------------|--------------|
| 機<br>体<br>寸<br>法 | 全長 (mm) | 1740                        | 1930        |               |              |
|                  | 全幅 (mm) | 1125                        |             |               |              |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |             |               |              |
| 機体質量 (kg)        |         | 337                         | 373         | 378           | 358          |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1   | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60       | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |             |               |              |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |             |               |              |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |             |               |              |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |             |               |              |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |             |               |              |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |             |               |              |
| 装着方法             |         | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |               | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |               |              |
| 天場処理装置           |         | 有段式<br>天場処理装置               |             |               |              |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |             |               |              |
| シールドカバー          |         | 弾性排土構造                      |             |               |              |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |             |               |              |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM753FJ-S                   | RM753FJ-T               | RM753FJ-U              | RM753FJ-MU                       |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1950                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1125                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 353                         | 352                     | 351                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | 有段式<br>天場処理装置               |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | 弾性排土構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM853HT-0S                  | RM853HT-4S  | RM853HT-4SDH | RM853H-1S    |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------|--------------|--------------|
| 機<br>体<br>寸<br>法 | 全長 (mm) | 1750                        | 1930        |              |              |
|                  | 全幅 (mm) | 1170                        |             |              |              |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |             |              |              |
| 機体質量 (kg)        |         | 324                         | 360         | 365          | 345          |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1  | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60      | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |             |              |              |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |             |              |              |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |             |              |              |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |             |              |              |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |             |              |              |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |             |              |              |
| 装着方法             |         | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |              | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |              |              |
| 天場処理装置           |         | -                           |             |              |              |
| 上面ローラ            |         | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |             |              |              |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |             |              |              |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |             |              |              |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM853H-S                    | RM853H-T                | RM853H-U               | RM853H-MU                        |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1960                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1170                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 340                         | 339                     | 338                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | -                           |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM853HJT-0S                 | RM853HJT-4S | RM853HJT-4SDH | RM853HJ-1S   |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------|---------------|--------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1750                        | 1930        |               |              |
|                  | 全幅 (mm) | 1165                        |             |               |              |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |             |               |              |
| 機体質量 (kg)        |         | 324                         | 360         | 365           | 345          |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1   | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60       | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |             |               |              |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |             |               |              |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |             |               |              |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |             |               |              |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |             |               |              |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |             |               |              |
| 装着方法             |         | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |               | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |               |              |
| 天場処理装置           |         | -                           |             |               |              |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |             |               |              |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |             |               |              |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |             |               |              |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM853HJ-S                   | RM853HJ-T               | RM853HJ-U              | RM853HJ-MU                       |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1960                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1165                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 340                         | 339                     | 338                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | -                           |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | テーパー構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM853FT-0S                  | RM853FT-4S  | RM853FT-4SDH | RM853F-1S    |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------|--------------|--------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1750                        | 1930        |              |              |
|                  | 全幅 (mm) | 1170                        |             |              |              |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |             |              |              |
| 機体質量 (kg)        |         | 342                         | 378         | 383          | 363          |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1  | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60      | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |             |              |              |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |             |              |              |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |             |              |              |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |             |              |              |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |             |              |              |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |             |              |              |
| 装着方法             |         | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |              | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |              |              |
| 天場処理装置           |         | 有段式<br>天場処理装置               |             |              |              |
| 上面ローラ            |         | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |             |              |              |
| シールドカバー          |         | 弾性排土構造                      |             |              |              |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |             |              |              |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

必要に応じて

主要諸元

| 型式               |         | RM853F-S                    | RM853F-T                | RM853F-U               | RM853F-MU                        |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機<br>体<br>寸<br>法 | 全長 (mm) | 1960                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1170                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 358                         | 357                     | 356                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | 有段式<br>天場処理装置               |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | ステンレス製<br>2 分割 EX ローラ       |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | 弾性排土構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

| 型式               |         | RM853FJT-0S                 | RM853FJT-4S | RM853FJT-4SDH | RM853FJ-1S   |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------|---------------|--------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1750                        | 1930        |               |              |
|                  | 全幅 (mm) | 1165                        |             |               |              |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |             |               |              |
| 機体質量 (kg)        |         | 342                         | 378         | 383           | 363          |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 | 18.4 ～ 37.5 | 27.2 ～ 44.1   | 18.4 ～ 44.1  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     | 25 ～ 51     | 37 ～ 60       | 25 ～ 60      |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |             |               |              |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |             |               |              |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |             |               |              |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |             |               |              |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |             |               |              |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |             |               |              |
| 装着方法             |         | JIS 標準オートヒッチ S ヒッチ規格対応      |             |               | JIS 標準規格対応直装 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |             |               |              |
| 天場処理装置           |         | 有段式<br>天場処理装置               |             |               |              |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |             |               |              |
| シールドカバー          |         | 弾性排土構造                      |             |               |              |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |             |               |              |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

必要に応じて

主要諸元

| 型式               |         | RM853FJ-S                   | RM853FJ-T               | RM853FJ-U              | RM853FJ-MU                       |
|------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 機体寸法             | 全長 (mm) | 1960                        |                         | 1940                   |                                  |
|                  | 全幅 (mm) | 1165                        |                         |                        |                                  |
|                  | 全高 (mm) | 1430                        |                         |                        |                                  |
| 機体質量 (kg)        |         | 358                         | 357                     | 356                    |                                  |
| 適応トラクタ           | KW      | 18.4 ～ 44.1                 |                         |                        |                                  |
|                  | PS      | 25 ～ 60                     |                         |                        |                                  |
| 最大タイヤ外幅 (mm)     |         | 1860                        |                         |                        |                                  |
| 標準耕深 (cm)        |         | 5 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 標準作業速度 (km/h)    |         | 0.4 ～ 1.0                   |                         |                        |                                  |
| 耕うん作業能率 (分 /10a) |         | 6 ～ 15                      |                         |                        |                                  |
| 駆動方法             |         | チェーン駆動                      |                         |                        |                                  |
| 入力軸回転速度 (rpm)    |         | 400 ～ 600                   |                         |                        |                                  |
| 装着方法             |         | JIS 特殊オートヒッチ<br>A1 規格対応     | JIS 特殊オートヒッチ<br>A2 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B 規格対応 | JIS 特殊オートヒッチ<br>B (三菱専用規格)<br>対応 |
| 耕深調節             |         | ドラム上下ハンドル無段階調節／<br>ゲージ輪ピン調節 |                         |                        |                                  |
| 天場処理装置           |         | 有段式<br>天場処理装置               |                         |                        |                                  |
| 上面ローラ            |         | φ 160<br>樹脂ローラ              |                         |                        |                                  |
| シールドカバー          |         | 弾性排土構造                      |                         |                        |                                  |
| 最大オフセット量 (mm)    |         | 前進側：930<br>後進側：1000 (固定)    |                         |                        |                                  |

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

# トラクタ別装着表

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、本作業機トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が載っていない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

## ⚠ 注意



必ず実行

装着表記載の寸法からトップリンク長など変更される場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



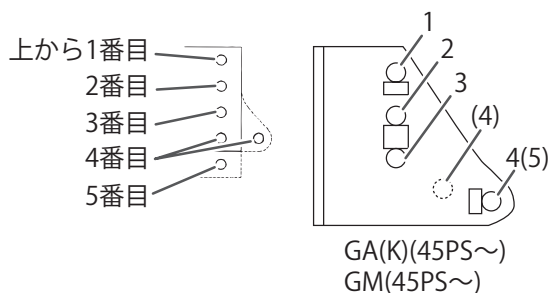
必ず実行

ジョイントの抜け・突きがある場合は、ジョイントの切断・交換などして作業してください。

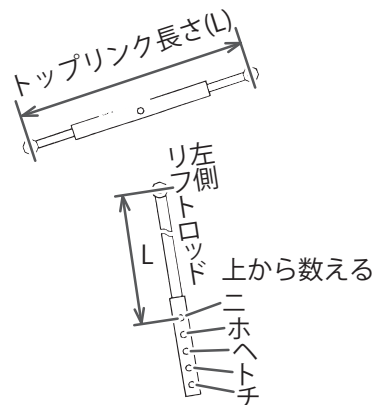
\* ケガ・破損につながる恐れがあります。

## S ヒッチ (T-4S)

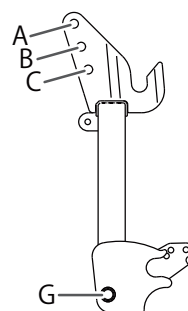
### トップリンク取付け穴



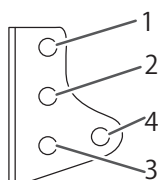
### トップリンク・リフトロッド調整



### 作業機側

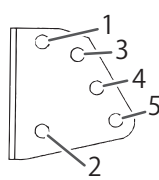


### ドラフトなし仕様

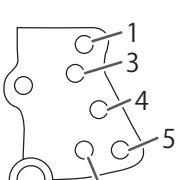


SL (~35PS)  
GJE

### ドラフト仕様

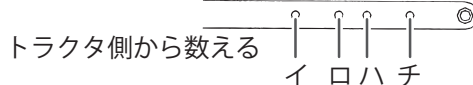


SL (38PS~)  
T2.450



SL (ドラフト仕様)

### ロアリンク取付け穴



必要に応じて

トラクタ別装着表

## ■ クボタ

| トラクタ型式        | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考                                                                 |
|---------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------|
|               | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4S               |                                                                     |
|               |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC71M              |                                                                     |
| SL280         | 2                  | イ                 | へ                  | 660                      | C                  | G                 |                    |                                                                     |
| SL280PC・320PC | 2                  | ロ                 | へ                  | 670                      | C                  | G                 |                    |                                                                     |
| SL320・350・33L | 2                  | イ                 | へ                  | 720                      | C                  | G                 |                    | 最上げ時、<br>ジョイント不<br>等速音発生<br>のため、PTO 切<br>またはアップ<br>オフ PTO 使<br>用のこと |

| トラクタ型式                 | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|                        | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4S               |     |
|                        |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC71M              |     |
| SL350PC・33L-PC         | 4                  | 口                 | へ                  | 670                      | A                  | G                 | TC84M              |     |
| SL350DPC<br>(D：ドラフト仕様) | 5                  | 口                 | ト                  | 630                      | A                  | G                 | TC84M              |     |
| SL380、410、450          | 5                  | イ                 | へ                  | 670                      | A                  | G                 |                    |     |
| SL380PC、410PC、450PC    | 5                  | イ                 | へ                  | 660                      | A                  | G                 |                    |     |
| SL480                  | 5                  | イ                 | ホ                  | 690                      | A                  | G                 |                    |     |
| SL480PC                | 5                  | イ                 | ホ                  | 680                      | A                  | G                 |                    |     |

## ■ ヤンマー

| トラクタ型式                 | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考                                                  |
|------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------------------------------------------|
|                        | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4S               |                                                      |
|                        |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC71M              |                                                      |
| YT328R (ロプス仕様)         | 3                  | 口                 | ホ                  | 490                      | C                  | G                 | 60                 | 注 1) 最上げ時、トラクタ後部と干渉するため、要上昇規制                        |
| YT328R (キャビン仕様)        | 3                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |                                                      |
| YT333RA<br>(オールラウンド仕様) | 3                  | イ                 | ホ                  | 590                      | A                  | G                 |                    | 注 1) 長いトップリンクへ変更のこと<br>注 2) 最上げ時、トラクタ後部と干渉するため、要上昇規制 |
| YT330R・333R            | 3                  | イ                 | ホ                  | 610                      | A                  | G                 |                    |                                                      |
| YT333RD                | 3                  | イ                 | ホ                  | 580                      | A                  | G                 |                    |                                                      |
| YT338R・345R            | 3                  | イ                 | ホ                  | 620                      | A                  | G                 |                    |                                                      |
| YT338RD・345RD          | 3                  | イ                 | ホ                  | 570                      | A                  | G                 |                    |                                                      |

## ■ 井関農機

| トラクタ型式         | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|----------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|                | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4S               |     |
|                |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC71M              |     |
| BF25D          | 3                  | イ                 | ホ                  | 520                      | C                  | G                 |                    |     |
| BF29D          | 3                  | イ                 | ホ                  | 580                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF32D、35D      | 3                  | イ                 | ホ                  | 560                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF29DC、35DC    | 3                  | イ                 | ホ                  | 550                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF45D          | 4                  | イ                 | ホ                  | 640                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF45DC         | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF50D          | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF50DC         | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT255          | 3                  | イ                 | ホ                  | 520                      | C                  | G                 |                    |     |
| NT335、365(L)   | 3                  | イ                 | ホ                  | 560                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT335C、365(L)C | 3                  | イ                 | ホ                  | 550                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT435          | 4                  | イ                 | ホ                  | 640                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT465、505      | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT465C、505C    | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |

## ■ 三菱マヒンドラ農機

| トラクタ型式     | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考              |
|------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------|
|            | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4S               |                  |
|            |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC71M              |                  |
| GOE25      | 3                  | イ                 | ホ                  | 700                      | A                  | G                 |                    |                  |
| GA302      | 2                  | イ                 | ホ                  | 670                      | A                  | G                 | TC74M              |                  |
| GA332      | 2                  | イ                 | ホ                  | 660                      | A                  | G                 | TC74M              |                  |
| GA362      | 2                  | イ                 | ホ                  | 660                      | A                  | G                 | TC74M              |                  |
| GAK332、362 | 2                  | イ                 | ヘ                  | 650                      | A                  | G                 | TC74M              |                  |
| GA452、502  | 3                  | イ                 | 二                  | 650                      | A                  | G                 | TC74M              |                  |
| GAK452、502 | 3                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | TC74M              |                  |
| GM302      | 3                  | イ                 | ホ                  | 700                      | A                  | G                 |                    |                  |
| GM332      | 3                  | イ                 | ホ                  | 690                      | A                  | G                 |                    |                  |
| GM362      | 3                  | イ                 | ホ                  | 690                      | A                  | G                 |                    |                  |
| GM452      | 5                  | イ                 | 二                  | 500                      | A                  | G                 |                    |                  |
| GM502      | 5                  | イ                 | 二                  | 500                      | A                  | G                 |                    |                  |
| GM502ET    | 5                  | イ                 | 二                  | 510                      | A                  | G                 |                    |                  |
| GJE28      | 2                  | イ                 | ヘ                  | 660                      | C                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL280 |

必要に応じて

トラクタ別装着表

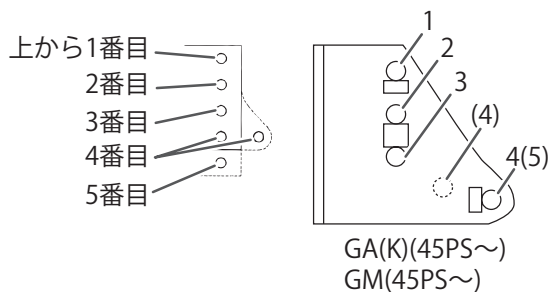
| トラクタ型式     | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考                                                                                     |
|------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|            | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4S               |                                                                                         |
|            |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC71M              |                                                                                         |
| GJE35      | 2                  | イ                 | へ                  | 720                      | C                  | G                 |                    | 最上げ時、<br>ジョイント不<br>等速音発生<br>のため、PTO 切<br>またはアップ<br>オフ PTO 使<br>用のこと<br>クボタ OEM<br>SL350 |
| GJE33K・35K | 4                  | ロ                 | へ                  | 670                      | A                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL33LPC、<br>SL350PC                                                          |

## ■ NEWHOLLAND

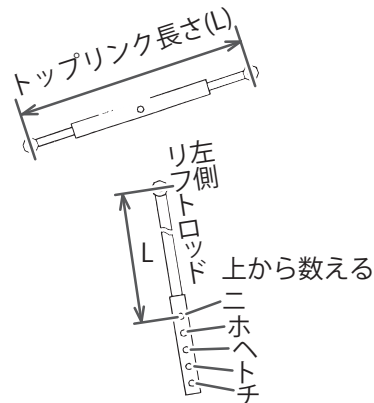
| トラクタ型式 | トラクタ部の調整           |                   |                    |                       | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考              |
|--------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------|
|        | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ (mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4S               |                  |
|        |                    |                   |                    |                       |                    |                   | TC71M              |                  |
| T2.450 | 5                  | イ                 | へ                  | 670                   | A                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL450 |

## S ヒッチ (T-4SDH)

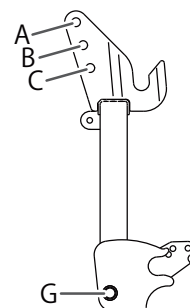
トップリンク取付け穴



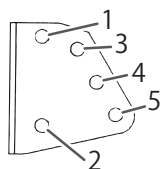
トップリンク・リフトロッド調整



作業機側

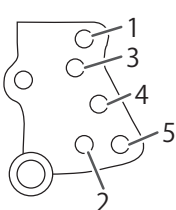


ドラフトなし仕様



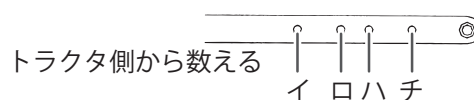
SL (38PS~)  
T2.450  
T2.540

ドラフト仕様



SL (ドラフト仕様)

ロアリンク取付け穴



### クボタ

| トラクタ型式              | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|---------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|                     | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4SDH             |     |
|                     |                    |                   |                    |                          |                    |                   | KHC79M             |     |
|                     |                    |                   |                    |                          |                    |                   |                    |     |
| SL380、410、450       | 5                  | イ                 | へ                  | 670                      | A                  | G                 |                    |     |
| SL380PC、410PC、450PC | 5                  | イ                 | へ                  | 660                      | A                  | G                 |                    |     |
| SL480、540、600       | 5                  | イ                 | ホ                  | 690                      | A                  | G                 |                    |     |
| SL480PC、540PC、600PC | 5                  | イ                 | ホ                  | 680                      | A                  | G                 |                    |     |

### ヤンマー

| トラクタ型式        | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|---------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|               | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4SDH             |     |
|               |                    |                   |                    |                          |                    |                   | KHC79M             |     |
| YT338R・345R   | 3                  | イ                 | ホ                  | 620                      | A                  | G                 |                    |     |
| YT338RD・345RD | 3                  | イ                 | ホ                  | 570                      | A                  | G                 | 50                 |     |
| YT352R        | 3                  | イ                 | ホ                  | 620                      | A                  | G                 |                    |     |
| YT357R        | 3                  | イ                 | ホ                  | 620                      | A                  | G                 |                    |     |
| YT357RD       | 3                  | イ                 | ホ                  | 570                      | A                  | G                 | 50                 |     |

必要に応じて

トラクタ別装着表

## ■ 井関農機

| トラクタ型式           | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|                  | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4SDH             |     |
|                  |                    |                   |                    |                          |                    |                   | KHC79M             |     |
| BF45D            | 4                  | イ                 | ホ                  | 640                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| BF45DC           | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| BF50D            | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| BF55D、60D        | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| BF50DC、55DC、60DC | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| NT435            | 4                  | イ                 | ホ                  | 640                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| NT465、505        | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| NT465C、505C      | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| NT555、605(E)     | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |
| NT555C、605C(E)   | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | 30                 |     |

## ■ 三菱マヒンドラ農機

| トラクタ型式     | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|            | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | T-4SDH             |     |
|            |                    |                   |                    |                          |                    |                   | KHC79M             |     |
| GA452、502  | 3                  | イ                 | ニ                  | 650                      | A                  | G                 |                    |     |
| GAK452、502 | 3                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| GA552      | 3                  | イ                 | ニ                  | 650                      | A                  | G                 |                    |     |
| GAK552     | 3                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| GM452      | 5                  | イ                 | ニ                  | 500                      | A                  | G                 | 70                 |     |
| GM502      | 5                  | イ                 | ニ                  | 500                      | A                  | G                 | 70                 |     |
| GM502ET    | 5                  | イ                 | ニ                  | 510                      | A                  | G                 | 70                 |     |
| GM552      | 5                  | イ                 | ニ                  | 500                      | A                  | G                 | 70                 |     |

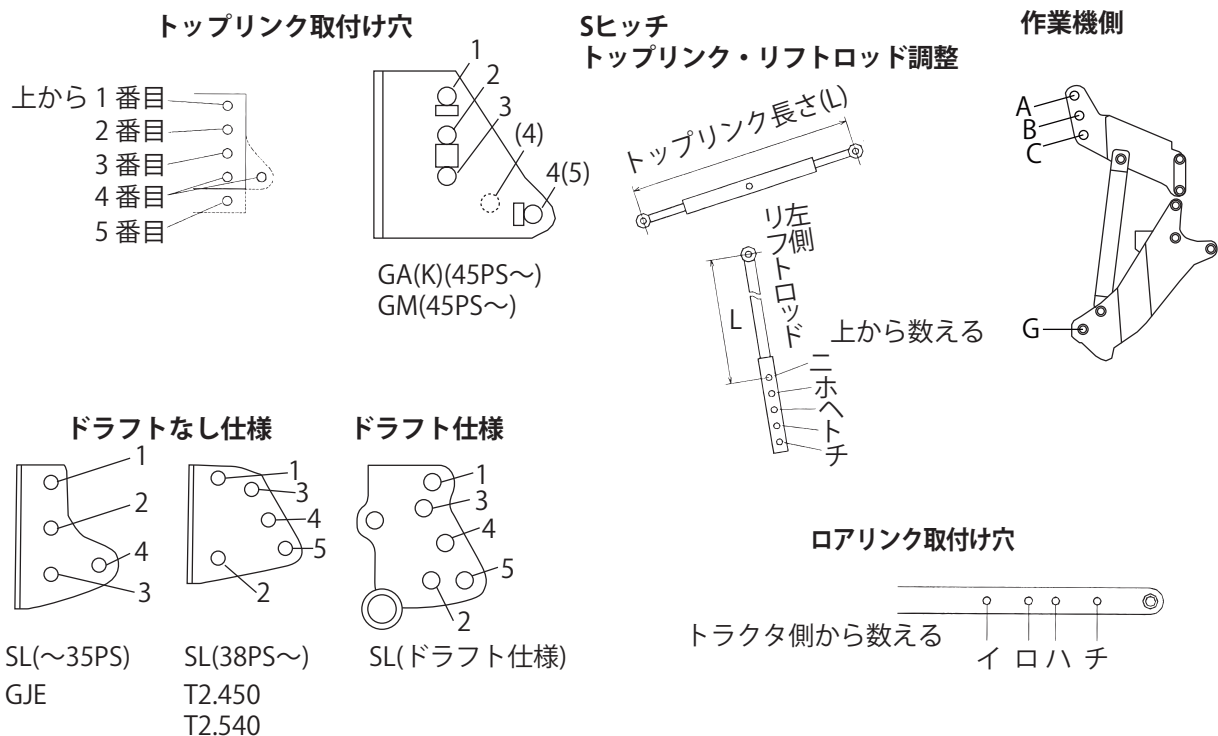
## ■ NEWHOLLAND / Masseyferguson

| トラクタ型式  | トラクタ部の調整           |                   |                    |                       | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考               |
|---------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
|         | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ (mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 |                    |                   |
|         |                    |                   |                    |                       |                    |                   | T-4SDH             |                   |
| T2.450  | 5                  | イ                 | へ                  | 670                   | A                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL450  |
| T2.540  | 5                  | イ                 | ホ                  | 690                   | A                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL540  |
| MF2J60D | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                   | A                  | G                 | 30                 | 井関農機 OEM<br>BF60D |
| MF2855E | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                   | A                  | G                 | 30                 | 井関農機 OEM<br>NT555 |

必要に応じて

トラクタ別装着表

## 直装 (-1S)



### ■ クボタ

| トラクタ型式              | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考                                                                 |
|---------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------|
|                     | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | -1S                |                                                                     |
|                     |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC69               |                                                                     |
| SL280               | 2                  | イ                 | へ                  | 660                      | C                  | G                 |                    |                                                                     |
| SL280PC・320PC       | 2                  | ロ                 | へ                  | 670                      | C                  | G                 |                    |                                                                     |
| SL320・350・33L       | 2                  | イ                 | へ                  | 720                      | C                  | G                 |                    | 最上げ時、<br>ジョイント不<br>等速音発生<br>のため、PTO 切<br>またはアップ<br>オフ PTO 使<br>用のこと |
| SL350PC・33L-PC      | 4                  | ロ                 | へ                  | 670                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                     |
| SL350DPC (ドラフト仕様)   | 5                  | ロ                 | ト                  | 630                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                     |
| SL380・410・450       | 5                  | イ                 | へ                  | 670                      | A                  | G                 |                    |                                                                     |
| SL380PC・410PC・450PC | 5                  | イ                 | へ                  | 660                      | A                  | G                 |                    |                                                                     |
| SL480・540・600       | 5                  | イ                 | ホ                  | 690                      | A                  | G                 |                    |                                                                     |
| SL480PC・540PC・600PC | 5                  | イ                 | ホ                  | 680                      | A                  | G                 |                    |                                                                     |

## ■ ヤンマー

| トラクタ型式          | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考                                              |
|-----------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------------------------------|
|                 | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | -1S                |                                                  |
|                 |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC69               |                                                  |
| YT328R (ロプス仕様)  | 3                  | ロ                 | ホ                  | 490                      | C                  | G                 | 60                 | 最上げ時、トラクタ後部と干渉するため、要上昇規制                         |
| YT328R (キャビン仕様) | 3                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |                                                  |
| YT333RA         | 3                  | イ                 | ホ                  | 590                      | A                  | G                 |                    | 1) 長いトップリンクへ変更のこと<br>2) 最上げ時、トラクタ後部と干渉するため、要上昇規制 |
| YT330R・333R     | 3                  | イ                 | ホ                  | 610                      | A                  | G                 |                    |                                                  |
| YT333RD         | 3                  | イ                 | ホ                  | 580                      | A                  | G                 |                    |                                                  |
| YT338R・345R     | 3                  | イ                 | ホ                  | 620                      | A                  | G                 |                    |                                                  |
| YT338RD・345RD   | 3                  | イ                 | ホ                  | 570                      | A                  | G                 |                    |                                                  |
| YT352R          | 3                  | イ                 | ホ                  | 620                      | A                  | G                 |                    |                                                  |
| YT357R          | 3                  | イ                 | ホ                  | 620                      | A                  | G                 |                    |                                                  |
| YT357RD         | 3                  | イ                 | ホ                  | 570                      | A                  | G                 |                    |                                                  |

## ■ 井関農機

| トラクタ型式           | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|                  | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | -1S                |     |
|                  |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC69               |     |
| BF25D            | 3                  | イ                 | ホ                  | 520                      | C                  | G                 |                    |     |
| BF29D            | 3                  | イ                 | ホ                  | 580                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF32D・35D        | 3                  | イ                 | ホ                  | 560                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF29DC・35DC      | 3                  | イ                 | ホ                  | 550                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF45D            | 4                  | イ                 | ホ                  | 640                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF45DC           | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF50D            | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF55D・60D        | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| BF50DC・55DC・60DC | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT255            | 3                  | イ                 | ホ                  | 520                      | C                  | G                 |                    |     |
| NT335・365 (L)    | 3                  | イ                 | ホ                  | 560                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT335C・365 (L)C  | 3                  | イ                 | ホ                  | 550                      | A                  | G                 |                    |     |

必要に応じて

トラクタ別装着表

| トラクタ型式          | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考 |
|-----------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----|
|                 | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | -1S                |     |
|                 |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC69               |     |
| NT435           | 4                  | イ                 | ホ                  | 640                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT465・505       | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT465C・505C     | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT555・605 (E)   | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |
| NT555C・605C (E) | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 |                    |     |

## ■ 三菱マヒンドラ農機

| トラクタ型式     | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考                                                                                     |
|------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|            | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 | -1S                |                                                                                         |
|            |                    |                   |                    |                          |                    |                   | TC69               |                                                                                         |
| GOE25      | 3                  | イ                 | ホ                  | 700                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GA302      | 2                  | イ                 | ホ                  | 670                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GA332      | 2                  | イ                 | ホ                  | 660                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GA362      | 2                  | イ                 | ホ                  | 660                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GAK332・362 | 2                  | イ                 | ヘ                  | 650                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GA452・502  | 3                  | イ                 | ニ                  | 650                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GAK452・502 | 3                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GA552      | 3                  | イ                 | ニ                  | 650                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GAK552     | 3                  | イ                 | ホ                  | 630                      | A                  | G                 | TC74               |                                                                                         |
| GM302      | 3                  | イ                 | ホ                  | 700                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GM332      | 3                  | イ                 | ホ                  | 690                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GM362      | 3                  | イ                 | ホ                  | 690                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GM452      | 5                  | イ                 | ニ                  | 500                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GM502      | 5                  | イ                 | ニ                  | 500                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GM502ET    | 5                  | イ                 | ニ                  | 510                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GM552      | 5                  | イ                 | ニ                  | 500                      | A                  | G                 |                    |                                                                                         |
| GJE28      | 2                  | イ                 | ヘ                  | 660                      | C                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL280                                                                        |
| GJE35      | 2                  | イ                 | ヘ                  | 720                      | C                  | G                 |                    | 最上げ時、<br>ジョイント不<br>等速音発生<br>のため、PTO 切<br>またはアップ<br>オフ PTO 使<br>用のこと<br>クボタ OEM<br>SL350 |
| GJE33K・35K | 4                  | ロ                 | ヘ                  | 670                      | A                  | G                 | TC74 に変更           | クボタ OEM<br>SL33LPC、<br>SL350PC                                                          |

## ■ NEWHOLLAND / Masseyferguson

| トラクタ型式  | トラクタ部の調整           |                   |                    |                       | 作業機側               |                   | ジョイント<br>切断寸法 (mm) | 備 考               |
|---------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
|         | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ (mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 |                    |                   |
|         |                    |                   |                    |                       |                    |                   |                    |                   |
|         |                    |                   |                    |                       |                    |                   |                    |                   |
| T2.450  | 5                  | イ                 | へ                  | 670                   | A                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL450  |
| T2.540  | 5                  | イ                 | ホ                  | 690                   | A                  | G                 |                    | クボタ OEM<br>SL540  |
| MF2J60D | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                   | A                  | G                 |                    | 井関農機 OEM<br>BF60D |
| MF2855E | 4                  | イ                 | ホ                  | 630                   | A                  | G                 |                    | 井関農機 OEM<br>NT555 |

必要に応じて

トラクタ別装着表

## クボタ W3P、シングル A フレーム用トラクタ装着表

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、この作業機のトラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お問い合わせの販売店へお問い合わせください。

### ⚠ 注意



装着表記載の寸法からトップリンク長などを変更する場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

必ず実行

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



OS 規格の作業機を装着する場合は、作業機のガイドカラーとトップマストカラーを取外し、トラクタ付属の延長シャフトを作業機の入力軸に取付けてください。

必ず実行

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



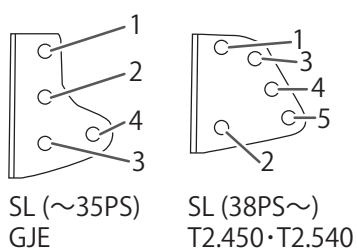
純正ロータリを装着する場合は、必ずジョイントホルダと 5P オート金具の位置を変更し、トップリンク長を正規寸法へ戻してください。

必ず実行

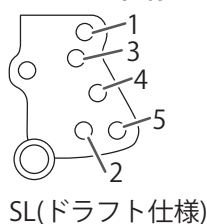
\* ケガ・破損につながる恐れがあります。

### トップリンク取付け穴

#### W3P使用時 ドラフトなし仕様

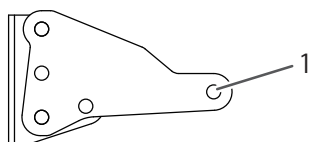


#### ドラフト仕様

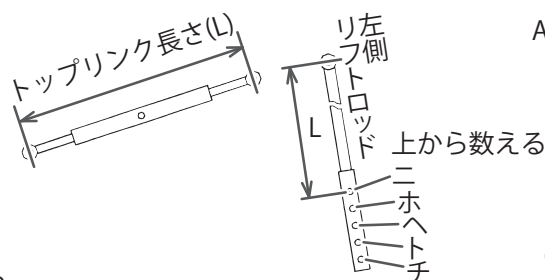


SL(ドラフト仕様)

### シングルAフレーム使用時



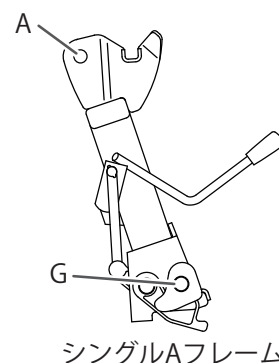
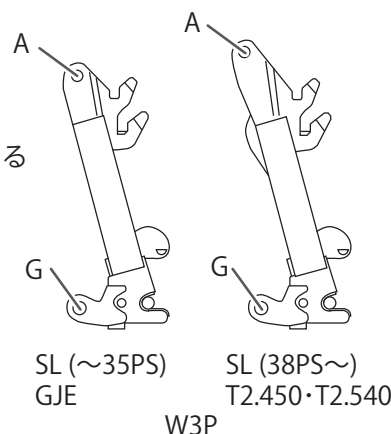
### トップリンク・リフトロッド調整



### ロアリンク取付け穴



### 作業機側



シングルAフレーム

## クボタ／三菱マヒンドラ農機／ NEWHOLLAND クボタシングル A フレーム (-U)

### ■ クボタ

| トラクタ型式              | トラクタ部の調整       |               |                |                      | 作業機側           |               | 備 考              |
|---------------------|----------------|---------------|----------------|----------------------|----------------|---------------|------------------|
|                     | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ<br>(mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                  |
| SL280               | 1              | □             | 二              | 255                  | A              | G             | ターンバックル長さ：290 mm |
| SL280PC・320PC       | 1              | ハ             | ホ              | 260                  | A              | G             | ターンバックル長さ：260 mm |
| SL320・350・33L       | 1              | □             | ホ              | 255                  | A              | G             | ターンバックル長さ：280 mm |
| SL350PC・33L-PC      | 1              | ハ             | 二              | 265                  | A              | G             | ターンバックル長さ：275 mm |
| SL350DPC (ドラフト仕様)   | 1              | □             | ホ              | 265                  | A              | G             | ターンバックル長さ：275 mm |
| SL380・410・450       | 1              | □             | ホ              | 235                  | A              | G             | ターンバックル長さ：275 mm |
| SL380PC・410PC・450PC | 1              | □             | ホ              | 250                  | A              | G             | ターンバックル長さ：265 mm |
| SL480・540・600       | 1              | ハ             | ホ              | 235                  | A              | G             | ターンバックル長さ：265 mm |
| SL480PC・540PC・600PC | 1              | □             | ホ              | 260                  | A              | G             | ターンバックル長さ：255 mm |

### ■ 三菱マヒンドラ農機

| トラクタ型式     | トラクタ部の調整       |               |                |                   | 作業機側           |               | 備 考                                             |
|------------|----------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|---------------|-------------------------------------------------|
|            | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ (mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                                                 |
| GJE28      | 1              | □             | 二              | 255               | A              | G             | ターンバックル長さ：290 mm<br>クボタ OEM<br>SL280            |
| GJE35      | 1              | □             | ホ              | 255               | A              | G             | ターンバックル長さ：280 mm<br>クボタ OEM<br>SL350            |
| GJE33K・35K | 1              | ハ             | 二              | 265               | A              | G             | ターンバックル長さ：275 mm<br>クボタ OEM<br>SL33L-PC、SL350PC |

### ■ NEWHOLLAND

| トラクタ型式 | トラクタ部の調整       |               |                |                   | 作業機側           |               | 備 考                                  |
|--------|----------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|---------------|--------------------------------------|
|        | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ (mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                                      |
| T2.450 | 1              | □             | ホ              | 235               | A              | G             | ターンバックル長さ：275 mm<br>クボタ OEM<br>SL450 |
| T2.540 | 1              | ハ             | ホ              | 235               | A              | G             | ターンバックル長さ：265 mm<br>クボタ OEM<br>SL540 |

必要に応じて

トラクタ別装着表

## クボタ／三菱マヒンドラ農機／ NEWHOLLAND W3P (-U)

### ■ クボタ

| トラクタ型式              | トラクタ部の調整       |               |                |                      | 作業機側           |               | 備 考              |
|---------------------|----------------|---------------|----------------|----------------------|----------------|---------------|------------------|
|                     | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ<br>(mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                  |
| SL280               | 4              | □             | 二              | 550                  | A              | G             | ターンバックル長さ：290 mm |
| SL280PC・320PC       | 4              | □             | 二              | 580                  | A              | G             | ターンバックル長さ：280 mm |
| SL320・350・33L       | 4              | イ             | 二              | 605                  | A              | G             | ターンバックル長さ：295 mm |
| SL350PC・33L-PC      | 4              | □             | 二              | 630                  | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm |
| SL350DPC (ドラフト仕様)   | 5              | □             | 二              | 590                  | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm |
| SL380・410・450       | 5              | イ             | 二              | 615                  | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm |
| SL380PC・410PC・450PC | 5              | イ             | 二              | 615                  | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm |
| SL480・540・600       | 5              | イ             | 二              | 635                  | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm |
| SL480PC・540PC・600PC | 5              | イ             | 二              | 660                  | A              | G             | ターンバックル長さ：250 mm |

### ■ 三菱マヒンドラ農機

| トラクタ型式     | トラクタ部の調整       |               |                |                   | 作業機側           |               | 備 考                                             |
|------------|----------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|---------------|-------------------------------------------------|
|            | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ (mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                                                 |
| GJE28      | 4              | □             | 二              | 550               | A              | G             | ターンバックル長さ：290 mm<br>クボタ OEM<br>SL280            |
| GJE35      | 4              | イ             | 二              | 605               | A              | G             | ターンバックル長さ：295 mm<br>クボタ OEM<br>SL350            |
| GJE33K・35K | 4              | □             | 二              | 630               | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm<br>クボタ OEM<br>SL33L-PC、SL350PC |

### ■ NEWHOLLAND

| トラクタ型式 | トラクタ部の調整       |               |                |                   | 作業機側           |               | 備 考                                  |
|--------|----------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|---------------|--------------------------------------|
|        | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ (mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                                      |
| T2.450 | 5              | イ             | 二              | 615               | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm<br>クボタ OEM<br>SL450 |
| T2.540 | 5              | イ             | 二              | 635               | A              | G             | ターンバックル長さ：270 mm<br>クボタ OEM<br>SL540 |

## クボタ／三菱マヒンドラ農機／ NEWHOLLAND W3P (-0S)

### ■ クボタ

| トラクタ型式              | トラクタ部の調整       |               |                |                      | 作業機側           |               | 備 考                                         |
|---------------------|----------------|---------------|----------------|----------------------|----------------|---------------|---------------------------------------------|
|                     | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ<br>(mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                                             |
| SL280               | 4              | □             | 二              | 670                  | A              | G             | 最上げ時、ジョイント不等速音発生のため、PTO 切またはアップオフ PTO 使用のこと |
| SL280PC・320PC       | 4              | □             | 二              | 690                  | A              | G             |                                             |
| SL320・350・33L       | 4              | イ             | 二              | 740                  | A              | G             | 最上げ時、ジョイント不等速音発生のため、PTO 切またはアップオフ PTO 使用のこと |
| SL350PC・33L-PC      | 4              | □             | 二              | 730                  | A              | G             |                                             |
| SL350DPC (ドラフト仕様)   | 5              | □             | 二              | 690                  | A              | G             |                                             |
| SL380・410・450       | 5              | イ             | 二              | 720                  | A              | G             |                                             |
| SL380PC・410PC・450PC | 5              | イ             | 二              | 720                  | A              | G             |                                             |
| SL480・540・600       | 5              | イ             | 二              | 740                  | A              | G             |                                             |
| SL480PC・540PC・600PC | 5              | イ             | 二              | 730                  | A              | G             |                                             |

### ■ 三菱マヒンドラ農機

| トラクタ型式     | トラクタ部の調整       |               |                |                   | 作業機側           |               | 備 考                                                             |
|------------|----------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|---------------|-----------------------------------------------------------------|
|            | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ (mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                                                                 |
| GJE28      | 4              | □             | 二              | 670               | A              | G             | 最上げ時、ジョイント不等速音発生のため、PTO 切またはアップオフ PTO 使用のこと<br>クボタ OEM<br>SL280 |
| GJE35      | 4              | イ             | 二              | 740               | A              | G             | 最上げ時、ジョイント不等速音発生のため、PTO 切またはアップオフ PTO 使用のこと<br>クボタ OEM<br>SL350 |
| GJE33K・35K | 4              | □             | 二              | 730               | A              | G             | クボタ OEM<br>SL33L-PC、SL350PC                                     |

### ■ NEWHOLLAND

| トラクタ型式 | トラクタ部の調整       |               |                |                   | 作業機側           |               | 備 考              |
|--------|----------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|---------------|------------------|
|        | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフトロッド<br>取付け穴 | トップリンク<br>長さ (mm) | トップリンク<br>取付け穴 | ヒッチピン<br>取付け穴 |                  |
| T2.450 | 5              | イ             | 二              | 720               | A              | G             | クボタ OEM<br>SL450 |
| T2.540 | 5              | イ             | 二              | 740               | A              | G             | クボタ OEM<br>SL540 |

必要に応じて

トラクタ別装着表

## ヤンマークイック用トラクタ装着表

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、この作業機のトラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お問い合わせの販売店へお問い合わせください。

### ⚠ 注意



必ず実行

装着表記載の寸法からトップリンク長などを変更する場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



必ず実行

OS 規格の作業機を装着する場合は、作業機のガイドカラーとトップマストカラーを取外してください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



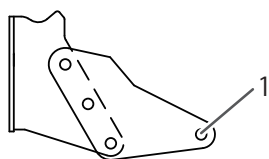
必ず実行

純正ロータリを装着する場合は、必ずトップリンク長を正規寸法へ戻してください。

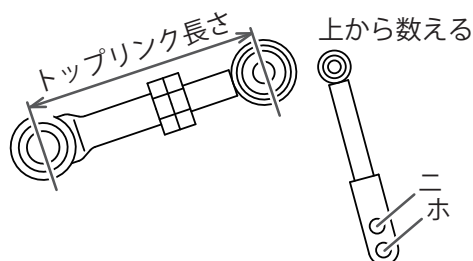
\* ケガ・破損につながる恐れがあります。

## ヤンマークイック (-T)

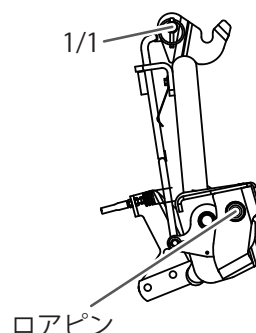
トップリンク取付け穴



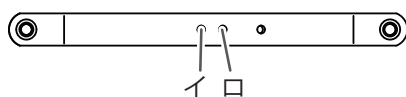
トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴

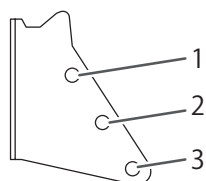


トラクタ側から数える

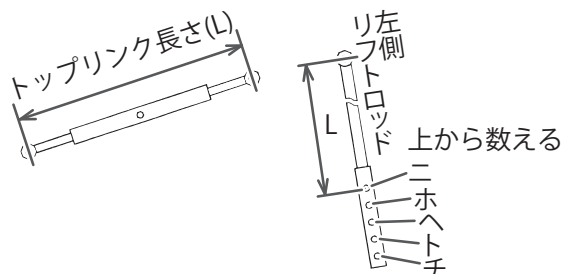
| トラクタ型式          | トラクタ部の調整   |           |            |               | 作業機側       |           | 備 考                                                 |
|-----------------|------------|-----------|------------|---------------|------------|-----------|-----------------------------------------------------|
|                 | トップリンク取付け穴 | ロアリンク取付け穴 | リフトロッド取付け穴 | トップリンク長さ (mm) | トップリンク取付け穴 | ヒッチピン取付け穴 |                                                     |
| YT328R (ロプス仕様)  | 1          | ハ         | 二          | 230           | 1/1        | ロアピン      | ターンバックル長さ: 300 mm                                   |
| YT328R (キャビン仕様) | 1          | 口         | 二          | 230           | 1/1        | ロアピン      | ターンバックル長さ: 315 mm                                   |
| YT333RA         | 1          | 口         | 二          | 250           | 1/1        | ロアピン      | 1) 最上げ時、トラクタ後部と干渉するため、要上昇規制<br>2) ターンバックル長さ: 290 mm |
| YT330R・333R     | 1          | 口         | 二          | 250           | 1/1        | ロアピン      | ターンバックル長さ: 280 mm                                   |
| YT333RD         | 1          | 口         | 二          | 250           | 1/1        | ロアピン      | ターンバックル長さ: 265 mm                                   |

## ヤンマークイック (-0S)

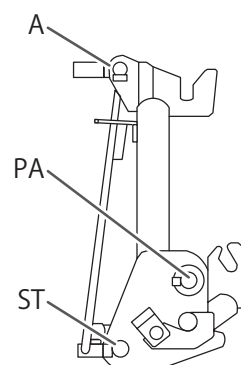
トップリンク取付け穴



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロalink取付け穴



トラクタ側から数える

| トラクタ型式<br>ヤンマークイック (-0S) | トラクタ部の調整           |                   |                    |                          | 作業機側               |                   | 備 考 |
|--------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|-----|
|                          | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ロア<br>リンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 |     |
| YT328R (ロプス仕様)           | 3                  | ロ                 | 二                  | 390                      | A                  | PA                |     |
| YT328R (キャビン仕様)          | 3                  | イ                 | 二                  | 490                      | A                  | PA                |     |
| YT333RA                  | 3                  | イ                 | 二                  | 460                      | A                  | PA                |     |
| YT330R・333R              | 3                  | イ                 | 二                  | 470                      | A                  | PA                |     |
| YT333RD                  | 3                  | イ                 | 二                  | 460                      | A                  | PA                |     |
| YT338R                   | 3                  | イ                 | 二                  | 500                      | A                  | PA                |     |
| YT338RD                  | 3                  | イ                 | 二                  | 450                      | A                  | PA                |     |
| YT345R                   | 3                  | イ                 | 二                  | 500                      | A                  | PA                |     |
| YT345RD                  | 3                  | イ                 | 二                  | 450                      | A                  | PA                |     |
| YT352R                   | 3                  | イ                 | 二                  | 500                      | A                  | PA                |     |
| YT357R                   | 3                  | イ                 | 二                  | 500                      | A                  | PA                |     |
| YT357RD                  | 3                  | イ                 | 二                  | 450                      | A                  | PA                |     |

必要に応じて

トラクタ別装着表

## 井関 D ヒッチ／PD ヒッチ用トラクタ装着表

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、この作業機のトラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

### ⚠ 注意



必ず実行

装着表記載の寸法からトップリンク長などを変更する場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



必ず実行

OS 規格の作業機を装着する場合は、必ずオートヒッチのジョイントホルダ位置を一般作業機用の位置へ変更してください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



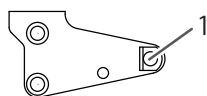
必ず実行

純正ロータリを装着する場合は、必ずジョイントホルダとトップリンク長を正規寸法へ戻してください。

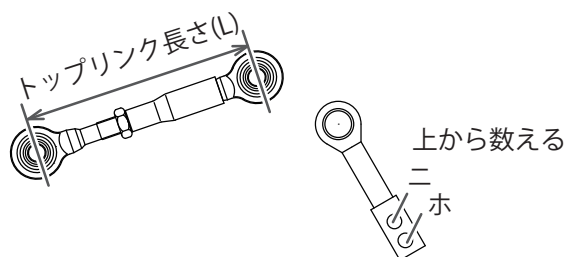
\* ケガ・破損につながる恐れがあります。

### 井関 D ヒッチ (-S)

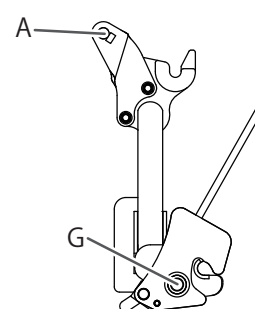
トップリンク取付け穴



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴

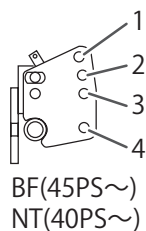


トラクタ側から数える

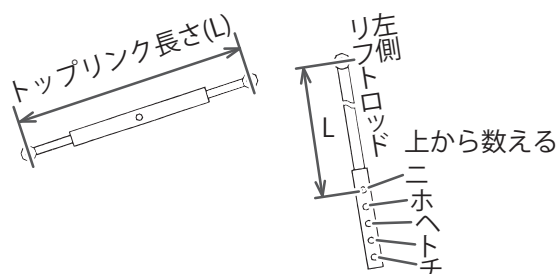
| トラクタ型式          | トラクタ部の調整   |           |            |              | 作業機側       |           | 備 考              |
|-----------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|-----------|------------------|
|                 | トップリンク取付け穴 | ロアリンク取付け穴 | リフトロッド取付け穴 | トップリンク長さ(mm) | トップリンク取付け穴 | ヒッチピン取付け穴 |                  |
| BF25D           | 1          | □         | 二          | 265          | A          | G         | ターンバックル長さ：255 mm |
| BF29D           | 1          | □         | 二          | 265          | A          | G         | ターンバックル長さ：270 mm |
| BF32D・35D       | 1          | □         | 二          | 265          | A          | G         | ターンバックル長さ：260 mm |
| BF29DC・35DC     | 1          | □         | 二          | 265          | A          | G         | ターンバックル長さ：255 mm |
| NT255           | 1          | □         | 二          | 265          | A          | G         | ターンバックル長さ：255 mm |
| NT335・365 (L)   | 1          | □         | 二          | 265          | A          | G         | ターンバックル長さ：260 mm |
| NT335C・365 (L)C | 1          | □         | 二          | 265          | A          | G         | ターンバックル長さ：255 mm |

## 井関 PD ヒッチ (-0S)

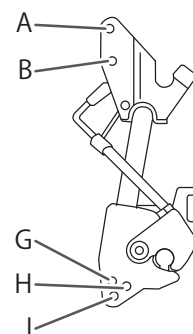
トップリンク取付け穴



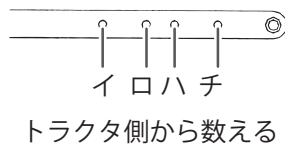
トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴



| トラクタ型式          | トラクタ部の調整   |           |            |              | 作業機側       |           | 備 考 |
|-----------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|-----------|-----|
|                 | トップリンク取付け穴 | ロアリンク取付け穴 | リフトロッド取付け穴 | トップリンク長さ(mm) | トップリンク取付け穴 | ヒッチピン取付け穴 |     |
| BF25D           | 3          | ロ         | ホ          | 560          | A          | G         |     |
| BF29D           | 3          | ロ         | ホ          | 580          | A          | I         |     |
| BF32D・35D       | 3          | ロ         | ホ          | 560          | A          | I         |     |
| BF29DC・35DC     | 3          | ロ         | ホ          | 550          | A          | I         |     |
| BF45D           | 4          | イ         | 二          | 620          | A          | H         |     |
| BF45DC          | 4          | イ         | 二          | 610          | A          | H         |     |
| NT255           | 3          | ロ         | ホ          | 560          | A          | G         |     |
| NT335・365 (L)   | 3          | ロ         | ホ          | 560          | A          | I         |     |
| NT335C・365 (L)C | 3          | ロ         | ホ          | 550          | A          | I         |     |
| NT435           | 4          | イ         | 二          | 620          | A          | H         |     |
| NT465           | 4          | イ         | 二          | 610          | A          | H         |     |
| NT465C          | 4          | イ         | 二          | 610          | A          | H         |     |

必要に応じて

トラクタ別装着表

## 三菱スーパーヒッチ／デュアルヒッチ用トラクタ装着表

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、この作業機のトラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お問い合わせの求めの販売店へお問い合わせください。

### ⚠ 注意



必ず実行

装着表記載の寸法からトップリンク長などを変更する場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



必ず実行

05 規格の作業機を装着する場合は、作業機のガイドカラーとトップマストカラー、入力軸カバーを取外してください。また、デュアルヒッチの場合はトラクタ付属の延長シャフトを作業機の入力軸に取付けてください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。



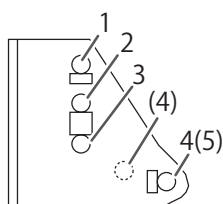
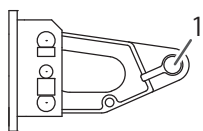
必ず実行

純正ロータリを装着する場合は、必ずトップリンク長を正規寸法へ戻してください。また、デュアルヒッチの場合はフック組付け位置、ロアリンクピン取付け位置を正規の位置に戻してください。

\* ケガ・破損につながる恐れがあります。

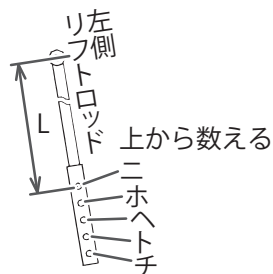
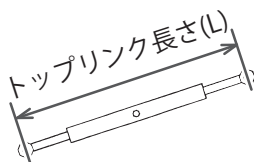
## 三菱スーパーヒッチ (-MU)

トップリンク取付け穴

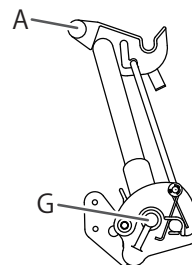


GAK332・362だけ

トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴

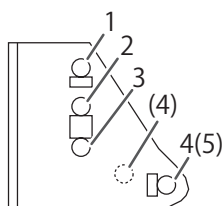


トラクタ側から数える

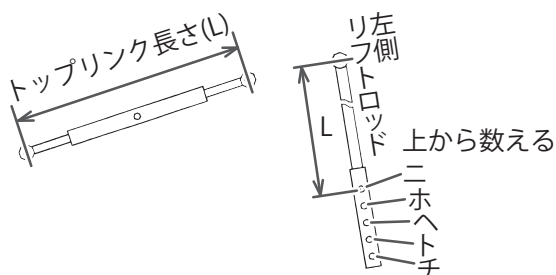
| トラクタ型式     | トラクタ部の調整       |               |                    |                          | 作業機側               |                   | 備 考              |
|------------|----------------|---------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|------------------|
|            | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 |                  |
| GOE25      | 1              | □             | 二                  | 254                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：270 mm |
| GA302      | 1              | □             | 二                  | 259                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：270 mm |
| GA332      | 1              | □             | 二                  | 259                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：265 mm |
| GA362      | 1              | □             | 二                  | 259                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：265 mm |
| GAK332・362 | 3              | イ             | へ                  | 565                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：255 mm |
| GM302      | 1              | □             | 二                  | 254                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：255 mm |
| GM332      | 1              | □             | 二                  | 254                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：250 mm |
| GM362      | 1              | □             | 二                  | 254                      | A                  | G                 | ターンバックル長さ：250 mm |

## 三菱スーパーヒッチ (-0S)

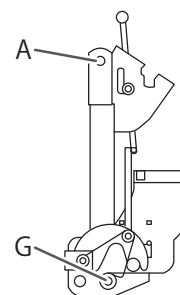
トップリンク取付け穴



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴



トラクタ側から数える

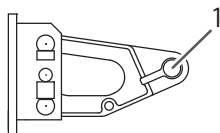
| トラクタ型式     | トラクタ部の調整       |               |                    |                          | 作業機側               |                   | 備 考 |
|------------|----------------|---------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|-----|
|            | トップリンク<br>取付け穴 | ロアリンク<br>取付け穴 | リフト<br>ロッド<br>取付け穴 | トップ<br>リンク<br>長さ<br>(mm) | トップ<br>リンク<br>取付け穴 | ヒッチ<br>ピン<br>取付け穴 |     |
| GA452、502  | 4              | イ             | 二                  | 490                      | A                  | G                 |     |
| GAK452、502 | 4              | イ             | 二                  | 490                      | A                  | G                 |     |
| GA552      | 4              | イ             | 二                  | 490                      | A                  | G                 |     |
| GAK552     | 4              | イ             | 二                  | 490                      | A                  | G                 |     |
| GM452      | 5              | イ             | 二                  | 440                      | A                  | G                 |     |
| GM502      | 5              | イ             | 二                  | 440                      | A                  | G                 |     |
| GM502ET    | 5              | イ             | 二                  | 440                      | A                  | G                 |     |
| GM552      | 5              | イ             | 二                  | 440                      | A                  | G                 |     |

必要に応じて

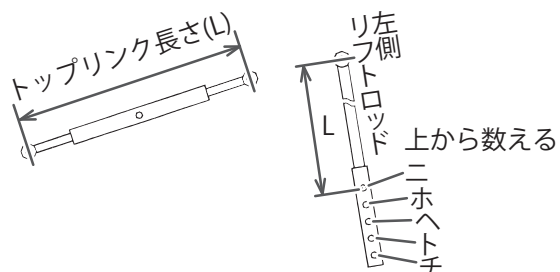
トラクタ別装着表

## 三菱デュアルヒッチ (-MU)

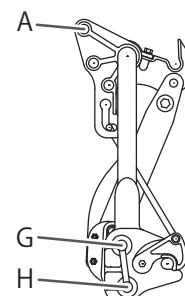
トップリンク取付け穴



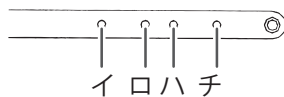
トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴

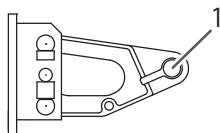


トラクタ側から数える

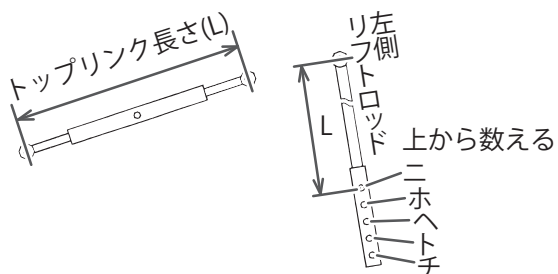
| トラクタ型式 | トラクタ部の調整   |           |            |              | 作業機側       |           | 備 考              |
|--------|------------|-----------|------------|--------------|------------|-----------|------------------|
|        | トップリンク取付け穴 | ロアリンク取付け穴 | リフトロッド取付け穴 | トップリンク長さ(mm) | トップリンク取付け穴 | ヒッチピン取付け穴 |                  |
| GOE25  | 1          | □         | ホ          | 370          | A          | H         | ターンバックル長さ：280 mm |
| GA302  | 1          | □         | ホ          | 390          | A          | H         | ターンバックル長さ：255 mm |
| GA332  | 1          | □         | ホ          | 390          | A          | H         | ターンバックル長さ：250 mm |
| GA362  | 1          | □         | ホ          | 390          | A          | H         | ターンバックル長さ：250 mm |
| GM302  | 1          | □         | ホ          | 370          | A          | H         | ターンバックル長さ：270 mm |
| GM332  | 1          | □         | ホ          | 370          | A          | H         | ターンバックル長さ：260 mm |
| GM362  | 1          | □         | ホ          | 370          | A          | H         | ターンバックル長さ：260 mm |

## 三菱デュアルヒッチ (-0S)

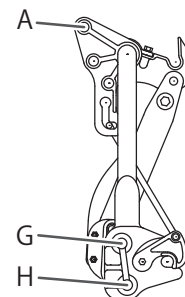
トップリンク取付け穴



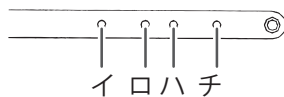
トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴



トラクタ側から数える

| トラクタ型式 | トラクタ部の調整   |           |            |              | 作業機側       |           | 備 考 |
|--------|------------|-----------|------------|--------------|------------|-----------|-----|
|        | トップリンク取付け穴 | ロアリンク取付け穴 | リフトロッド取付け穴 | トップリンク長さ(mm) | トップリンク取付け穴 | ヒッチピン取付け穴 |     |
| GOE25  | 1          | □         | ホ          | 410          | A          | G         |     |
| GA302  | 1          | □         | ホ          | 400          | A          | G         |     |
| GA332  | 1          | □         | ホ          | 390          | A          | G         |     |
| GA362  | 1          | □         | ホ          | 390          | A          | G         |     |
| GM302  | 1          | □         | ホ          | 400          | A          | G         |     |
| GM332  | 1          | □         | ホ          | 390          | A          | G         |     |
| GM362  | 1          | □         | ホ          | 390          | A          | G         |     |

必要に応じて

トラクタ別装着表

# フロントウエイト装着表

作業機装着の際、トラクタ型式および装着方式によりフロントウエイトが必要になります。

必ず、必要枚数、および重量をご確認の上、ご購入先にご相談ください。

枚数はキャビン仕様のフロントウエイト枚数を示します。ロプス仕様は（）内を参照してください。

※トラクタ型式によっては、オプションウエイト台が必要になります。詳しくはご購入先にご相談ください。

（）枚数はロプス仕様、“-”はフロントウエイト不要になります。

## ■ クボタ

| トラクタ型式              | ウエイト必要枚数             |                         |                  |                         |                       |              |              |              |
|---------------------|----------------------|-------------------------|------------------|-------------------------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
|                     | KOBASHI S ヒッチ (T-4S) |                         |                  |                         | KOBASHI S ヒッチ (T-4SD) |              |              |              |
|                     | 753H<br>(HJ)         | 753F<br>(FJ)            | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)            | 753H<br>(HJ)          | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) |
| SL280               | 25 kg × 2<br>※ 1     | 25 kg × 3<br>(2)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 3<br>※ 1        |                       |              |              |              |
| SL280PC・320PC       | 25 kg × 2<br>(3)     | 25 kg × 3               | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 3               |                       |              |              |              |
| SL320・350・33L       | 25 kg × 2<br>※ 1     | 25 kg × 3<br>※ 1        | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 3<br>(2)<br>※ 1 |                       |              |              |              |
| SL350PC・33L-PC      | 25 kg × 2            | 25 kg × 3               | 25 kg × 2        | 25 kg × 3               |                       |              |              |              |
| SL350DPC            | 25 kg × 2            | 25 kg × 2<br>(3)        | 25 kg × 2        | 25 kg × 3               |                       |              |              |              |
| SL380・410・450       | -                    | -                       | -                | -                       | -                     | -            | -            | -            |
| SL380PC・410PC・450PC | -                    | -                       | -                | -                       | -                     | -            | -            | -            |
| SL480               | -                    | -                       | -                | -                       | -                     | -            | -            | -            |
| SL480PC             | -                    | -                       | -                | -                       | -                     | -            | -            | -            |
| SL540・600           |                      |                         |                  |                         | -                     | -            | -            | -            |
| SL540PC・600PC       |                      |                         |                  |                         | -                     | -            | -            | -            |

※ 1 別途トラクタオプションのウエイト台（4枚用）が必要です。

| トラクタ型式              | ウエイト必要枚数                |                  |                         |                         |                         |                  |                         |                  |
|---------------------|-------------------------|------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|-------------------------|------------------|
|                     | KOBASHI 直送 (-1S)        |                  |                         |                         | クボタ A フレーム (-U)         |                  |                         |                  |
|                     | 753H (HJ)               | 753F (FJ)        | 853H (HJ)               | 853F (FJ)               | 753H (HJ)               | 753F (FJ)        | 853H (HJ)               | 853F (FJ)        |
| SL280               | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 |
| SL280PC・320PC       | 25 kg × 2               | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 2               | 25 kg × 3               | 25 kg × 2               | 25 kg × 3        | 25 kg × 2               | 25 kg × 3        |
| SL320・350・33L       | 25 kg × 1<br>※ 1        | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1        | 25 kg × 1<br>※ 1        | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 |
| SL350PC・33L-PC      | 25 kg × 1<br>(2)        | 25 kg × 2        | 25 kg × 2               | 25 kg × 2<br>(3)        | 25 kg × 2               | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 2               | 25 kg × 3        |
| SL350DPC            | 25 kg × 1<br>(2)        | 25 kg × 2        | 25 kg × 2               | 25 kg × 2<br>(3)        | 25 kg × 2               | 25 kg × 3        | 25 kg × 2               | 25 kg × 3        |
| SL380・410・450       | -                       | -                | -                       | -                       | -                       | -                | -                       | -                |
| SL380PC・410PC・450PC | -                       | -                | -                       | -                       | -                       | -                | -                       | -                |
| SL480               | -                       | -                | -                       | -                       | -                       | -                | -                       | -                |
| SL480PC             | -                       | -                | -                       | -                       | -                       | -                | -                       | -                |
| SL540・600           | -                       | -                | -                       | -                       | -                       | -                | -                       | -                |
| SL540PC・600PC       | -                       | -                | -                       | -                       | -                       | -                | -                       | -                |

※ 1 別途トラクタオプションのウエイト台（4 枚用）が必要です。

| トラクタ型式              | ウエイト必要枚数                |                         |                  |                         |                         |                  |                  |                         |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|------------------|-------------------------|
|                     | W3P (-U)                |                         |                  |                         | W3P (-OS)               |                  |                  |                         |
|                     | 753H (HJ)               | 753F (FJ)               | 853H (HJ)        | 853F (FJ)               | 753H (HJ)               | 753F (FJ)        | 853H (HJ)        | 853F (FJ)               |
| SL280               | 25 kg × 3<br>※ 1        | 25 kg × 4<br>(3)<br>※ 1 | 25 kg × 3<br>※ 1 | 25 kg × 4<br>(3)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 3<br>(2)<br>※ 1 |
| SL280PC・320PC       | 25 kg × 3               | 25 kg × 4               | 25 kg × 3<br>(4) | 25 kg × 4               | 25 kg × 2               | 25 kg × 3        | 25 kg × 2        | 25 kg × 3               |
| SL320・350・33L       | 25 kg × 3<br>(2)<br>※ 1 | 25 kg × 3<br>※ 1        | 25 kg × 3<br>※ 1 | 25 kg × 4<br>(3)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 2<br>※ 1 | 25 kg × 3<br>(2)<br>※ 1 |
| SL350PC・33L-PC      | 25 kg × 3               | 25 kg × 4               | 25 kg × 3<br>(4) | 25 kg × 4               | 25 kg × 2               | 25 kg × 3        | 25 kg × 2        | 25 kg × 3               |
| SL350DPC            | 25 kg × 3               | 25 kg × 3<br>(4)        | 25 kg × 3        | 25 kg × 4               | 25 kg × 2               | 25 kg × 2        | 25 kg × 2        | 25 kg × 2<br>(3)        |
| SL380・410・450       | -                       | -<br>(25 kg × 1)        | -                | -<br>(25 kg × 1)        | -                       | -                | -                | -                       |
| SL380PC・410PC・450PC | -                       | -                       | -                | -                       | -                       | -                | -                | -                       |
| SL480               | -                       | -                       | -                | -                       | -                       | -                | -                | -                       |
| SL480PC             | -                       | -                       | -                | -                       | -                       | -                | -                | -                       |
| SL540・600           | -                       | -                       | -                | -                       | -                       | -                | -                | -                       |
| SL540PC・600PC       | -                       | -                       | -                | -                       | -                       | -                | -                | -                       |

※ 1 別途トラクタオプションのウエイト台（4 枚用）が必要です。

必要に応じて

フロントウエイト装着表

## ■ ヤンマー

| トラクタ型式        | ウエイト必要枚数             |                  |                  |                  |                       |              |                  |              |
|---------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|--------------|------------------|--------------|
|               | KOBASHI S ヒッチ (T-4S) |                  |                  |                  | KOBASHI S ヒッチ (T-4SD) |              |                  |              |
|               | 753H<br>(HJ)         | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     | 753H<br>(HJ)          | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ) |
| YT328R        | -<br>(30 kg × 1)     | 30 kg × 1        | -<br>(30 kg × 1) | 30 kg × 1        |                       |              |                  |              |
| YT333RA       | -<br>(30 kg × 1)     | -<br>(30 kg × 1) | -<br>(30 kg × 1) | 30 kg × 1        |                       |              |                  |              |
| YT330R・333R   | -<br>(30 kg × 1)     | 30 kg × 1        | 30 kg × 1        | 30 kg × 1<br>(2) |                       |              |                  |              |
| YT333RD       | 30 kg × 3            | 30 kg × 3<br>(4) | 30 kg × 3        | 30 kg × 3<br>(4) |                       |              |                  |              |
| YT338R・345R   | -                    | -                | -                | -                | -                     | -            | -                | -            |
| YT338RD・345RD | 30 kg × 1<br>(2)     | 30 kg × 2        | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2        | 30 kg × 1<br>(2)      | 30 kg × 2    | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2    |
| YT352R        |                      |                  |                  |                  | -                     | -            | -                | -            |
| YT357R        |                      |                  |                  |                  | -                     | -            | -                | -            |
| YT357RD       |                      |                  |                  |                  | -                     | (30 kg × 1)  | -                | (30 kg × 1)  |

| トラクタ型式        | ウエイト必要枚数         |                  |                  |                  |               |                  |              |                  |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|------------------|--------------|------------------|
|               | KOBASHI 直送 (-1S) |                  |                  |                  | ヤンマークイック (-T) |                  |              |                  |
|               | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     | 753H<br>(HJ)  | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ)     |
| YT328R        | -                | -<br>(30 kg × 1) | -                | -<br>(30 kg × 1) | -             | 30 kg × 1<br>(-) | -            | 30 kg × 1<br>(-) |
| YT333RA       | -                | (30 kg × 1)      | -                | (30 kg × 1)      | (30 kg × 1)   | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1    | 30 kg × 1<br>(2) |
| YT330R・333R   | (30 kg × 1)      | (30 kg × 1)      | (30 kg × 1)      | 30 kg × 1        | (30 kg × 1)   | 30 kg × 1        | (30 kg × 1)  | 30 kg × 1<br>(2) |
| YT333RD       | 30 kg × 2<br>(3) | 30 kg × 3        | 30 kg × 2<br>(3) | 30 kg × 3        | 30 kg × 3     | 30 kg × 3<br>(4) | 30 kg × 3    | 30 kg × 3<br>(4) |
| YT338R・345R   | -                | -                | -                | -                |               |                  |              |                  |
| YT338RD・345RD | 30 kg × 1        | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2        |               |                  |              |                  |
| YT352R        | -                | -                | -                | -                |               |                  |              |                  |
| YT357R        | -                | -                | -                | -                |               |                  |              |                  |
| YT357RD       | -                | -                | -                | -                |               |                  |              |                  |

| トラクタ型式      | ウエイト必要枚数         |                  |                  |                  |
|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|             | ヤンマークイック (-0S)   |                  |                  |                  |
|             | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     |
| YT328R      | -                | -                | -                | -                |
| YT333RA     | -                | -                | -                | (30 kg × 1)      |
| YT330R・333R | (30 kg × 1)      | (30 kg × 1)      | (30 kg × 1)      | 30 kg × 1        |
| YT333RD     | 30 kg × 2<br>(3) | 30 kg × 3        | 30 kg × 3        | 30 kg × 3<br>(4) |
| YT338R・345R | -                | -                | -                | -                |
| YT338RD     | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2        |
| YT352R      | -                | -                | -                | -                |
| YT357R      | -                | -                | -                | -                |
| YT357RD     | -                | -                | -                | -                |
| YT345RD     | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2        | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2        |

## ■ 井関農機

| トラクタ型式          | ウエイト必要枚数             |                  |                  |                  |                       |              |              |              |
|-----------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
|                 | KOBASHI S ヒッチ (T-4S) |                  |                  |                  | KOBASHI S ヒッチ (T-4SD) |              |              |              |
|                 | 753H<br>(HJ)         | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     | 753H<br>(HJ)          | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) |
| BF25D           | 25 kg × 1<br>(2)     | 25 kg × 2        | 25 kg × 2        | 25 kg × 2        |                       |              |              |              |
| BF29D           | -                    | 25 kg × 1        | 25 kg × 1<br>(-) | 25 kg × 1        |                       |              |              |              |
| BF32D・35D       | -                    | 25 kg × 1<br>(-) | -                | 25 kg × 1        |                       |              |              |              |
| BF29DC・35DC     | 25 kg × 3            | 25 kg × 3        | 25 kg × 3        | 25 kg × 3<br>(4) |                       |              |              |              |
| NT255           | 25 kg × 2            | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 2        | 25 kg × 3        |                       |              |              |              |
| NT335・365 (L)   | -                    | -                | -                | (25 kg × 1)      |                       |              |              |              |
| NT335C・365 (L)C | 25 kg × 3            | 25 kg × 3        | 25 kg × 3        | 25 kg × 4        |                       |              |              |              |
| BF45D・50D       | -                    | -                | -                | -                | -                     | -            | -            | -            |
| BF45DC          | -                    | 25 kg × 1        | 25 kg × 1        | 25 kg × 1        | -                     | 25 kg × 1    | 25 kg × 1    | 25 kg × 1    |
| BF50DC          | -                    | 25 kg × 1        | -                | 25 kg × 1        | -                     | 25 kg × 1    | -            | 25 kg × 1    |
| BF55D・60D       |                      |                  |                  |                  | -                     | -            | -            | -            |
| 55DC・60DC       |                      |                  |                  |                  | -                     | 25 kg × 1    | -            | 25 kg × 1    |
| NT435           | -                    | -                | -                | -                | -                     | -            | -            | -            |
| NT465・505       | -                    | -                | -                | -                | -                     | -            | -            | -            |
| NT505C          | -                    | -                | -                | -                | -                     | -            | -            | -            |
| NT465C・505C     | -                    | -                | -                | -                | -                     | -            | -            | -            |
| NT555・605 (E)   |                      |                  |                  |                  | -                     | -            | -            | -            |
| NT555C・605C (E) |                      |                  |                  |                  | -                     | -            | -            | -            |

必要に応じて

フロントウエイト装着表

| トラクタ型式          | ウエイト必要枚数         |                  |                  |                  |                  |              |                  |                  |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------|------------------|------------------|
|                 | KOBASHI 直送 (-1S) |                  |                  |                  | 井関 D ヒッチ (-S)    |              |                  |                  |
|                 | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     |
| BF25D           | 25 kg × 1        | 25 kg × 1<br>(2) | 25 kg × 1        | 25 kg × 2        | -<br>(25 kg × 1) | 25 kg × 1    | 25 kg × 1        | 25 kg × 1<br>(2) |
| BF29D           | -                | 25 kg × 1<br>(-) | -                | 25 kg × 1<br>(-) | -                | -            | -                | 25 kg × 1<br>(-) |
| BF32D・35D       | -                | -                | -                | -                | -                | -            | -                | -                |
| BF29DC・35DC     | 25 kg × 2        | 25 kg × 3        | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 3        | 25 kg × 2        | 25 kg × 3    | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 3        |
| NT255           | 25 kg × 1<br>(2) | 25 kg × 2        | 25 kg × 2        | 25 kg × 2        | 25 kg × 1        | 25 kg × 2    | 25 kg × 1        | 25 kg × 2        |
| NT335・365 (L)   | -                | -                | -                | -                | -                | -            | -                | -                |
| NT335C・365 (L)C | 25 kg × 2        | 25 kg × 3        | 25 kg × 2        | 25 kg × 3        | 25 kg × 2        | 25 kg × 3    | 25 kg × 2        | 25 kg × 3        |
| BF45D・50D       | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| BF45DC          | -                | -                | -                | 25 kg × 1        |                  |              |                  |                  |
| BF50DC          | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| BF55D・60D       | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| 55DC・60DC       | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| NT435           | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| NT465・505       | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| NT465C・505C     | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| NT555・605 (E)   | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |
| NT555C・605C (E) | -                | -                | -                | -                |                  |              |                  |                  |

| トラクタ型式          | ウエイト必要枚数         |                  |                  |                  |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|                 | 井関 PD ヒッチ (-OS)  |                  |                  |                  |
|                 | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     |
| BF25D           | 25 kg × 1        | 25 kg × 2        | 25 kg × 1<br>(2) | 25 kg × 2        |
| BF29D           | -                | 25 kg × 1<br>(-) | -                | 25 kg × 1        |
| BF32D・35D       | -                | -                | -                | 25 kg × 1<br>(-) |
| BF29DC・35DC     | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 3        | 25 kg × 3        | 25 kg × 3        |
| NT255           | 25 kg × 2        | 25 kg × 2<br>(3) | 25 kg × 2        | 25 kg × 3        |
| NT335・365 (L)   | -                | -                | -                | -                |
| NT335C・365 (L)C | 25 kg × 2        | 25 kg × 3        | 25 kg × 3        | 25 kg × 3        |
| BF45D・50D       | -                | -                | -                | -                |
| BF45DC          | -                | -                | -                | 25 kg × 1        |
| BF50DC          |                  |                  |                  |                  |
| BF55D・60D       |                  |                  |                  |                  |
| 55DC・60DC       |                  |                  |                  |                  |
| NT435           | -                | -                | -                | -                |
| NT465・505       | -                | -                | -                | -                |
| NT505C          | -                | -                | -                | -                |
| NT555・605 (E)   |                  |                  |                  |                  |
| NT555C・605C (E) |                  |                  |                  |                  |

## ■ 三菱マヒンドラ農機

| トラクタ型式        | ウェイト必要枚数             |                        |                  |                        |                        |              |              |              |
|---------------|----------------------|------------------------|------------------|------------------------|------------------------|--------------|--------------|--------------|
|               | KOBASHI S ヒッチ (T-4S) |                        |                  |                        | KOBASHI S ヒッチ (T-4SDH) |              |              |              |
|               | 753H<br>(HJ)         | 753F<br>(FJ)           | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)           | 753H<br>(HJ)           | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) |
| GOE25         | 30 kg × 1<br>(2)     | 30 kg × 1<br>(3)       | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2<br>(3)       |                        |              |              |              |
| GA302         | -                    | (30 kg × 1)            | -                | (30 kg × 1)            |                        |              |              |              |
| GA332         | -                    | (30 kg × 1)            | -                | (30 kg × 1)            |                        |              |              |              |
| GA362         | -                    | -                      | -                | (30 kg × 1)            |                        |              |              |              |
| GAK332・362    | 30 kg × 2            | 30 kg × 2<br>(3)       | 30 kg × 2        | 30 kg × 3              |                        |              |              |              |
| GA452・502     | -                    | -                      | -                | -                      | -                      | -            | -            | -            |
| GAK452・GAK502 | -                    | 30 kg × 1<br>(-)       | -                | 30 kg × 1              | -                      | 30 kg × 1    | -            | 30 kg × 1    |
| GA552         |                      |                        |                  |                        | -                      | -            | -            | -            |
| GAK552        |                      |                        |                  |                        | -                      | 30 kg × 1    | -            | 30 kg × 1    |
| GM302         | 30 kg × 1<br>(2)     | 30 kg × 1<br>(2)       | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2              |                        |              |              |              |
| GM332         | 30 kg × 1<br>(2)     | 30 kg × 1<br>(2)       | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2)       |                        |              |              |              |
| GM362         | 30 kg × 1<br>(2)     | 30 kg × 1<br>(2)       | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2)       |                        |              |              |              |
| GM452         | -                    | -                      | -                | -                      | -                      | -            | -            | -            |
| GM502         | -                    | -                      | -                | -                      | -                      | -            | -            | -            |
| GM502ET       | -                    | -                      | -                | -                      | -                      | -            | -            | -            |
| GM552         |                      |                        |                  |                        | -                      | -            | -            | -            |
| GJE28         | 25kg × 2<br>※ 1      | 25kg × 3<br>(2)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1  | 25kg × 3<br>※ 1        |                        |              |              |              |
| GJE35         | 25kg × 2<br>※ 1      | 25kg × 3<br>※ 1        | 25kg × 2<br>※ 1  | 25kg × 3<br>(2)<br>※ 1 |                        |              |              |              |
| GJE33K・35K    | 25kg × 2             | 25kg × 3               | 25kg × 2         | 25kg × 3               |                        |              |              |              |

※ 1 別途トラクタオプションのウェイト台（4 枚用）が必要です。

| トラクタ型式     | ウエイト必要枚数               |                  |                        |                        |                  |                  |                  |                  |
|------------|------------------------|------------------|------------------------|------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|            | KOBASHI 直送 (-1S)       |                  |                        |                        | 三菱スーパーヒッチ (-MU)  |                  |                  |                  |
|            | 753H<br>(HJ)           | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)           | 853F<br>(FJ)           | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     |
| GOE25      | -<br>(30 kg × 2)       | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2)       | 30 kg × 1<br>(2)       | -<br>(30 kg × 1) | -<br>(30 kg × 2) | -<br>(30 kg × 1) | 30 kg × 1<br>(2) |
| GA302      | -                      | -                | -                      | -                      | -                | -                | -                | -                |
| GA332      | -                      | -                | -                      | -                      | -                | -                | -                | -                |
| GA362      | -                      | -                | -                      | -                      | -                | -                | -                | -                |
| GAK332・362 | 30 kg × 2              | 30 kg × 2        | 30 kg × 2              | 30 kg × 2              | 30 kg × 3        | 30 kg × 4        | 30 kg × 3        | 30 kg × 4        |
| GA452・502  | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GAK452     | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GAK502     | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GA552      | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GAK552     | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GM302      | -<br>(30 kg × 1)       | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2)       | 30 kg × 1<br>(2)       | -<br>(30 kg × 1) | -<br>(30 kg × 1) | -<br>(30 kg × 1) | -<br>(30 kg × 1) |
| GM332      | -<br>(30 kg × 1)       | 30 kg × 1<br>(2) | -<br>(30 kg × 1)       | 30 kg × 1<br>(2)       | -                | -<br>(30 kg × 1) | -<br>(30 kg × 1) | -<br>(30 kg × 1) |
| GM362      | -<br>(30 kg × 1)       | 30 kg × 1<br>(2) | -<br>(30 kg × 1)       | 30 kg × 1<br>(2)       | -                | -<br>(30 kg × 1) | -                | -<br>(30 kg × 1) |
| GM452      | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GM502・552  | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GM502ET    | -                      | -                | -                      | -                      |                  |                  |                  |                  |
| GJE28      | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1  | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 |                  |                  |                  |                  |
| GJE35      | 25kg × 1<br>※ 1        | 25kg × 2<br>※ 1  | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1        |                  |                  |                  |                  |
| GJE33K・35K | 25kg × 1<br>(2)        | 25kg × 2         | 25kg × 2               | 25kg × 2<br>(3)        |                  |                  |                  |                  |

※ 1 別途トラクタオプションのウエイト台（4 枚用）が必要です。

| トラクタ型式        | ウエイト必要枚数        |              |              |              |                  |                  |                  |                  |
|---------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|               | 三菱スーパーヒッチ (-OS) |              |              |              | 三菱デュアルヒッチ (-MU)  |                  |                  |                  |
|               | 753H<br>(HJ)    | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     |
| GOE25         |                 |              |              |              | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2<br>(3) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2<br>(3) |
| GA302         |                 |              |              |              | -                | (30 kg × 1)      | -                | (30 kg × 1)      |
| GA332         |                 |              |              |              | -                | (30 kg × 1)      | -                | (30 kg × 1)      |
| GA362         |                 |              |              |              | -                | -                | -                | (30 kg × 1)      |
| GAK332・362    |                 |              |              |              |                  |                  |                  |                  |
| GA452・502     | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |
| GAK452        | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |
| GAK502        | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |
| GA552         | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |
| GAK552        | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |
| GM302         |                 |              |              |              | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) |
| GM332         |                 |              |              |              | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) |
| GM362         |                 |              |              |              | 30 kg × 1        | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) |
| GM452         | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |
| GM502・552 (R) | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |
| GM502ET       | -               | -            | -            | -            |                  |                  |                  |                  |

| トラクタ型式        | ウエイト必要枚数         |                  |                  |                  |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|               | 三菱デュアルヒッチ (-0S)  |                  |                  |                  |
|               | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ)     | 853F<br>(FJ)     |
| GOE25         | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(3) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 2<br>(3) |
| GA302         | -                | -<br>(30 kg × 1) | -                | -<br>(30 kg × 1) |
| GA332         | -                | -                | -                | -<br>(30 kg × 1) |
| GA362         | -                | -                | -                | -                |
| GAK332・362    |                  |                  |                  |                  |
| GA452・502     |                  |                  |                  |                  |
| GAK452        |                  |                  |                  |                  |
| GAK502        |                  |                  |                  |                  |
| GA552         |                  |                  |                  |                  |
| GAK552        |                  |                  |                  |                  |
| GM302         | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) |
| GM332         | -<br>(30 kg × 1) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1<br>(2) |
| GM362         | -<br>(30 kg × 1) | 30 kg × 1<br>(2) | 30 kg × 1        | 30 kg × 1<br>(2) |
| GM452         |                  |                  |                  |                  |
| GM502・552 (R) |                  |                  |                  |                  |
| GM502ET       |                  |                  |                  |                  |

| トラクタ型式     | ウエイト必要枚数               |                 |                        |                 |                        |                        |                 |                        |
|------------|------------------------|-----------------|------------------------|-----------------|------------------------|------------------------|-----------------|------------------------|
|            | クボタ A フレーム (-U)        |                 |                        |                 | W3P (-U)               |                        |                 |                        |
|            | 753H<br>(HJ)           | 753F<br>(FJ)    | 853H<br>(HJ)           | 853F<br>(FJ)    | 753H<br>(HJ)           | 753F<br>(FJ)           | 853H<br>(HJ)    | 853F<br>(FJ)           |
| GJE28      | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 3<br>※ 1        | 25kg × 4<br>(3)<br>※ 1 | 25kg × 3<br>※ 1 | 25kg × 4<br>(3)<br>※ 1 |
| GJE35      | 25kg × 1<br>※ 1        | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 3<br>(2)<br>※ 1 | 25kg × 3<br>※ 1        | 25kg × 3<br>※ 1 | 25kg × 4<br>(3)<br>※ 1 |
| GJE33K・35K | 25kg × 2               | 25kg × 2<br>(3) | 25kg × 2               | 25kg × 3        | 25kg × 3               | 25kg × 4               | 25kg × 3<br>(4) | 25kg × 4               |

| トラクタ型式     | ウエイト必要枚数               |                 |                 |                        |
|------------|------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|
|            | W3P (-0S)              |                 |                 |                        |
|            | 753H<br>(HJ)           | 753F<br>(FJ)    | 853H<br>(HJ)    | 853F<br>(FJ)           |
| GJE28      | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 3<br>(2)<br>※ 1 |
| GJE35      | 25kg × 2<br>(1)<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 2<br>※ 1 | 25kg × 3<br>(2)<br>※ 1 |
| GJE33K・35K | 25kg × 2               | 25kg × 3        | 25kg × 2        | 25kg × 3               |

※ 1 別途トラクタオプションのウエイト台（4枚用）が必要です。

必要に応じて

フロントウエイト装着表

## ■ NEWHOLLAND

| トラクタ型式 | ウエイト必要枚数             |              |              |              |                       |              |              |              |
|--------|----------------------|--------------|--------------|--------------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
|        | KOBASHI S ヒッチ (T-4S) |              |              |              | KOBASHI S ヒッチ (T-4SD) |              |              |              |
|        | 753H<br>(HJ)         | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) | 753H<br>(HJ)          | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) |
| T2.450 | -                    | -            | -            | -            | -                     | -            | -            | -            |
| T2.540 | -                    | -            | -            | -            | -                     | -            | -            | -            |

| トラクタ型式 | ウエイト必要枚数         |              |              |              |                 |              |              |              |
|--------|------------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|
|        | KOBASHI 直送 (-1S) |              |              |              | クボタ A フレーム (-U) |              |              |              |
|        | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) | 753H<br>(HJ)    | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) |
| T2.450 | -                | -            | -            | -            | -               | -            | -            | -            |
| T2.540 | -                | -            | -            | -            | -               | -            | -            | -            |

| トラクタ型式 | ウエイト必要枚数     |                  |              |                  |              |              |              |              |
|--------|--------------|------------------|--------------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|        | W3P (-U)     |                  |              |                  | W3P (-OS)    |              |              |              |
|        | 753H<br>(HJ) | 753F<br>(FJ)     | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ)     | 753H<br>(HJ) | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) |
| T2.450 | -            | -<br>(25 kg × 1) | -            | -<br>(25 kg × 1) | -            | -            | -            | -            |
| T2.540 | -            | -                | -            | -                | -            | -            | -            | -            |

## ■ Masseyferguson

| トラクタ型式  | ウエイト必要枚数              |              |              |              |                  |              |              |              |
|---------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|------------------|--------------|--------------|--------------|
|         | KOBASHI S ヒッチ (T-4SD) |              |              |              | KOBASHI 直送 (-1S) |              |              |              |
|         | 753H<br>(HJ)          | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) | 753H<br>(HJ)     | 753F<br>(FJ) | 853H<br>(HJ) | 853F<br>(FJ) |
| MF2J60D | -                     | -            | -            | -            | -                | -            | -            | -            |
| MF2855E | -                     | -            | -            | -            | -                | -            | -            | -            |

# 異常診断一覧表

使用中あるいは使用後の点検時に下表の異常が発生した場合、そのままにしておきますと故障、事故の原因となります。

再使用せず、ただちに対策を行ってください。

| 本体各部   | 症 状          | 原 因                 | 対 策                    |
|--------|--------------|---------------------|------------------------|
| ギヤーケース | 異音の発生        | ベアリングの損傷            | ベアリング交換                |
|        |              | ギヤーの損傷              | ギヤー交換                  |
|        |              | ベベルギヤーの噛み合い不良       | シムで調節                  |
|        | オイル漏れ        | オイルシール、Oリングの劣化、損傷   | オイルシール、Oリング交換          |
|        |              | ケース取付けボルトの緩み        | ボルト増し締め                |
|        | 異常な高温の発生     | オイル量の不足             | オイル補給                  |
|        |              | ベアリングの損傷            | ベアリング交換                |
| チェンケース | 異音の発生        | チェンの緩みによるカバーとの干渉    | テンショナ調節、チェン交換          |
|        |              | チェンテンショナの破損         | テンショナ交換                |
|        |              | スプロケットの損傷           | スプロケット交換               |
|        |              | ベアリングの損傷            | ベアリング交換                |
|        |              | ベアリングの油切れ           | ベアリングへの注油              |
|        |              | チェンの油切れ             | チェンへの注油 (→ p.66)       |
| 耕うん軸   | 異音の発生        | 軸受け部のベアリングの損傷       | ベアリング交換                |
|        |              | 耕うん爪取付けボルトの緩み       | ボルト増し締め                |
|        |              | 耕うん爪の変形によるカバーとの干渉   | 耕うん爪交換                 |
|        | 振動の発生        | 耕うん爪軸の曲がり           | 耕うん爪軸交換                |
|        |              | 耕うん爪、爪軸へのワラ、草などのかかり | ワラ、草などの除去              |
|        |              | 耕うん爪の配列不良           | 爪配列の点検                 |
|        | 軸回転不良        | ギヤーの損傷              | ギヤーの交換                 |
|        |              | チェンの折損              | チェンの交換                 |
|        |              | 駆動軸の折損              | 駆動軸交換                  |
|        | 土の溜まりすぎ      | 耕深が深い               | 耕深を浅く                  |
| ドラム    | 振動の発生        | 爪の耕深よりドラムが下がりすぎ     | ドラムを上げる                |
|        | 回転不良         | ドラム取付けボルトの緩み        | ボルト増し締め                |
|        |              | チェンの折損              | チェン交換                  |
|        |              | 駆動軸の折損              | 駆動軸交換                  |
| フレーム   | 振動の発生        | カバー取付けボルトの緩み        | ボルト増し締め                |
|        |              | グリス切れ               | グリス注入                  |
|        | オフセット・旋回作動不良 | ハーネスの断線または結合部、端子外れ  | ハーネスまたは端子・コネクタの交換      |
|        |              | コントローラの故障           | コントローラの交換              |
|        |              | バッテリーの消耗            | バッテリーの充電または交換          |
|        |              | 各支点部および摺動部の油切れ      | 支点部および摺動部への注油 (→ p.66) |

必要に応じて

異常診断一覧表

| 本体各部  | 症 状           | 原 因          | 対 策        |
|-------|---------------|--------------|------------|
| ジョイント | 異音発生          | グリス切れ        | グリス注入      |
|       |               | ジョイント折れ角が不適格 | マッキング姿勢の矯正 |
|       |               | 作業機の上げすぎ     | リフト量の規制    |
|       | たわみ発生         | シャフトの噛み合い幅不足 | 長いものと交換    |
|       | スプライン部の<br>ガタ | ノックピンとヨークの摩耗 | 交換         |

# カルコンのトラブルシューティング

| 症状                              | 原因                          | 対応方法                                                                                                                                 |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カルコンの電源を入れてもしばらくすると OFF になる。    | カルコンのオートパワー OFF が作動している。    | 詳しくは、「オートパワー OFF 機能」を参照してください。                                                                                                       |
|                                 | カルコン電池が消耗している。              | 充電してください。電池残量が「0」になっても充電しながら使用することができません。                                                                                            |
| カルコンの電源が入らない。<br>「電源」ランプが点灯しない。 | カルコン電池が切れている。               | 充電してください。電池残量が「0」になっても充電しながら使用することができません。                                                                                            |
|                                 | 「電源」ボタンを押す時間が短い。            | 「電源」ランプが点滅を始めるまで、1 秒以上押してください。                                                                                                       |
|                                 | カルコンが故障している。                | 新しいカルコンと交換してください。                                                                                                                    |
| 「電池」ランプが点滅している。                 | カルコン電池が消耗している。              | 充電してください。充電しながら使用することができます。使い初めに比べ、使用時間が短くなったと感じたら、新しいカルコン電池と交換してください。専用電池のため、販売店へお問い合わせください。                                        |
|                                 | カルコン電池の温度が上がっている。<br>(早い点滅) | 高温の場所に放置された場合などに作動します。時間をおいて充電してください。                                                                                                |
| 充電されない<br>(「電池」ランプが点灯しない)。      | 点灯まで時間がかかるため。               | 接続して充電開始までは、時間がかかります。10 秒程度お待ちください。                                                                                                  |
|                                 | 電源が来ていない。                   | トラクタの外部電源取出しに接続している場合は、トラクタのキーを入れることで作動します。キーを入れても充電されない場合は外部電源取出しのヒューズとジュウデンハーネスのミニガラス管ヒューズを確認してください。<br>・ヒューズが切れた場合は、必ず原因を調べてください。 |
|                                 | 接続不良。                       | 各カプラ、USB が接続され、まっすぐにはめ込まれていることを確認してください。                                                                                             |
|                                 | 十分充電されている。                  | 電池残量が十分であれば、約 30 秒点灯後に消灯します。                                                                                                         |
|                                 | 低温もしくは高温下で充電している。           | 電池の性能低下防止のため、低温もしくは高温時には充電しません。<br>・0～40℃の推奨温度範囲で充電してください。                                                                           |

必要に応じて

カルコンの  
トラブルシューティング

| 症状                                      | 原因                      | 対応方法                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カルコンの「電源」ボタンを押しても「電源」ランプが点滅したまま通信確立しない。 | 通信確立まで時間がかかる。           | 安全面から制御ボックスと十分な相互の情報通信確認を行ってから作動します。「電源」ランプが点滅を始めてから数秒程度お待ちください。                                                                                                                                                                                |
|                                         | 制御ボックスとペアリングできていない。     | カルコンを間違えていませんか。<br>以下の場合、再度ペアリングをしてください。<br>(a) カルコンもしくは制御ボックスを交換したとき<br>(b) ソフトのアップデートを行ったとき<br>(c) カルコンを他の制御ボックスにペアリングしたとき                                                                                                                    |
|                                         | 制御ボックスに電源が来ていない。        | ・トラクタの外部電源取出しに接続している場合は、トラクタのキーを入れることで作動します。キーを入れても電源が来ない場合は外部電源取出しのヒューズを確認してください。キー連動の場合キーを入れると「ピッ」とブザーが鳴ります。<br>※ヒューズ切れの場合は必ず原因を調べてください。                                                                                                      |
|                                         | 制御ボックスのハーネスが接続できていない。   | トラクタバッテリーの (+) (-) を含め正しく接続してください。<br>制御ボックスに通電して起動すると「ピッ」とブザー音が鳴ります。                                                                                                                                                                           |
|                                         | カプラの挿入不良、接触不良。          | 正しく接続してください。酸化被膜により通電しにくくなることがあります。カプラを抜き差しすることで改善されることがあります。                                                                                                                                                                                   |
|                                         | バッテリーハーネスのヒューズが切れている。   | ヒューズの交換をしてください。<br>※スローブローヒューズ切れの場合は、必ず原因を調べてください。                                                                                                                                                                                              |
|                                         | トラクタバッテリーが消耗している。       | トラクタバッテリーの充電・交換をしてください。                                                                                                                                                                                                                         |
|                                         | カルコン、制御ボックスの通信状態が悪い。    | ・距離が遠い場合は、カルコンを制御ボックスに近づけて操作してください。<br>・カルコンと制御ボックスの間に遮蔽物がある場合は、除去してください。<br>見通しのよい位置にカルコンを設置し直してください。<br>・周辺の電波環境の悪い場合は、電波環境のない状況で操作してください。<br>※周辺電波について<br>テレビ塔や発電所、放送局、空港、携帯電波塔などの設備の近くは、それらが発する電波により通信障害を起こすことがあります。距離を取るか時間をおいて操作を行ってください。 |
|                                         | 正常な組合わせや状況で使用しても通信できない。 | カルコンや制御ボックスの交換をしてください。                                                                                                                                                                                                                          |

| 症状                                            | 原因                                                                       | 対応方法                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カルコンの「電源」ランプは点灯し通信できているがボタン操作しても作動音はするが作動しない。 | 制御ボックスのハーネスが正しく接続できていない。                                                 | 制御ボックスの電源線は赤 / 黒 / ピンクの3本で構成されています。黒とピンクに電源が供給されていれば制御ボックスのマイコンは作動します。アクチュエータの電源は赤 / 黒で供給されますので接続を確認してください。この場合はどのアクチュエータも作動しません。 |
|                                               | トラクタバッテリーが消耗している。                                                        | トラクタバッテリーの充電・交換をしてください。                                                                                                           |
| 操作中に作動が止まった。                                  | 泥などが大量に付着している。                                                           | 負荷により停止することがあります。泥を落として再操作してください。                                                                                                 |
|                                               | 制御ボックスの電源が落ちた。                                                           | バッテリーターミナルがサビている場合、作動に十分な電流を流すことができず、制御ボックスの電源が落ちることがあります。バッテリーターミナルを磨いて確実に取付け再操作してください。                                          |
|                                               | カルコン電池が消耗している。                                                           | 電池を充電、もしくは充電しながら使用してください。                                                                                                         |
|                                               | カルコンと制御ボックスの通信が切れた。                                                      | 通信が切れると安全のため動作は停止します。通信が確立した状態で使用してください。                                                                                          |
|                                               | ボタン操作を行った。                                                               | 作業機のオフセット動作、ドラムコウシンキット作動中は、安全のためどのボタンを押しても作動が停止します。安全確認し再操作してください。                                                                |
|                                               | 以下の操作により、安全機能がはたらいっている。<br>・ 外 / 内 : 連続 45 秒作動<br>・ 土量 + / - : 連続 30 秒作動 | 以下の時間経過後、復帰します。<br>・ 外 / 内 : 45 秒<br>・ 土量 + / - : 30 秒                                                                            |
| ボタン操作後すぐにブザー音が鳴る (作動しない)。                     | アクチュエータの配線不良。                                                            | コネクタの接続、配線の断線がないかを確認してください。断線の場合、部品を交換してください。                                                                                     |
|                                               | アクチュエータの破損。                                                              | アクチュエータを交換してください。                                                                                                                 |
|                                               | 配線がショートしている。                                                             | 部品を交換してください。                                                                                                                      |
| 前進作動、後進作動が完了してもブザーが鳴りやまない (シリンダが停止しない)。       | センサの設定不良。                                                                | 自己診断モードでセンサ設定を確認してください。また、以下のいずれかを行ってください。<br>・ 再設定<br>・ センサの調整<br>・ センサ交換                                                        |
| 格納作動が格納位置で停止しない。                              |                                                                          |                                                                                                                                   |

| 症状                              | 原因               | 対応方法                                                                        |
|---------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 後進状態から戻らない<br>(リバースロックが解除されない)。 | センサの設定不良。        | 自己診断モードでセンサ設定を確認してください。<br>また、以下のいずれかを行ってください。<br>・再設定<br>・センサの調整<br>・センサ交換 |
|                                 | アクチュエータの破損・配線不良。 | 部品を交換してください。                                                                |

# 自己診断モード

## センサ設定の確認方法

自己診断モードにすることで、センサの設定に異常がないか確認することができます。

センサの設定に異常がある場合は、主に以下の症状になります。

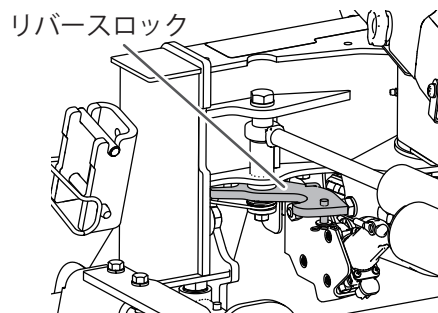
- ・ 前進作動、後進作動が完了してもブザーが鳴りやまない（シリンダが停止しない）
- ・ 格納作動が格納位置で停止しない
- ・ 後進状態から戻らない（リバースロックが解除されない）

以下の手順でセンサの設定に異常がないか確認してください。

- 1 カルコンの電源ボタンを押し、カルコンの電源を「ON」にします。
- 2 「後進」ボタンを押しながら「電源」ボタンを1秒以上押します。



- 3 リバースロックが解除状態になった後、自己診断モードに移行します。



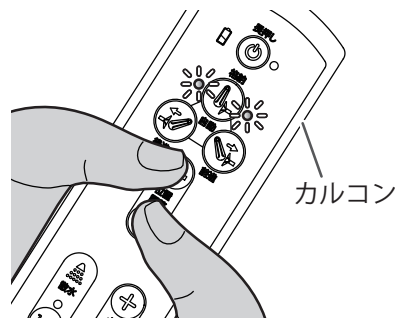
### 取扱上の注意

- ・ 自己診断モード中はコントローラの「自己診断用」ランプが左右交互に点滅します。
- ・ 自己診断モード中は「外」ボタン、「内」ボタンの作動だけ可能です。それ以外の操作は受け付けません。
- ・ 自己診断モードは一度カルコンの電源を切るとモードが終了します。誤って電源を切ってしまった場合は、再度2の操作を行ってください。

- 4 センサの設定を確認します。

#### (a) 格納位置での確認

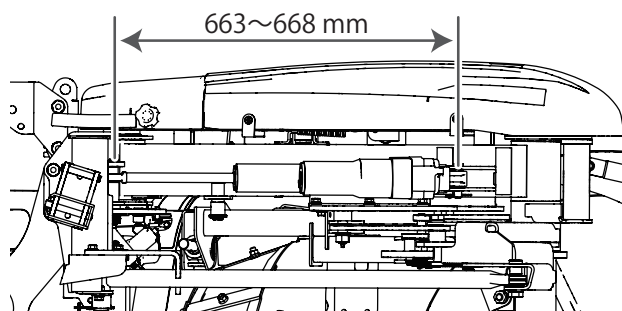
- (1) 「内」、「外」ボタンを操作し、作業機を格納状態にします。



必要に応じて

自己診断モード

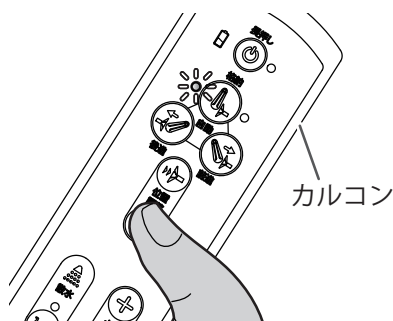
- (2) オフセット用シリンダの長さ（シリンダ固定ボルトの中心～シリンダ固定ピンの中心で測定）を 663 ～ 668 mm に合わせます。



- (3) 「自己診断用」ランプを確認します。  
左右ともに点灯していれば、正常です。

#### (b) 後進位置での確認

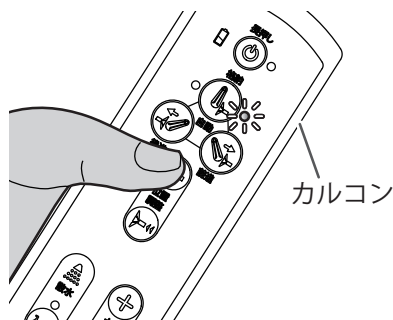
- (1) 「内」ボタンを操作し、作業機を後進状態にします。



- (2) 作業機が動かなくなるまで「内」ボタンを押し続けます。  
(3) 「自己診断用」ランプを確認します。  
左側だけ点灯していれば正常です。

#### (c) 前進最大オフセット位置での確認

- (1) 「外」ボタンを操作し、作業機を前進最大オフセット状態にします。



- (2) 作業機が動かなくなるまで「外」ボタンを押し続けます。  
(3) 「自己診断用」ランプを確認します。  
右側だけ点灯していれば正常です。

**5** 異常がある場合は再設定します。（「センサの設定方法」(→ p.149) 参照)

**6** 確認が終わったらカルコンの「電源」ボタンを押します。

⇒ カルコンの電源が「OFF」し、自己診断モードを終了します。

## センサの設定方法

センサの設定を確認し、異常があった場合にセンサの再設定を行うことができます。

また、センサを新品に交換した場合や制御ボックスを交換した場合は、センサの設定が必要です。

### 取扱上の注意

- ・むやみにセンサの設定はしないでください。設定を誤ると作業機が正常に動作しなくなります。
- ・センサの取付けを調整した場合は、①格納状態、②前進最大オフセット状態、③後進状態でのセンサ設定を必ず行ってください。

## センサの設定や作業機の作動に異常があった場合

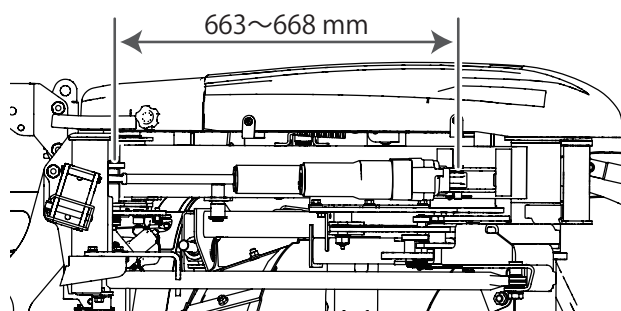
カルコンを操作し、自己診断モードにします。

### ■ 格納位置で異常がある場合

例：「格納」ボタンで格納位置にした後、キャストスタンドのフックがうまく掛からない。

- 1 「内」、「外」ボタンを操作し、作業機を格納状態にします。

オフセット用シリンダの長さ（シリンダ固定ボルトの中心～シリンダ固定ピンの中心で測定）を 663 ～ 668 mm に合わせます。



- 2 「自己診断用」ランプが左右ともに点灯していることを確認します。



- 3 点灯している場合、「格納」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。

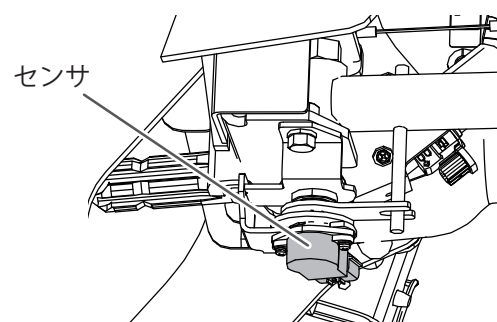


⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

### 取扱上の注意

- ・「自己診断用」ランプが点灯していない状態で設定しようすると、ブザー連続音が鳴り、設定できません。

- 4 点灯していない場合、センサの取付けを調整します。



- (1) センサを取付けている2本の小ねじを緩めます（抜く必要はありません）。
- (2) センサを回転させ、「自己診断」ランプが左右とも点灯する位置を探します。

必要に応じて

自己診断モード

(3)「自己診断」ランプが左右とも点灯する位置で小ねじを締付けます。

(4)「格納」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。

⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

#### 取扱上の注意

- ・「自己診断用」ランプが点灯していない状態で設定しようとすると、ブザー連続音が鳴り、設定できません。

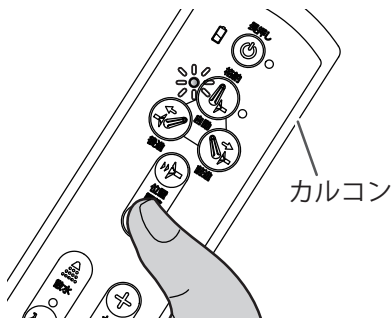
## ■ 後進位置で異常がある場合

例:「後進」ボタンを操作し、作業機が後進位置になっているのにブザー音が止まらない。

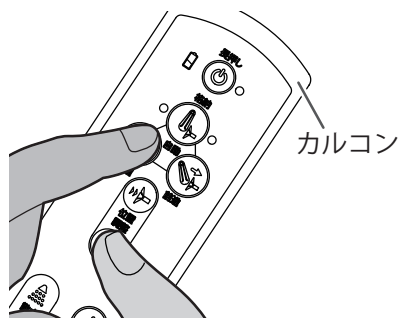
**1** 「内」ボタンを操作し、作業機を後進位置にします。

- ・作業機が動かなくなるまで「内」ボタンを押し続けてください。

**2** 「自己診断用」ランプの左側だけ点灯していることを確認します。



**3** 点灯している場合、「内」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。

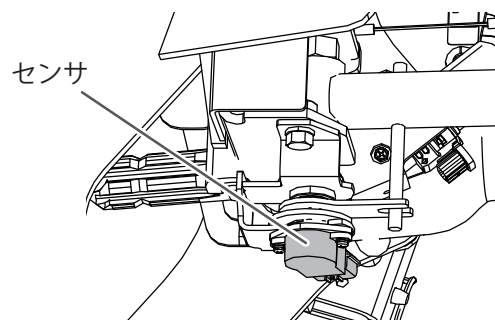


⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

#### 取扱上の注意

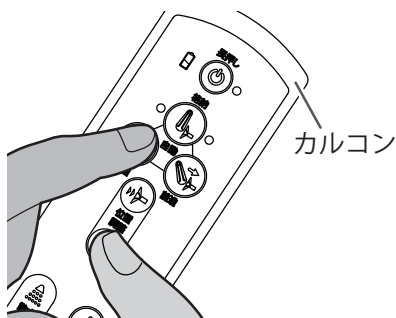
- ・「自己診断用」ランプが点灯していない状態で設定しようとすると、ブザー連続音が鳴り、設定できません。

**4** 点灯していない場合、作業機を格納位置にしてセンサの取付けを調整します。



- (1) センサを取付けている2本の小ねじを緩めます（抜く必要はありません）。
- (2) センサを回転させ、「自己診断」ランプが左右とも点灯する位置を探します。
- (3) 「自己診断」ランプが左右とも点灯する位置で小ねじを締付けます。
- (4) 「内」ボタンを操作し、作業機を後進位置にします。
  - ・作業機が動かなくなるまで「内」ボタンを押し続けてください。
- (5) 「自己診断用」ランプの左側だけ点灯していることを確認します。

- (6)「内」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。



⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

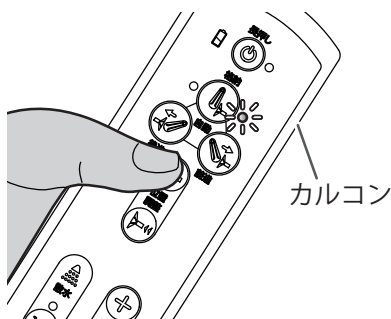
**取扱上の注意**

- ・「自己診断用」ランプが点灯していない状態で設定しようとすると、ブザー連続音が鳴り、設定できません。

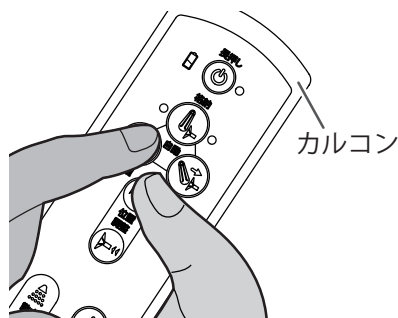
## ■ 前進位置で異常がある場合

例：「前進」ボタンを操作し、作業機が前進最大オフセット位置になっているのにブザー音が止まらない。

- 1 「外」ボタンを操作し、作業機を前進最大オフセット位置にします。
  - ・作業機が動かなくなるまで「外」ボタンを押し続けてください。
- 2 「自己診断用」ランプの右側だけ点灯していることを確認します。



- 3 点灯している場合、「外」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。

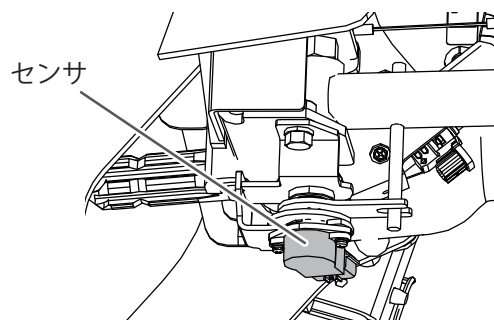


⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

**取扱上の注意**

- ・「自己診断用」ランプが点灯していない状態で設定しようとすると、ブザー連続音が鳴り、設定できません。

- 4 点灯していない場合、作業機を格納位置にしてセンサの取付けを調整します。

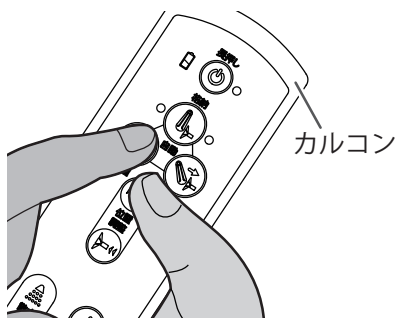


- (1) センサを取付けている2本の小ねじを緩めます（抜く必要はありません）。
- (2) センサを回転させ、「自己診断」ランプが左右とも点灯する位置を探します。
- (3) 「自己診断」ランプが左右とも点灯する位置で小ねじを締付けます。
- (4) 「外」ボタンを操作し、作業機を前進最大オフセット位置にします。
  - ・作業機が動かなくなるまで「外」ボタンを押し続けてください。
- (5) 「自己診断用」ランプの右側だけ点灯していることを確認します。

必要に応じて

自己診断モード

- (6)「外」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。



⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

#### 取扱上の注意

- ・「自己診断用」ランプが点灯していない状態で設定しようとする、ブザー連続音が鳴り、設定できません。

## センサ交換時の設定

### ■ センサ交換

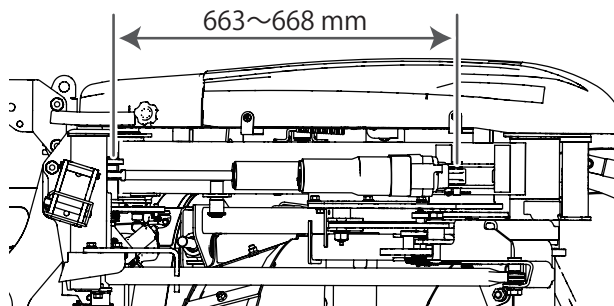
- 1 センサを新品に入替え、取付けます。
  - ・センサを取付ける小ねじは締付けしないでください。
- 2 「後進」ボタンを押しながら「電源」ボタンを1秒以上押します。



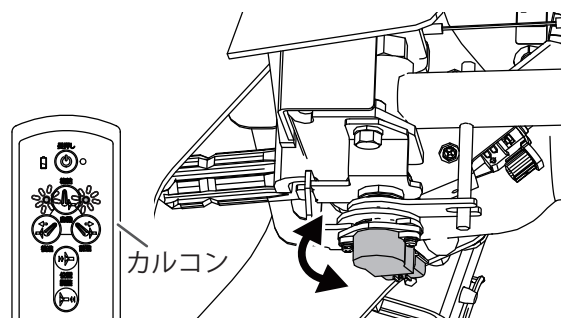
⇒ 自己診断モードにします。

- 3 「内」、「外」ボタンを操作し、作業機を格納状態にします。

オフセット用シリンダの長さ（シリンダ固定ボルトの中心～シリンダ固定ピンの中心で測定）を663～668 mmにあわせます。



- 4 センサを回転させ、「自己診断」ランプが左右とも点灯する位置を探します。



- 5 「自己診断」ランプが点灯する位置で小ねじを締付けます。

## ■ 格納位置、後進位置、前進位置の設定

### 1 格納位置のセンサ設定を行います。

- (1)「格納」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒間長押しします。



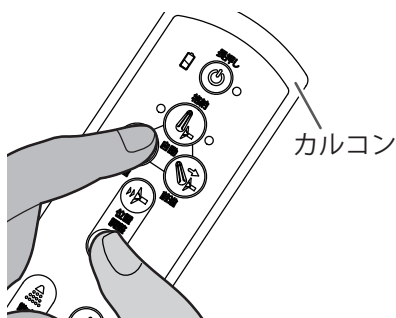
⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

- (2)「内」ボタンを操作し、作業機を後進位置にします。  
・作業機が動かなくなるまで「内」ボタンを押し続けてください。
- (3)「自己診断用」ランプを確認します。  
左側だけ点灯していることを確認します。



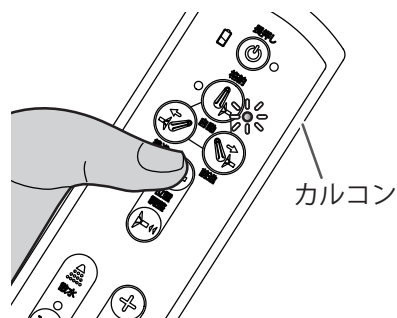
### 2 後進位置のセンサ設定をします。

- (1)「内」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。



⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

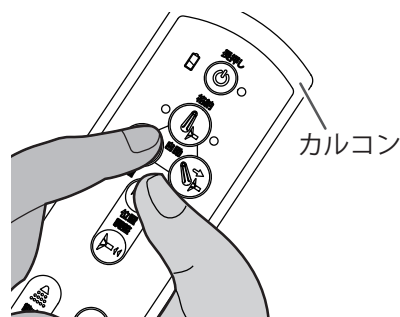
- (2)「外」ボタンを操作し、作業機を前進最大オフセット位置にします。  
・作業機が動かなくなるまで「外」ボタンを押し続けてください。



- (3)「自己診断用」ランプを確認します。  
右側だけ点灯していることを確認します。

### 3 前進最大オフセット位置のセンサ設定をします。

- (1)「外」ボタンを押しながら「後進」ボタンを1秒以上押します。



⇒「ピピピッ」というブザー音が鳴り、設定完了です。

### 4 カルコンの「電源」ボタンを押します。

⇒ カルコンの電源が「OFF」になり、設定完了です。

# 廃棄について

廃棄物などの不適切な処理は、法律により処罰されることがあります。保守時に発生した廃棄物の処置は、適切な処理をしてください。

## 注意事項

本作業機やその保守時に発生する廃棄物の処分は、国、または地方行政の法令の規制対象となるものがあります。

廃棄する際は、国または地方行政の法令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど適切な処理をしてください。

### ⚠ 注意



必ず実行

本作業機やその保守時に発生した廃棄物を廃棄するときは、国または地方行政の法令に従ってください。

\* 間違った廃棄を行うと、作業機からオイルが漏れ、川・海に流れだし汚染することがあります。

# 用語解説

ここでは用語について解説します。

## アタッチメント

作業機に後付けする部品

## オートヒッチ

トラクタに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

## クリーブ

超低速の作業速度

## 耕深

耕うんする深さ

## 3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

## チェックチェン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェン

## トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

## 揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

## ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

## リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロアリンクと連結しているアーム

## ロアリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンクで、左右1本ずつある

## ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

# MEMO

---

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.

必要に応じて

廃棄について  
／用語解説

# KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

インターネットでも弊社の情報がご覧いただけます。

<http://www.kobashiindustries.com>

|         |           |                       |                  |
|---------|-----------|-----------------------|------------------|
| ■北海道営業所 | 〒071-1248 | 北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番      | ☎ (0166) 49-0070 |
| ■東北営業所  | 〒024-0004 | 岩手県北上市村崎野13地割35-1     | ☎ (0197) 71-1160 |
| ■関東営業所  | 〒321-3325 | 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1      | ☎ (028) 687-1600 |
| ■岡山営業所  | 〒701-0165 | 岡山市北区大内田727           | ☎ (086) 250-1833 |
| ■九州営業所  | 〒861-2236 | 熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F | ☎ (096) 286-0202 |